
令和8年度 管内概況書



上伊那地域振興局

- 管内の概況
 - ・ 地勢・気候・人口 ----- 3
 - ・ 市町村行財政 ----- 9
- 各課の主要事業等
 - ・ 総務管理課 ----- 13
 - ・ 企画振興課 ----- 26
 - ・ 環境・廃棄物対策課 ----- 46
 - ・ 農地整備課 ----- 58
 - ・ 林 務 課 ----- 62
 - ・ 商工観光課 ----- 78
 - ・ 上伊那農業農村支援センター ----- 101

- 二つのアルプス
(南アルプス※₁と中央アルプス※₂)
- 天竜川沿いに形成された河岸段丘
- 2市3町3村からなる
 - ・伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村
- リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の整備により、
都市圏との交流拡大を通じ発展が期待される地域

※1 南アルプスの主な山

※2 中央アルプスの主な山

・甲斐駒ヶ岳(2967m)、仙丈ヶ岳(3033m)等

・木曾駒ヶ岳(2956m)、空木岳(2864m)等 ()内は標高

○面積

総面積 1,348.4km² (9.9%)

森林面積 106,044ha (10.0%)

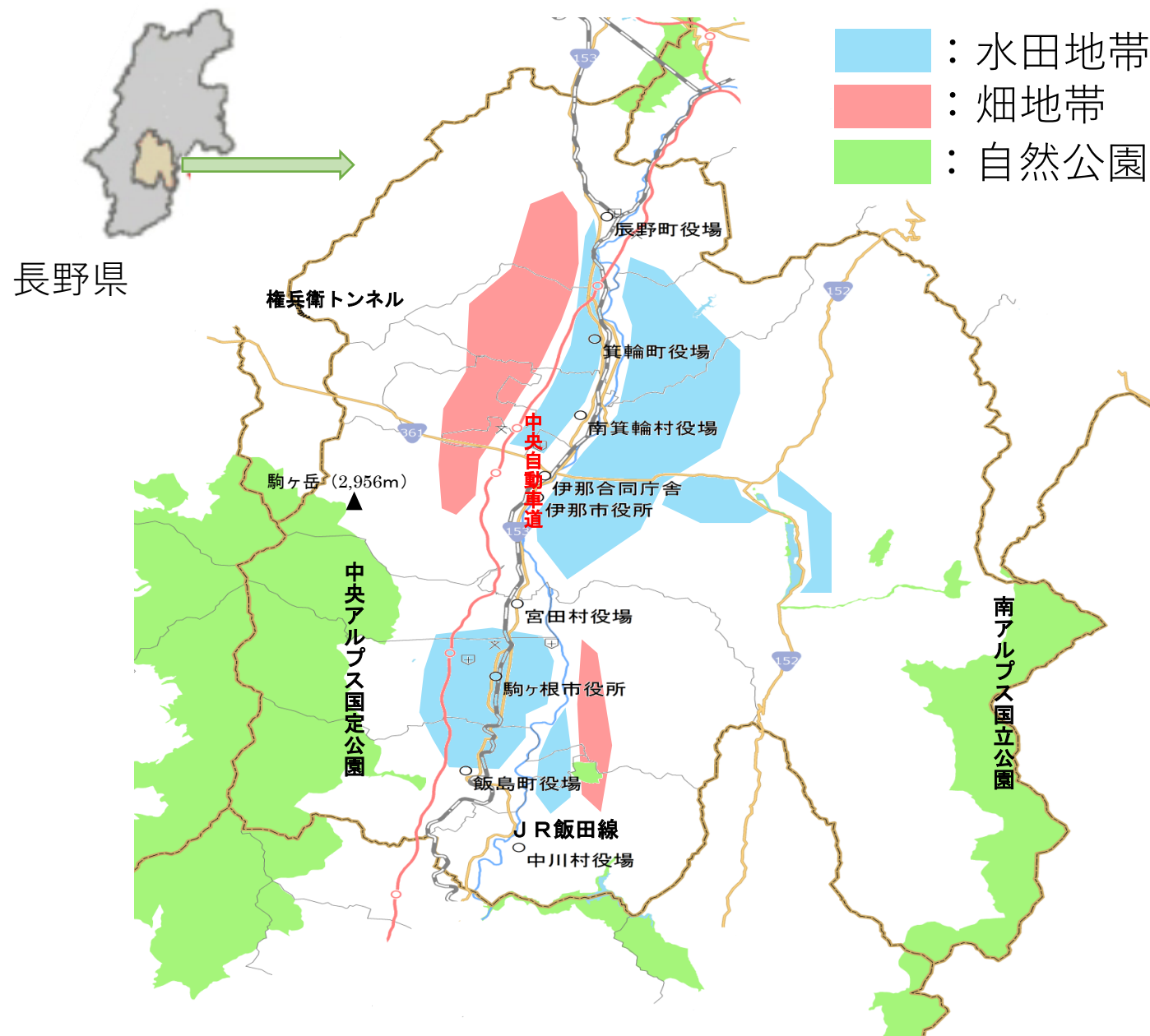
耕地面積 12,432ha (12.0%)

※ () 内は構成比

○標高（伊那合庁） 644m

○天竜川を中心に、東側は水田地帯、
西側は畑地帯が広がっている

○水田、畑地とも県全体の整備率を
大きく上回っている



○内陸性気候

- ・ 気温：日較差※1、年較差※2が大きい。
- ・ 降水量：県内他地域より比較的多い。

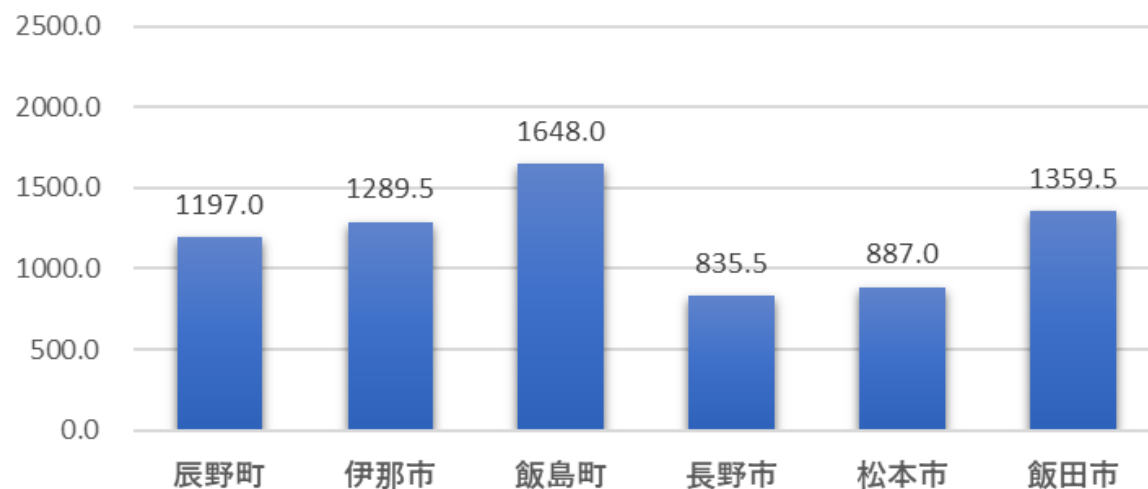
※1・にちかくさ…一日の最高気温と最低気温の差、※2・ねんかくさ…一年間の最高気温と最低気温の差

令和7年 気象庁県内観測所別データ

年間最高・最低気温 (単位：℃)



年間降水量 (単位：mm)



- 年齢3区分の管内平均は県平均並
- 南箕輪村の65歳以上人口の比率は、県内市町村で最少

（令和8年4月1日現在）

市町村	項目	総人口（人）	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
			人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
伊那市		63,201	7,176	11.5	34,588	55.4	20,638	33.1
駒ヶ根市		30,703	3,180	10.5	17,173	56.6	9,978	32.9
辰野町		16,929	1,593	9.4	8,608	51.0	6,685	39.6
箕輪町		24,242	2,658	11.8	12,774	56.5	7,169	31.7
飯島町		8,412	861	10.2	4,197	49.9	3,353	39.9
南箕輪村		16,091	2,330	14.6	9,770	61.1	3,879	24.3
中川村		4,359	495	11.4	2,193	50.3	1,671	38.3
宮田村		8,316	1,039	12.5	4,755	57.3	2,500	30.1
計（A）		172,253	19,332	11.4	94,058	55.6	55,873	33.0
県計（B）		1,959,494	210,522	11.0	1,066,772	55.6	642,433	33.5
（A）/（B）（％）		8.8	9.2	－	8.8	－	8.7	－

※「毎月人口異動調査年齢別人口（2026年4月分）」（長野県）による。
なお、年齢不詳者がいるため、年齢別人口の合計と総人口の人数が一致しない。

○ 製造業を中心とした第二次産業就業者の割合が県平均より高い。

(令和2年10月1日現在)

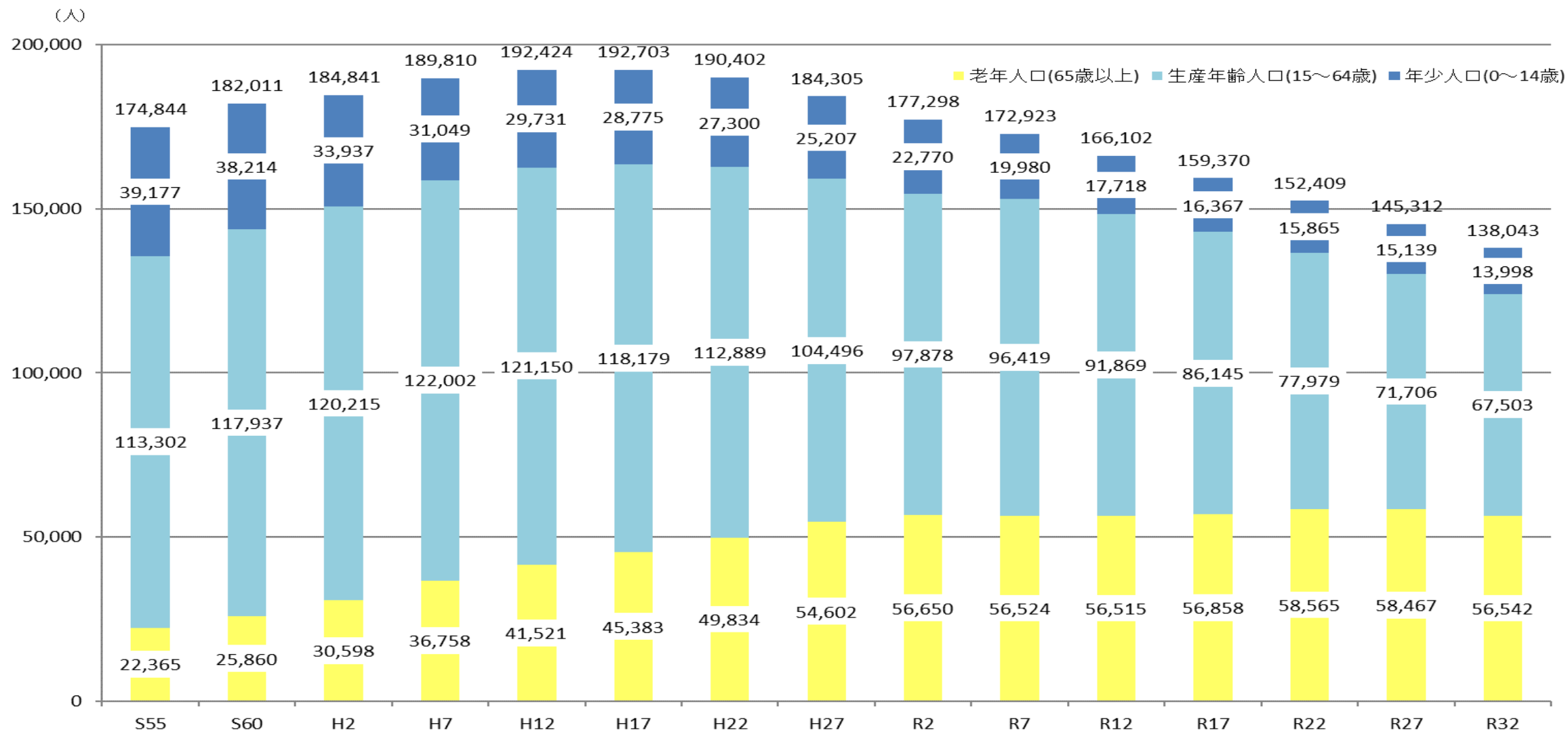
市町村	項目	就業人口 総数（人）	第一次産業就業者		第二次産業就業者		第三次産業就業者	
			人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
伊那市		36,301	2,935	8.1	12,381	34.1	20,985	57.8
駒ヶ根市		17,739	1,158	6.5	6,918	39.0	9,663	54.5
辰野町		9,295	443	4.8	4,144	44.6	4,708	50.7
箕輪町		12,751	839	6.6	5,883	46.1	6,029	47.3
飯島町		5,012	782	15.6	1,904	38.0	2,326	46.4
南箕輪村		8,785	493	5.6	3,359	38.2	4,933	56.2
中川村		2,683	570	21.2	866	32.3	1,247	46.5
宮田村		4,760	330	6.9	2,024	42.5	2,406	50.5
計	(A)	97,326	7,550	7.8	37,479	38.5	52,297	53.7
県計	(B)	1,086,918	92,133	8.5	312,275	28.7	682,510	62.8
(A)/(B)（％）		9.0	8.2	－	12.0	－	7.7	－

※「令和2年国勢調査（R2.10.1現在）」（総務省統計局）による。

3-3 人口動向（将来人口推計）

上伊那地域振興局

○令和32年（2050年）には管内人口が約13万人となり、令和2年比で20%以上減少



※資料：国勢調査・毎月人口異動調査結果による毎年10月1日現在の人口
R7年以降の人口数値は国立社会保障・人口問題研究所（R5年12月推計）による。

○管内市町村

- ・ 2市3町3村で構成され、団体規模は比較的大きい。
- ・ 直近の市町村合併：伊那市、高遠町、長谷村が合併（平成18年3月31日）

○広域連合

- ・ 消防事務業務、ごみ処理施設等の設置・運営、業務システムの共同利用 等を広域的に実施

（参考）広域連合・一部事務組合

名称	構成団体名	共同処理する事務
上伊那広域連合	伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村	広域行政の推進、消防事務、ごみ処理施設等の設置・運営 業務システムの共同利用、広域的観光の振興 等
辰野町塩尻市小学校組合	塩尻市、辰野町	組合立両小野小学校
伊那中央行政組合	伊那市、箕輪町、南箕輪村	伊那中央病院と伊那中央衛生センターを運営
伊南行政組合	駒ヶ根市、飯島町、中川村、宮田村	昭和伊南総合病院、伊南衛生センター等を運営
長野県上伊那広域水道 用水企業団	長野県、伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、南箕輪村、 宮田村	水道用水供給

4－2 管内市町村の決算状況（令和6年度）①

上伊那地域振興局

（単位：千円）

団体名	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引額 (A-B)C	翌年度へ 繰越すべき財源 D	実質収支 C-D	標準財政 規模
伊那市	41,741,242	40,363,989	1,377,253	441,601	935,652	21,784,875
駒ヶ根市	17,976,039	17,075,065	900,974	139,487	761,487	9,713,199
管内市計	59,717,281	57,439,054	2,278,227	581,088	1,697,139	31,498,074
県市計	862,018,962	837,466,685	24,552,277	4,961,935	19,591,242	460,098,625
辰野町	10,618,196	10,156,712	461,484	58,633	402,851	6,344,152
箕輪町	13,250,930	12,633,538	617,392	305,946	311,446	7,291,091
飯島町	6,281,533	6,030,366	251,167	90,954	160,213	3,828,467
南箕輪村	8,803,513	8,271,086	532,427	122,700	409,727	4,978,051
中川村	5,122,913	4,843,024	279,889	41,017	238,872	2,754,987
宮田村	5,810,359	5,610,013	200,346	53,034	147,312	3,186,453
管内町村計	49,887,444	47,544,739	2,342,705	672,284	1,670,421	28,383,201
県町村計	347,587,356	328,211,080	19,376,276	3,968,092	15,408,184	192,618,321
管内市町村計	109,604,725	104,983,793	4,620,932	1,253,372	3,367,560	59,881,275
県計	1,209,606,318	1,165,677,765	43,928,553	8,929,127	34,999,426	652,716,946

4－3 管内市町村の決算状況（令和6年度）②

上伊那地域振興局

（単位：千円）

団体名	積立金 現在高		地方債 現在高	経常収 支比率	実質公債費 比率	財政力 指 数
	（令和6年度末）	財政調整基金	（令和6年度末）	%	%	
伊那市	24,134,935	5,641,676	25,886,046	91.2	7.2	0.48
駒ヶ根市	5,066,998	2,071,128	16,436,763	92.7	11.8	0.57
管内市計・平均	29,201,933	7,712,804	42,322,809	92.0	9.5	0.53
県市計・平均	276,530,884	91,611,945	623,752,693	91.3	6.4	0.55
辰野町	3,554,462	1,926,385	6,666,046	91.0	8.6	0.47
箕輪町	3,123,760	1,750,292	10,316,929	88.9	9.0	0.56
飯島町	2,188,179	1,119,040	3,858,820	80.1	8.9	0.37
南箕輪村	3,297,749	2,612,488	5,263,001	89.5	7.8	0.54
中川村	3,630,656	1,073,805	3,022,402	82.3	-1.0	0.21
宮田村	3,739,265	1,276,835	2,166,761	74.0	6.2	0.46
管内町村計・平均	19,534,071	9,758,845	31,293,959	84.3	6.6	0.44
県町村計・平均	218,356,532	87,946,567	225,375,099	82.5	7.3	0.32
管内市町村計・平均	48,736,004	17,471,649	73,616,768	86.2	7.3	0.46
県計・平均	494,887,416	179,558,512	849,127,792	88.7	6.7	0.38

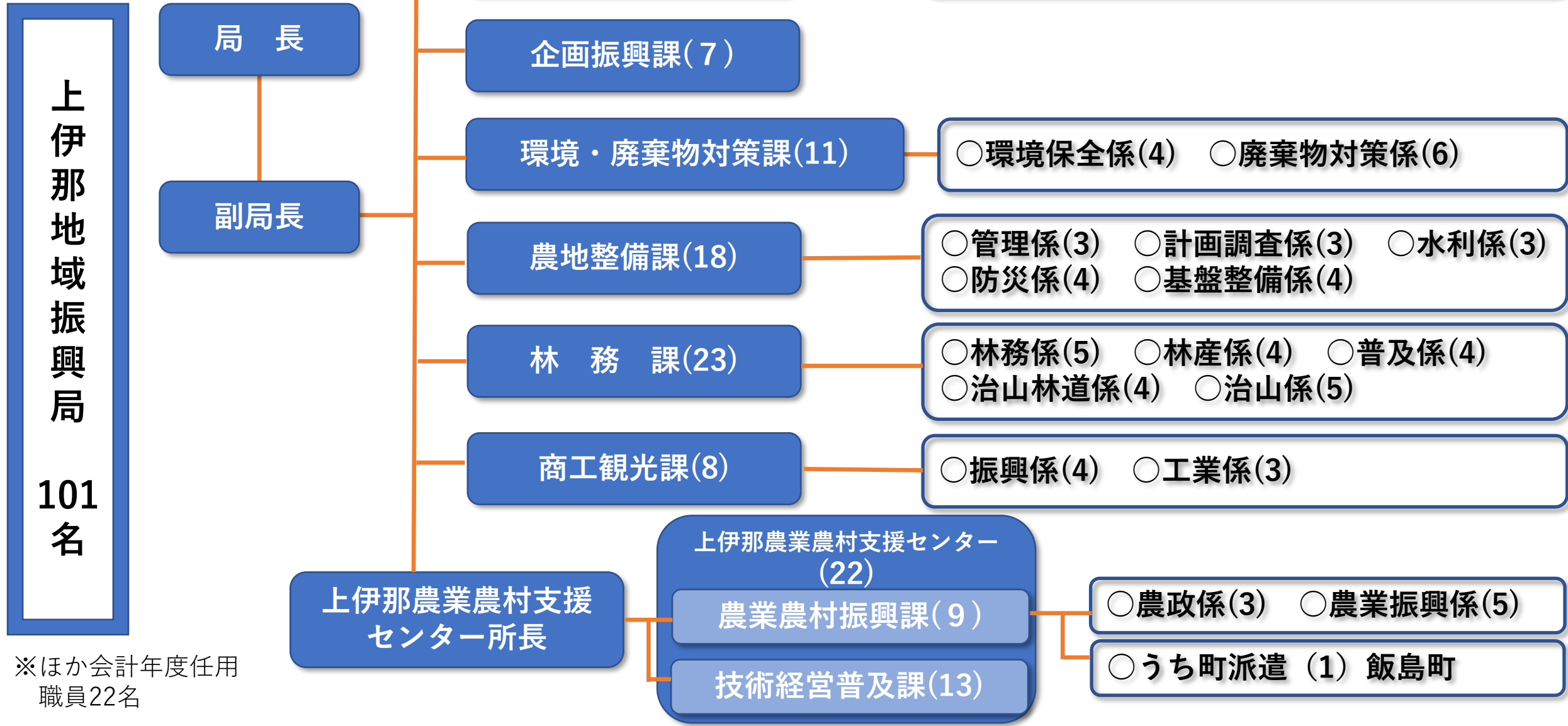
上伊那地域振興局

各課主要事業等

1-1 組織・職員数

総務管理課

【R8.4.1現在、() 人】



○伊那合同庁舎

- ・ 昭和49年12月竣工
- ・ 延床面積 11,911.21㎡
- ・ 敷地面積 6,353.51㎡
- ・ 構造 RC造 地上5階 地下1階 塔屋1階
- ・ 庁舎耐震化改修工事完了 (H26～H27)
- ・ 照明LED化工事完了 (R5)
- ・ 自衛消防団 46名



○入庁人員等 27団体 392名

【R8.4.1現在、() 職員数】

- ・ 県現地機関 7所 333名

[上伊那地域振興局(123)・南信県税事務所(40)・伊那保健福祉事務所(57)
伊那建設事務所(67)・南信労政事務所(5)・南信会計センター(11)
南信教育事務所(30)]

- ・ 団体等 20団体 59名 [県土地改良事業団体連合会南信事業所ほか]



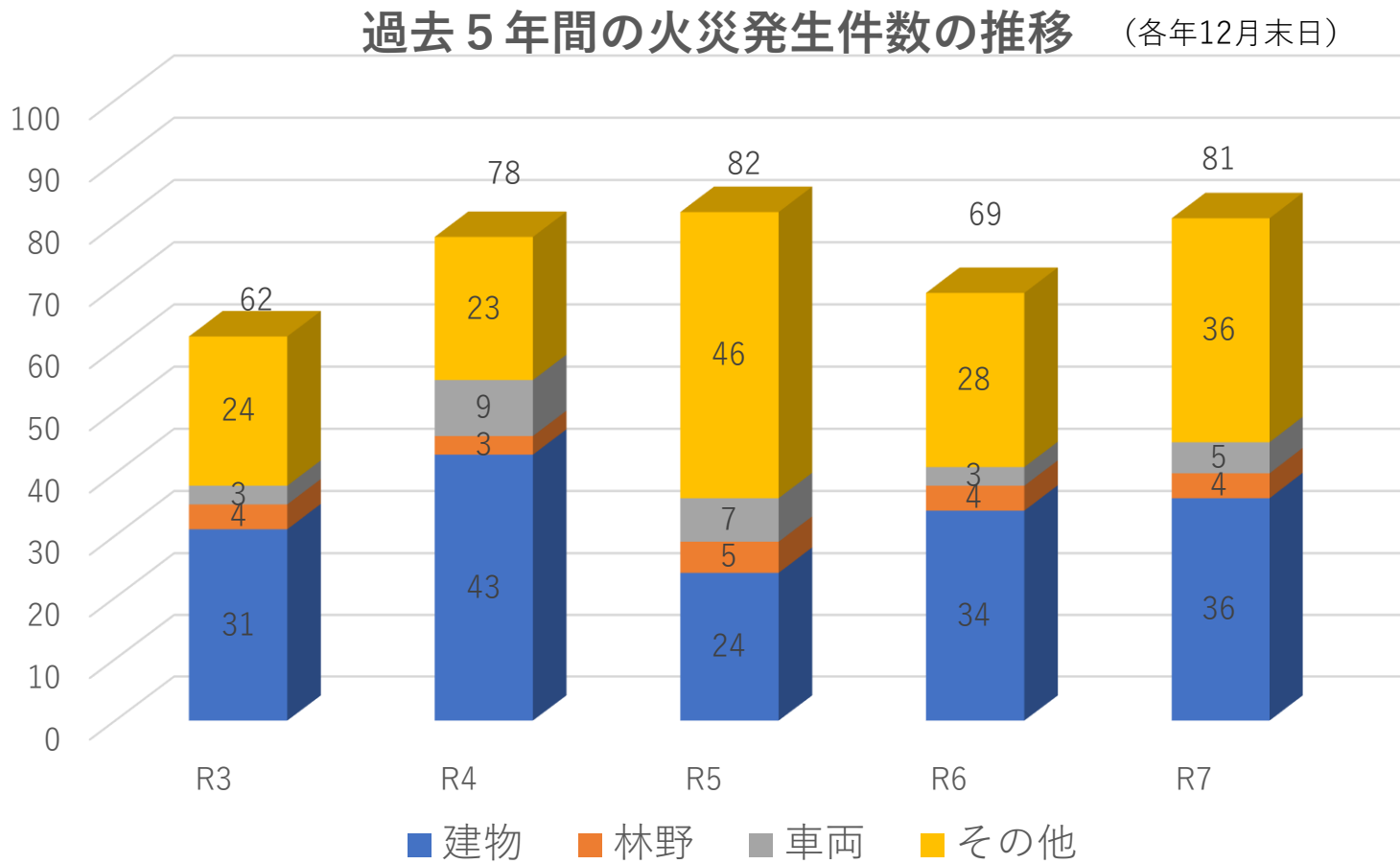
○入庁団体 20団体 59名

【R8.4.1現在、（ ）職員数】

- | | | |
|-----|----------------------------|----------------------------|
| 5階 | ・ 上伊那市町村教育委員会連絡協議会（1） | ・ 上伊那地方視聴覚教育協議会（1） |
| | ・ 長野県職員労働組合上伊那支部（1） | |
| 4階 | ・ (公財)長野県建設技術センター南信事業所（4） | |
| | ・ (公社)長野県建築士会上伊那支部（1） | ・ 長野県土地開発公社（3） |
| 3階 | ・ 上伊那消防協会（1） | ・ 上伊那山林協会（1） |
| | ・ 上伊那猟友会（1） | |
| | ・ 長野県土地改良事業団体連合会南信事業所（14） | ・ (公社)長野県林業公社上伊那支所（1） |
| 2階 | ・ 上伊那農業委員会協議会（1） | ・ 長野県住宅供給公社伊那管理センター（8） |
| | ・ (公社)長野県浄化槽協会南信支所（8） | ・ (公財)長野県農業開発公社南信事業所（2） |
| 1階 | ・ 伊那食品衛生協会（2） | ・ (特非)長野県セルプセンター協議会南信担当（1） |
| | ・ (公財)長野県長寿社会開発センター伊那支部（2） | ・ (一社)長野県調理師会上伊那支部（1） |
| B 1 | ・ 長野県庁生活協同組合（売店・理髪）（5） | |

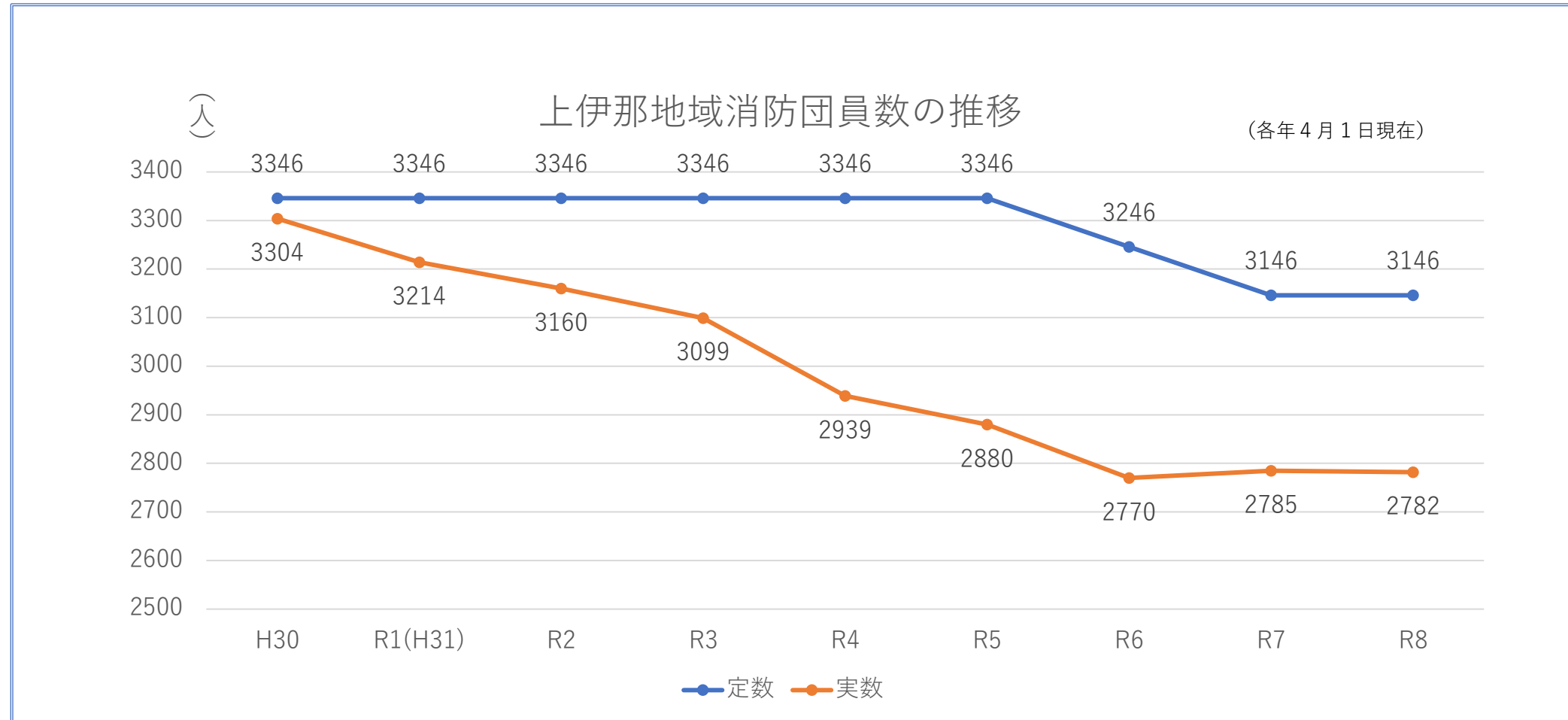
○火災件数 81件 (+12) (建物 36件 (+2)、林野 4件 (±0)、車両 5件 (+2)、その他※ 36件 (+8))

- ・ 主な原因：たき火、野焼き
- ※空地、廃材、土手及び河川敷の枯草等の火災



○全市町村で定数※が未充足、長期低下傾向

※市町村条例による

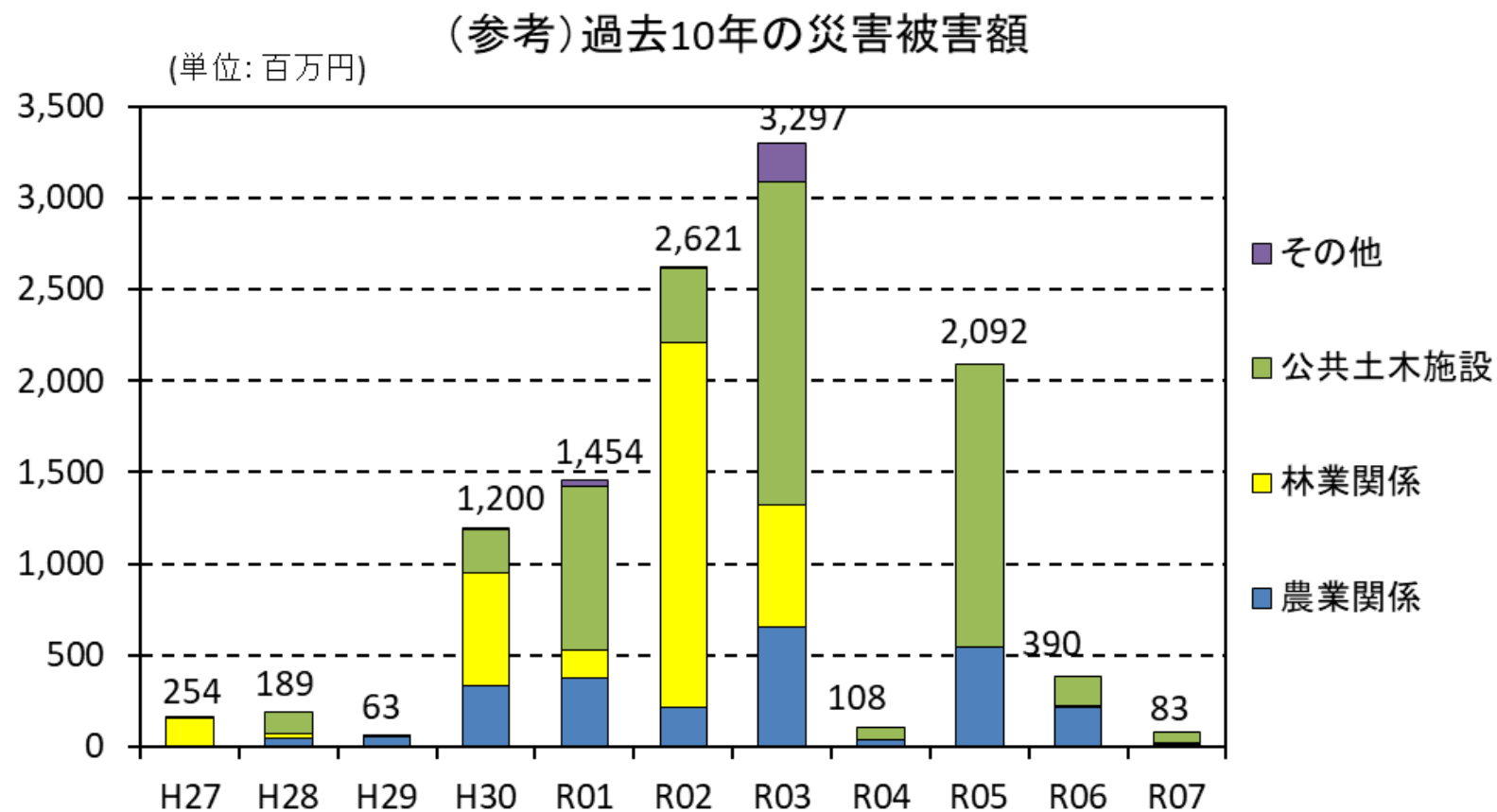


○R8女性団員比率 7.2% (R7 6.3%) (R7 全県3.9%)

4 防災 (1)災害発生状況 (令和7年)

総務管理課

- 年間総被害額 8,314万円
- ・農業関係 1,300万円 (農業施設 700万円、農地 600万円)
 - ・林業関係 1,214万円 (林業施設 1,214万円)
 - ・土木関係 5,800万円 (道路 800万円、河川 5,000万円)



4 防災 (2)災害対策本部上伊那地方部①

総務管理課

○伊那合庁県現地機関で組織

○設置、参集基準

・第一次参集当番

大雨、土砂災害、氾濫警報（レベル3）発表、暴風警報、暴風雪警報、大雪警報発表
南海トラフ地震臨時情報（調査中）発表

・警戒連絡会議

震度4又は5弱の地震発生
大雨、土砂災害、氾濫危険警報（レベル4）発表

・警戒・対策本部

震度5強の地震発生
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）又は（巨大地震警戒）発表

・災害対策本部

震度6弱以上の地震発生
大雨、土砂災害、氾濫特別警報（レベル5）発表、暴風特別警報、暴風雪特別警報、大雪特別警報発表
警戒レベル5緊急安全確保発表※

※市町村による

○初動対応

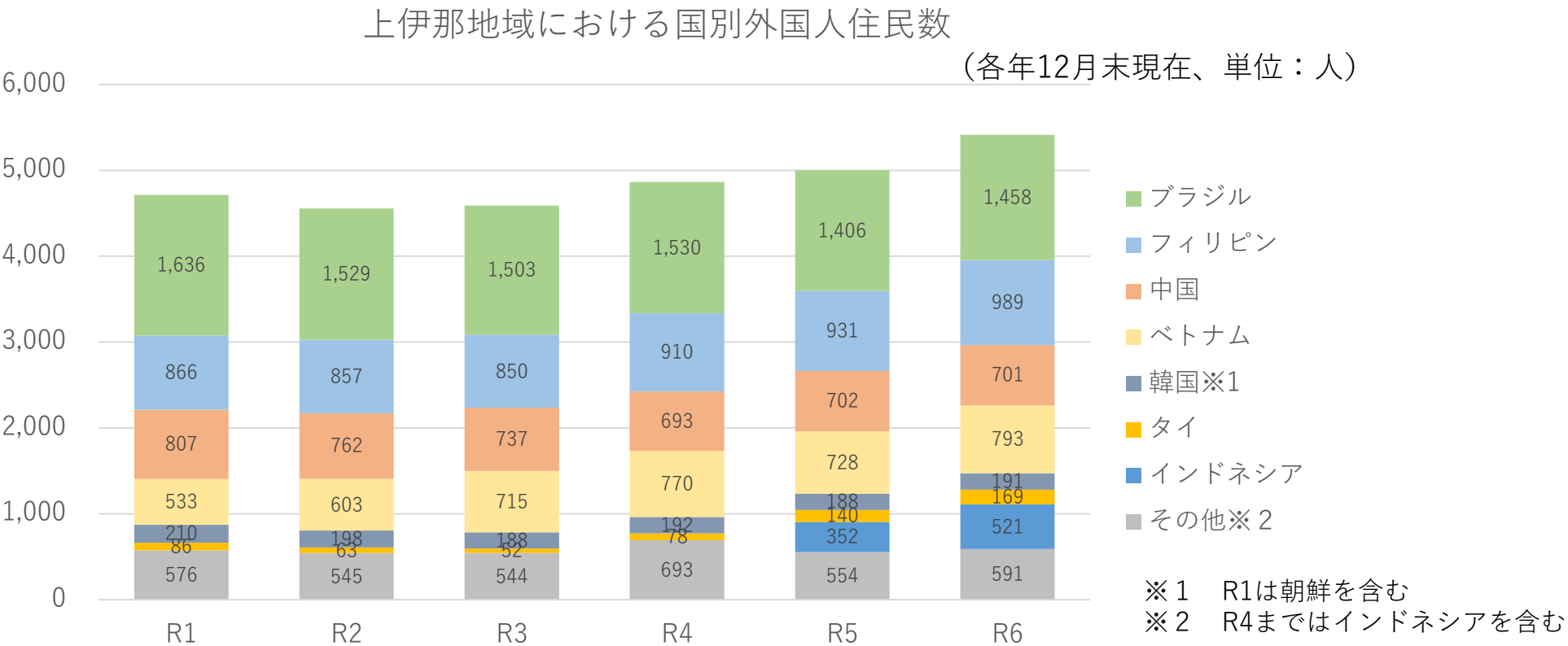
・伊那合庁の安全確認

（停電時：4日以上電気使用可能、断水時：3日以上の飲料水確保）

・被害情報の収集（管内市町村にリエゾン派遣）

・職員の安否確認・報告

○外国人住民数は増加傾向



○外国人住民の割合が高い（上伊那 3.06% 全県 2.33%）

市町村別外国人住民数及び総人口に占める割合 (令和6年12月末現在)

伊那市	駒ヶ根市	辰野町	箕輪町	飯島町	南箕輪村	中川村	宮田村	計	全県
2,038	876	470	854	305	411	78	381	5,413	46,850
(3.14%)	(2.80%)	(2.61%)	(3.50%)	(3.44%)	(2.56%)	(1.69%)	(4.36%)	(3.06%)	(2.33%)

出典：県民文化部集計データ

○能登半島地震で見た外国人避難の課題

災害の状況が分からない / 避難する場所が分からない / 避難所トラブル など

○多文化共生防災セミナー

令和7年1月26日開催 市町村、関係団体など24名参加

- ・講演「災害時外国人对応について」
講師：土井佳彦氏（NPO法人多文化共生マネージャー協議会）
- ・事例発表やワークショップを通じ、外国人对応の地域課題や対応を共有

○今後は市町村同士の広域的な連携を促進



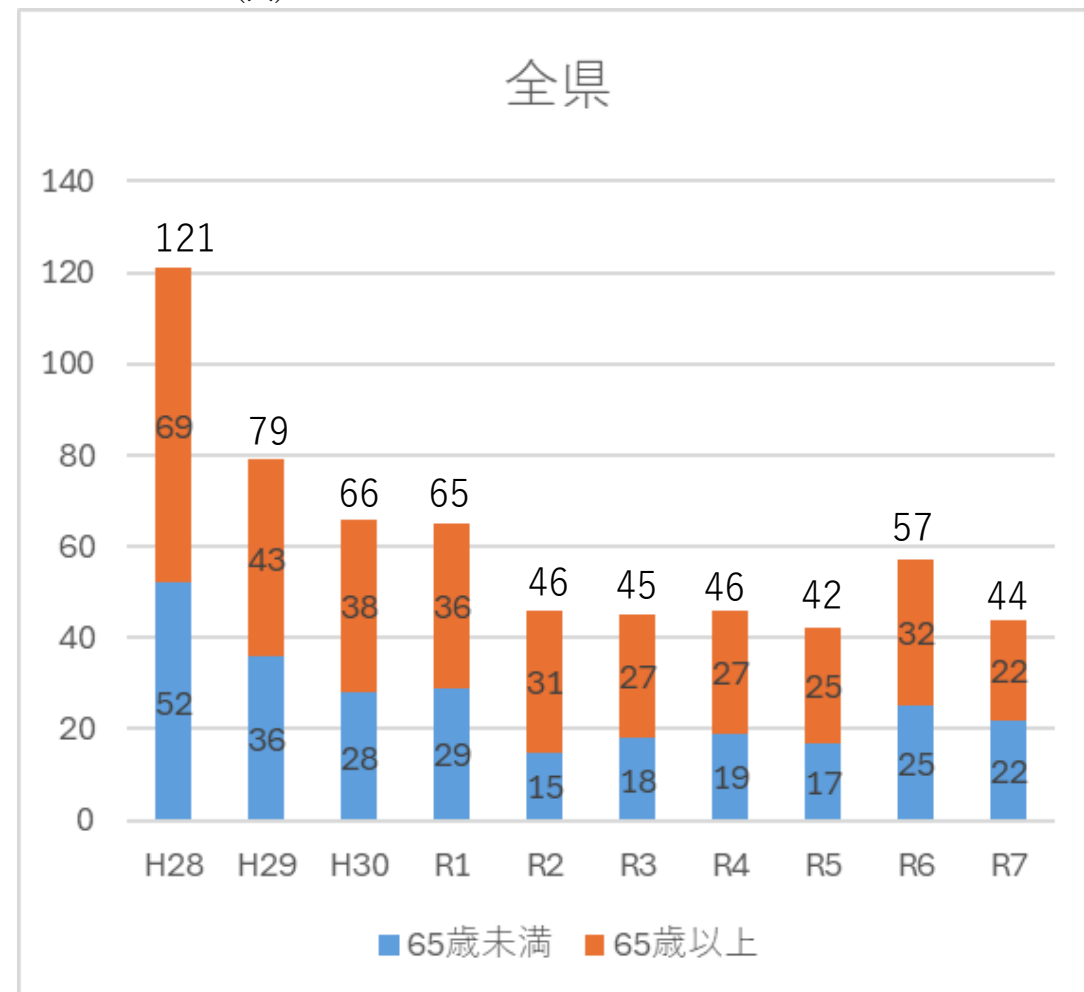
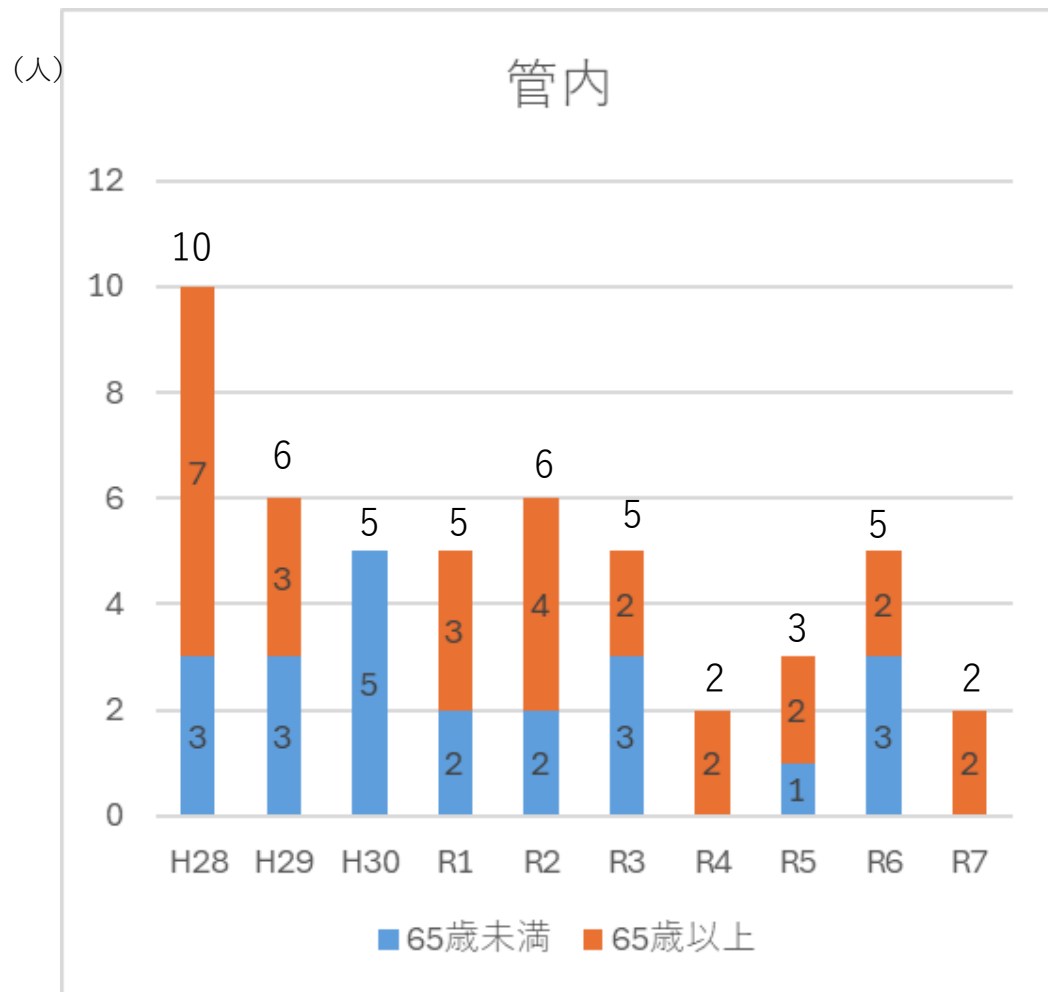
6 交通安全対策 (1)上伊那地域の交通事故発生状況①

総務管理課

○死亡者数は減少傾向

○死亡者は高齢者の割合が高い

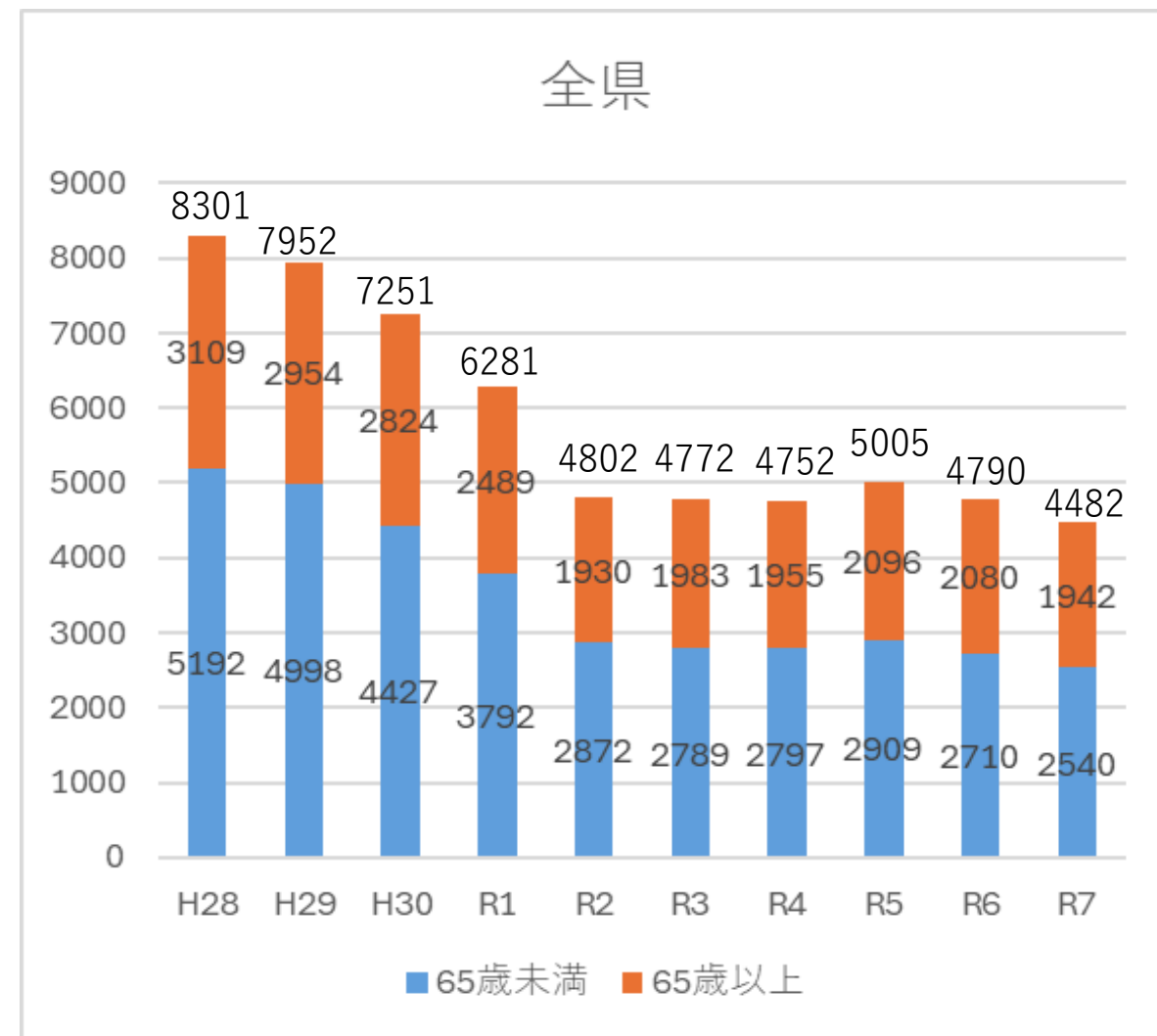
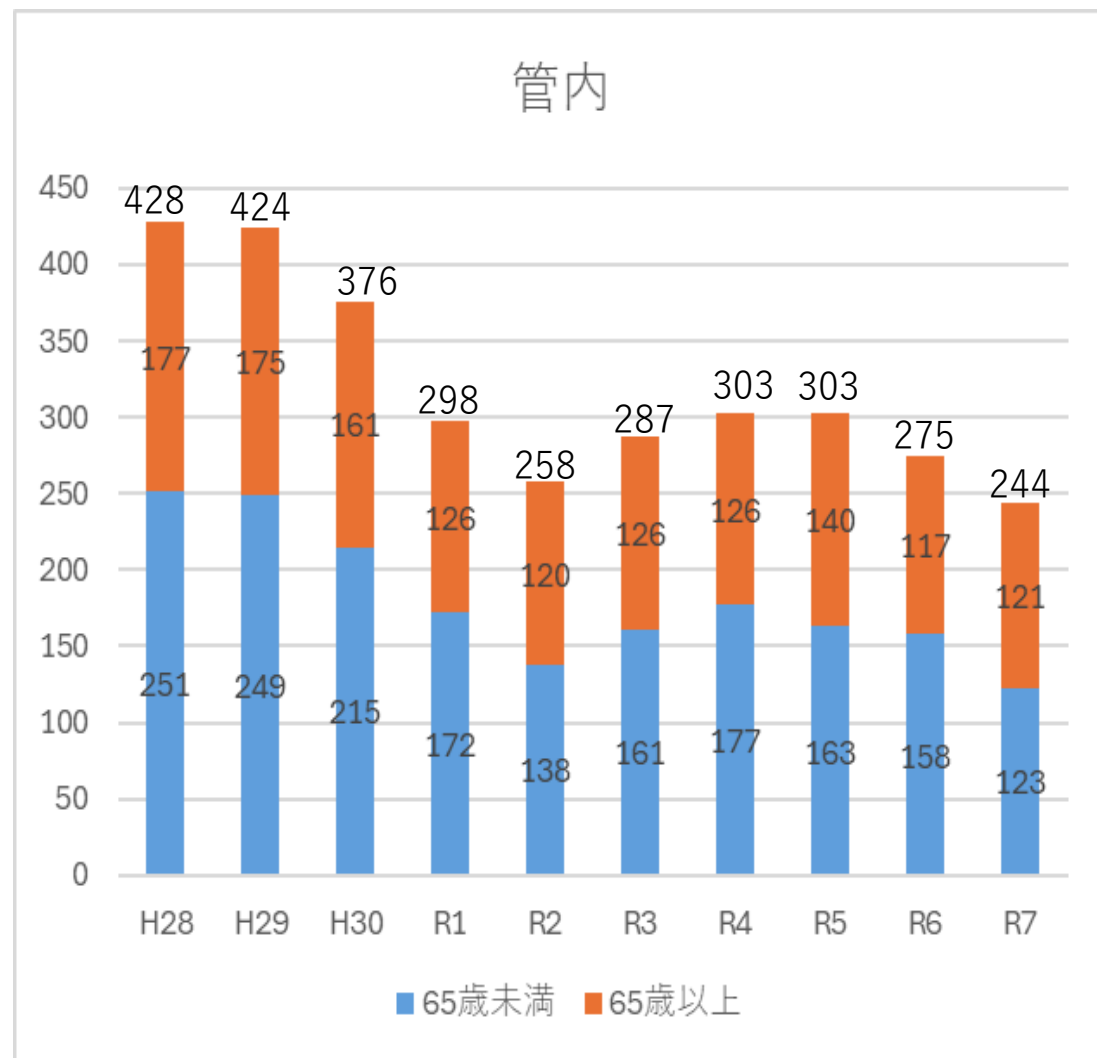
交通事故死亡者数の推移 (人)



出典：「交通統計」(警察本部交通部)

○事故件数は横ばい傾向

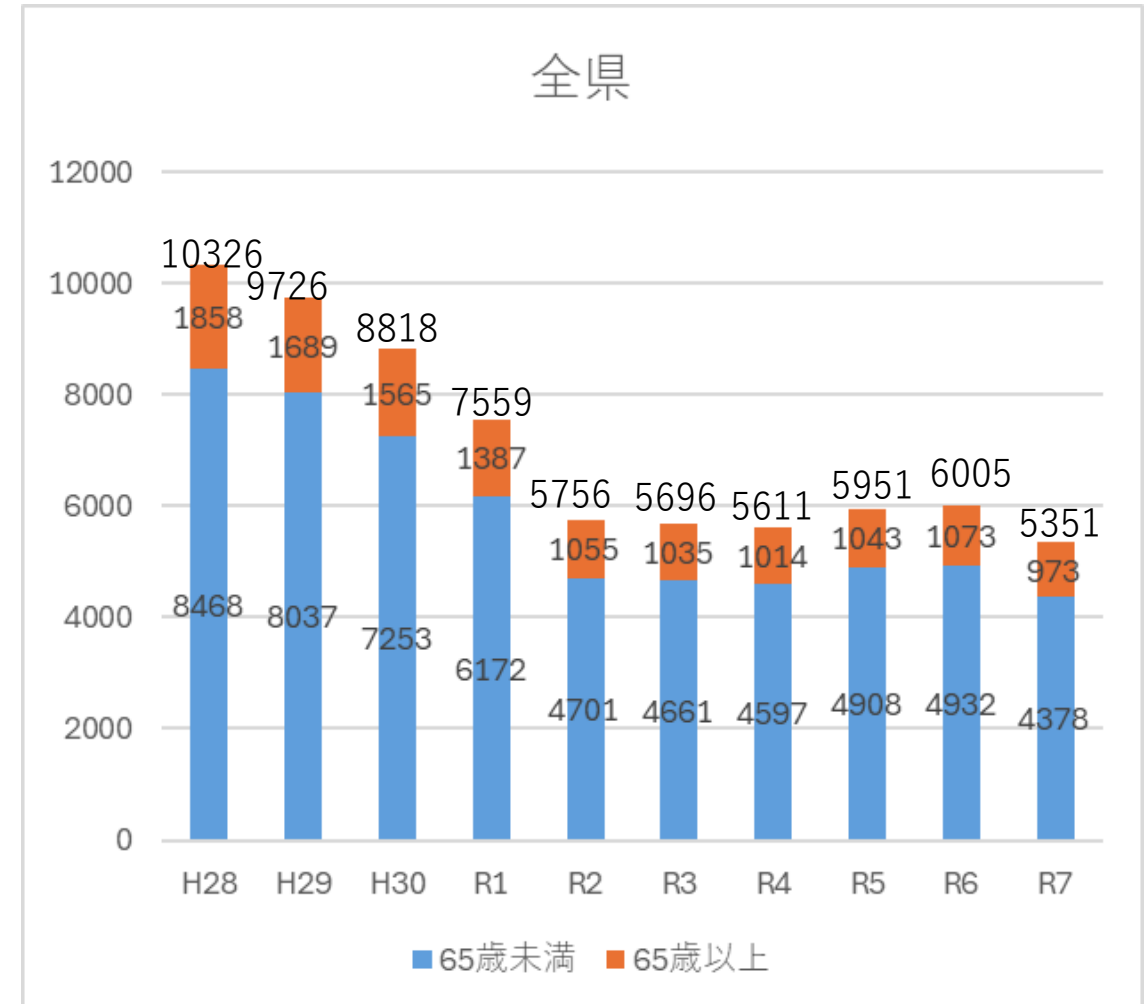
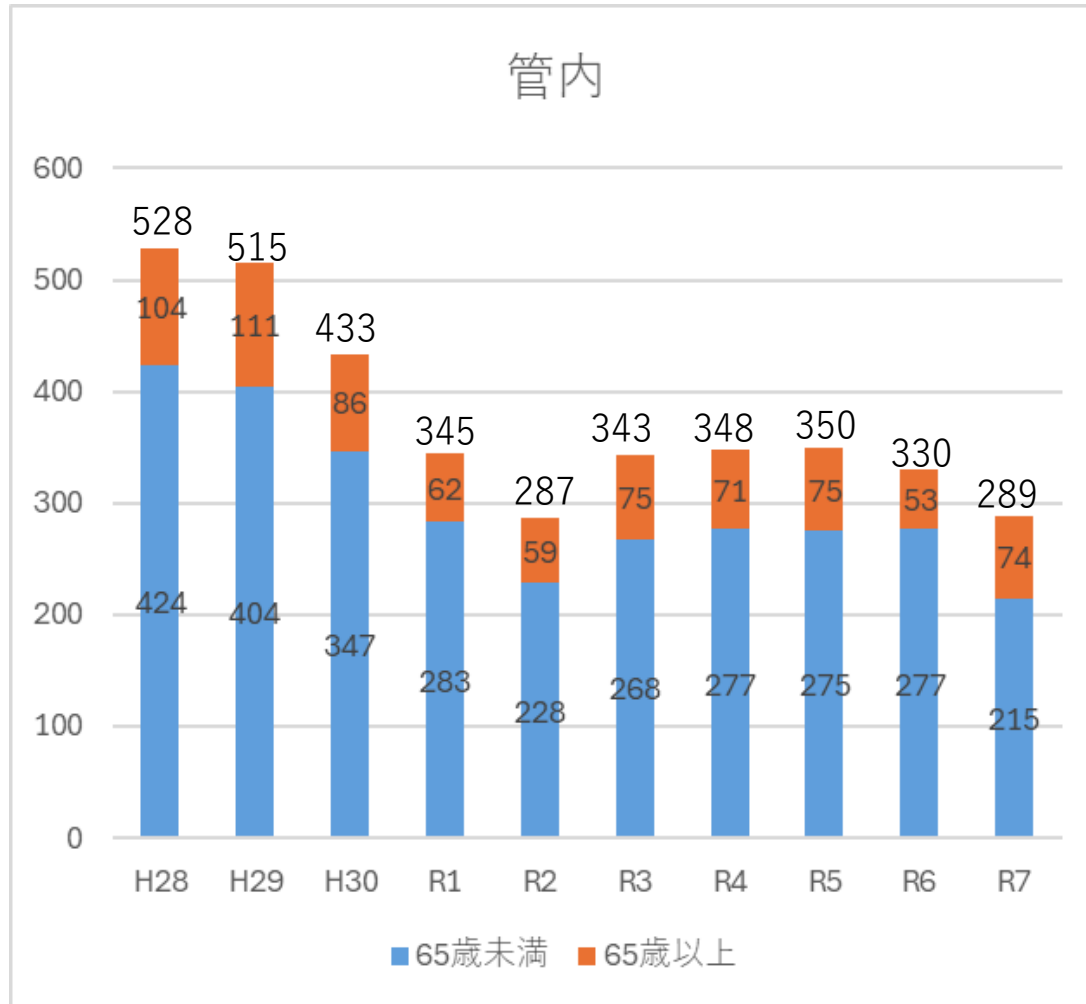
交通事故件数の推移 (人)



出典：「交通統計」(警察本部交通部)

○傷者数は横ばい傾向

交通事故傷者数の推移 (人)

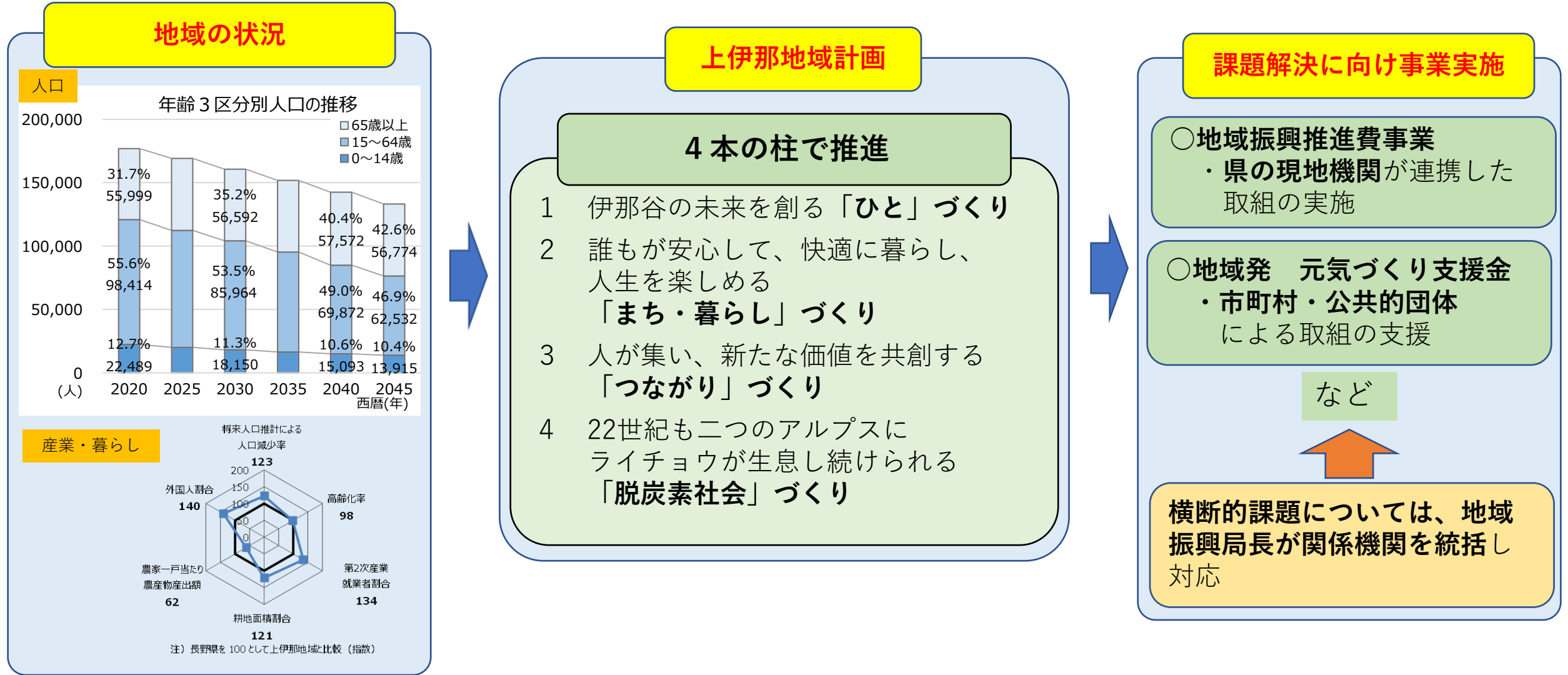


○市町村、警察署、交通安全協会等、関係機関と連携した啓発を実施

令和 7 年度の実施状況

名 称	運 動 期 間	街頭啓発又は交通指導所
春の全国交通安全運動	4/6～4/15 10日間	4/7 7:00～ ナイスロード伊那市役所前 同日 7:00～ 国道153号ツルヤ赤穂店前
夏の交通安全やまびこ運動	7/11～7/20 10日間	7/11 7:00～ イオン箕輪店前 同日 7:00～ ベルシャイン駒ヶ根店
秋の全国交通安全運動	9/21～9/30 10日間	9/22 7:00～ ナイスロード伊那市役所前 同日 7:00～ デリシア駒ヶ根店
年末の交通安全運動	12/15～12/31 17日間	12/15 7:00～ 国道153号羽場交差点 同日 7:00～ ベルシャイン駒ヶ根店

- しあわせ信州創造プラン3.0「上伊那地域計画」（R5～9）により政策を推進
- 地域計画は、「地域振興推進費事業」・「地域発 元気づくり支援金」等により推進



地域のめざす姿

人々の 思いが 力が 重なり 高まり 未来を創る 二つのアルプスに護られた 水と森林(もり)と太陽の伊那谷

地域重点政策

4本の柱	取組内容（R8年度における主な取組）
伊那谷の未来を創る 「ひと」づくり	○女性や若者など多様な人材が働きやすい環境の整備 ・上伊那の花の展示や花カードの作成等上農生と連携した特産花きのPR ○産学官民が一体となった伊那谷全体でのキャリア教育 ・建設系学科の高校生を対象に実地体験会、小学生を対象に「農業用水探検隊」を開催
誰もが安心して、快適に暮らし、人生を楽しめる 「まち・暮らし」づくり	○デジタル技術の活用促進、農林業技術の普及等による産業の振興 ・担い手確保や地場農産物を活用した6次産業化の推進(飯島町輝く農山村地域創造プロジェクト) ○リニア中央新幹線等の整備を見据え、国道153号バイパス事業の推進 ○防災対策の推進、公共交通の利用促進等による安全・安心の基盤の整備 ・みずずハイウェイバスの利用促進（企画乗車券の導入等）
人が集い、新たな価値を共創する 「つながり」づくり	○DMOの取組支援、地域資源の掘り起こし等による広域観光の推進 ・ファムトリップツアーの実施、紹介動画の作成 ・工場の製造工程の見学や製作体験のできるモデルコースを企画・作成 ○暮らしや仕事など総合的な魅力発信による移住・定住の促進 ・上伊那地域の魅力や地域資源を題材とした動画の制作
22世紀も二つのアルプスにライチョウが生息し続けられる 「脱炭素社会」づくり	○産学官民の連携による脱炭素社会の実現に向けた体制の整備 ・産学官民連携による「上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム」の推進 ○農業用水を活用した小水力発電や木質バイオマスの地消地産の促進



営農センターが司令塔となり、地区営農組合が農地調整を担い、地区担い手法人が農作業を受託する3階建て方式で運営し、農地を保全【平成14年（2002年）第31回日本農業賞（集団組織の部）「大賞」受賞】

●財政的支援（本庁地域振興課執行）

●補助対象市町村

交付対象		対象事業	補助率等	R8当初予算額(企画振興部地域振興課)			【参考】R7予算額	理由	市町村名	事業期間(年度)	地域資源
輝く農山村地域創造 に取り組む市町村		地域資源の磨き上げ	ソフト2/3以内	委託料	地域づくり支援組織への業務委託料	9,680千円	9,680千円	-	飯綱町	R6～R8	りんご
		地域内外の巻き込み	ハード1/2以内						根羽村	R6～R8	森林
		目指す姿の明確化や合意	3年間最大5,000万円/団体	補助金	補助対象市町村への財政的支援	79,213千円	47,750千円	31,463千円の増 塩尻市純増 飯島町活用増	飯島町	R7～R9	集落営農・営農組織
		形成に係る経費 等	※単年度2,000万円上限						塩尻市	R8～R10	「人」、「文化・コミュニティ」

現状・課題と目指す姿、事業の方向性

●現状と課題

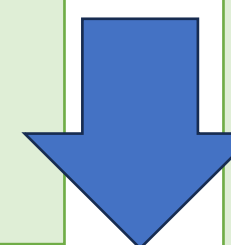
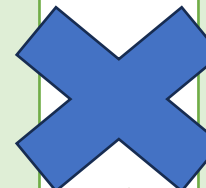
- ・高齢化、後継者不足により担い手減少
- ・農地の遊休化、荒廃化の進行
- ・農産加工分野の設備老朽化

●目指す姿

- ・持続可能な農業・農村モデルの確立
- ・多様な担い手の参画（非農家町民・企業・関係人口）
- ・ミヤマシジミを核とした生物多様性と農業の両立
- ・関係人口定着の好循環創出

●事業全体のイメージ

- ・農業振興×生物多様性×関係人口の3本柱で推進
- ・飯島町営農センターを核とした地域ぐるみ体制
- ・分析→検討→実行の段階的推進（2025～2027）



取組内容

●令和7年度

- ・農業者ヒアリングによる実態把握
- ・地域複合営農の分析・評価、ロードマップ策定
- ・加工組織ヒアリング、ワークショップ
- ・ミヤマシジミ保全活動



●令和8年度

- ・多様な担い手参画の仕組み構築（IIJIMA AGRI CAMPスタート）
- ・農援隊（草刈支援）、コーディネーター試行
- ・新商品開発及び加工施設の将来像確定
- ・ミヤマシジミ保全活動の継続・強化



『大切にしてきた地域のつながりを、**未来の力**に変える』時代に合わせたアップデート

横断的な課題	事業名	事業概要	事業費(円)
伊那谷の未来を創る 「ひと」づくり	地域の先端技術産業を学ぶ林業体験学習事業	・ 林業体験学習会（高性能林業機械の見学・操作体験）	143,000
	建設産業の魅力を実感プロジェクト事業	・ 高校生を対象とした公共施設整備体験会の開催	956,119
	理系女性の増加に向けた中高生への情報発信事業	・ インタビュー動画の作成、SNS等で情報発信	628,800
	はな（花）高々い～な（伊那）～上伊那の花 認知度向上プロジェクト（通称：花プロ）～	・ 花プロ授業の開催、花カード作成、合庁ロビー等で展示	292,602
	農業水利資産の郷土学習事業	・ 教材冊子等の印刷 ・ 教材を活用した現地見学会の開催	99,000
誰もが安心して、快適に暮らし、人生を楽しめる 「まち・暮らし」づくり	上伊那地域材利活用促進事業	・ 木材製品の展示や「きとくらす上伊那」のPRを実施	180,146
	地元酒米を使った地酒P R事業	・ イベントでの日本酒のP R	39,819
	スマート農業×田んぼダム実証実験事業	・ 「スマート 田んぼダム」の実証実験 ・ 農業者、市町村、土地改良区等を対象とした研修会開催	77,950
	多文化共生防災促進事業	・ 多文化共生防災セミナー開催	68,080
	みすずハイウェイバス利用促進事業	・ 夏休みに合わせた乗車割引、利用促進に向けた広報の実施	752,470
	農業資産・農村環境学習事業	・ 農業資産（用水路、ため池）に係る学習資料作成と学習会開催	94,600
	上伊那地域の農業資産魅力発信事業	・ 棚田やため池のパンフレットの作成、配布	85,800
人が集い、新たな価値を共創する 「つながり」づくり	中央アルプスの雪と高遠の桜等を活用したファムトリップ実施事業	・ コンテンツの磨き上げ及びモデルコースの作成	696,960
	上伊那観光PR事業	・ 県外で観光P Rの実施（浜松、名古屋、大阪）	1,816,665
	女性・若者を対象にプロスポーツ等活用した地域の魅力発信	・ VC長野トライデンツとのキックオフイベント開催 ・ 公式戦でのアルクマによる応援の実施	18,230
	豊かな自然と農産物を活用した関係人口の創出事業	・ 若手職員の意見等を参考に関係人口の創出事業の構築	61,646
（合計）		16事業	6,011,887

2 - 2 地域振興（地域振興推進費②） 令和 8 年度事業計画 予算額：7,295千円 企画振興課

横断的な課題	事業名（赤字は新規事業）	事業概要	事業費(円)
伊那谷の未来を創る 「ひと」づくり	建設産業の魅力体験プロジェクト事業～高校生による身近な公共施設整備体験～	・ 高校生を対象とした公共施設整備体験会の開催	800,000
	農業水利資産の郷土学習事業	・ 教材冊子等の印刷 ・ 教材を活用した現地見学会の開催	600,000
	はな（花）高々い～な（伊那）～上伊那の花 認知度向上プロジェクト（通称：花プロ）～	・ 花プロ授業の開催、花カード作成、合庁ロビー等で展示	507,000
誰もが安心して、快適に暮らし、人生を楽しめる 「まち・暮らし」づくり	地酒・工芸品 P R 事業	・ 「高遠城址もみじ祭り」における地酒の試飲、酒米・棚田パンフレット配布、パネル展示、地域工芸品の展示等	125,000
	スマート農業×田んぼダム実証実験事業	・ 「スマート 田んぼダム」の実証実験 ・ 農業者、市町村、土地改良区等を対象とした研修会開催	270,000
	みすずハイウェイバス利用促進事業	・ 長野県誕生150周年記念事業と連携し、記念デザインを施したノベルティの制作・配布 等	1,000,000
人が集い、新たな価値を共創する 「つながり」づくり	中央アルプスの雪と高遠の桜等を活用したファムトリップ実施事業	・ 観光業者等へのファムトリップツアーの実施、動画作成	1,444,000
	産業観光推進事業	・ 観光客や学生を対象に、地域産業に係る製造工程の見学や製作体験のモデルコースの作成、モニターツアーの実施	535,000
	上伊那観光PR事業	・ 県外で観光 P R の実施（名古屋） ・ 軽井沢での管内市町村特産品販売会の実施	1,378,000
	上伊那地域魅力発信推進事業	・ 上伊那地域の魅力や地域資源を題材とした動画の制作	500,000
22世紀も二つのアルプスにライチョウが生息し続けられる 「脱炭素社会」づくり	「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム」連携推進事業	・ ゼロカーボン推進に関する情報交換会の実施	116,000
（合計）		11事業	7,275,000

1 応募状況

○応募数 45件 (前年度比 5件減)
○要望額 60,943千円 (前年度比 20,619千円減)

2 内定状況

○内定数 42件 (前年度比 4件増)
○内定額 57,491千円 (前年度比 3,677千円減)

3 重点支援対象別支援実績

○地域における外国人県民の暮らしやすさ向上のための交流や支援に資する事業	1件	792千円
○関係人口の創出・拡大に向けた地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受入れ環境の向上に資する事業	8件	10,735千円
○生活圏内や生活圏間における地域公共交通の維持・確保に資する事業	1件	1,165千円
○コミュニティビジネスによる地域の課題解決に資する事業	2件	3,806千円
○地域におけるゼロカーボンの取組に資する事業	2件	4,822千円
合 計	14件	21,320千円

4 事業区分別支援実績

1 地域協働の推進	3件	5,205千円
2 保健、医療、福祉の充実	4件	4,462千円
3 教育、文化の振興	12件	10,152千円
4 安全・安心な地域づくり	2件	1,250千円
5 環境保全・景観形成	2件	3,744千円
6 産業振興、雇用拡大	11件	18,476千円
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0件	0千円
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	7件	8,217千円
合 計	41件	51,506千円

※R7 予算額：57,570千円



1 応募状況

○応募数	40件	(前年度比 5件減)
○要望額	69,794千円	(前年度比 8,851千円増)

2 内定状況（R8.5.15公表）

○内定数	37件	(前年度比 5件減)
○内定額	57,035千円	(前年度比 456千円減)

3 重点支援対象別内定状況

○地域における外国人県民の暮らしやすさ向上のための交流や支援に資する事業	1件	3,558千円
○関係人口の創出・拡大に向けた地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受入れ環境の向上に資する事業	9件	12,825千円
○生活圏内や生活圏間における地域公共交通の維持・確保に資する事業	2件	2,012千円
○コミュニティビジネスによる地域の課題解決に資する事業	4件	7,102千円
○地域におけるゼロカーボンの取組に資する事業	1件	853千円
合計	17件	26,350千円

4 事業区分別内定状況

1 地域協働の推進	2件	2,178千円
2 保健、医療、福祉の充実	1件	2,246千円
3 教育、文化の振興	13件	18,675千円
4 安全・安心な地域づくり	2件	1,937千円
5 環境保全・景観形成	2件	2,938千円
6 産業振興、雇用拡大	12件	23,209千円
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0件	0千円
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	5件	5,852千円
合計	37件	57,035千円

※R8 予算額：57,280千円



中川村 二子玉川小・中川西小交流協議会
※R6年度からの継事業

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
	64,351人		2,935人 8.1%	12,381人 34.1%	20,985人 57.8%
名勝等	高遠城址公園の桜、南アルプス、春の高校伊那駅伝				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R 6		特徴的取組		
	21,785百万円		新産業技術の導入、教育移住等の促進、脱炭素の促進		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債費比率
		0.48	－	91.2%	7.2%
	今年度の主要事業		美原防災スポーツセンター建設、高遠第 2 第 3 保育園整備、国スポ会場整備		
	懸 案 事 業		高校再編に伴う「官民共創の新しいまちづくり協議会」、老朽化施設の長寿命化・更新、下水道事業の経営健全化		

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
	30,878人		1,158人 6.5%	6,918人 39.0%	9,663人 54.5%
名勝等	中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ、光前寺、JICA（青年海外協力隊）訓練所				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R 6		特徴的取組		
	9,713百万円		JOCA（青年海外協力協会）連携によるまちづくり（スポーツジム、食堂等の運営）、竜東振興拠点施設整備、パートナーシップ宣誓制度導入		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債費比率
		0.57	53.9%	92.7%	11.8%
	今年度の主要事業		竜東振興拠点施設整備、国スポ会場整備、新保育園建設、旧モルゲンロート解体事業		
	懸 案 事 業		昭和伊南総合病院建替、国スポ会場（ホッケー）整備、公共施設の維持管理・統廃合		

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第1次産業	第2次産業	第3次産業
	17,572人		443人 4.8%	4,144人 44.6%	4,708人 50.7%
名勝等	松尾峡のほたる、たつの海（ため池）、小野のシダレグリ自生地				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R6		特徴的取組		
	6,344百万円		ゼロカーボンシティ、空き家活用、共創型ワーケーション（たつのWORK TRIP）		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債費比率
		0.47	—	91.0%	8.6%
	今年度の主要事業		保健福祉センター改修工事、老人福祉センター解体工事		
	懸案事業		公共施設老朽化、町立辰野病院の経営悪化、辰野支線の利用者減		

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
	24,105人		839人 6.6%	5,883人 46.1%	6,029人 47.3%
名勝等	箕輪ダム(もみじ湖)・赤そばの里・フェンシング				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R 6		特徴的取組		
	7,291百万円		もみじ湖の観光振興、高校生の居場所づくり (UTプロジェクト) 町内定額タクシーの運行、ゼロカーボン推進事業		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債費比率
		0.56	36.4%	88.9%	9.0%
	今年度の主要事業		松島保育園長寿命化事業、ゼロカーボン推進事業		
	懸 案 事 業		防災交流施設建設の将来負担、町民体育館・武道館耐震改修工事		

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
	8,719人		782人 15.6%	1,904人 38.0%	2,326人 46.4%
名勝等	飯島陣屋、千人塚公園				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R 6		特徴的取組		
	3,828百万円		トレーラーハウス「飯島流ワーケーション」、「いいじますくすくナビ」による子育て支援情報発信、ミヤマシジミ保全事業		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債費比率
		0.37	27.7%	80.1%	8.9%
	今年度の主要事業		柏木運動場整備事業（国スポホッケーサブ会場）、町営住宅改修工事、輝く農山村地域創造推進プロジェクト		
	懸 案 事 業		国スポサブ会場の整備、昭和伊南病院の建設に係る負担、大型事業の起債償還		

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
	15,960人		493人 5.6%	3,359人 38.2%	4,933人 56.2%
名勝等	大芝高原、V C 長野トライデント				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R 6		特徴的取組		
	4,978百万円		子供を安心して生み育てることができる環境整備（教育支援センターの設置、給食費補助等） 大芝高原整備（大芝公園遊具整備、大芝の湯リニューアル）		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債費比率
		0.54	3.4%	89.5%	7.8%
	今年度の主要事業		大芝の湯リニューアル・大規模改修工事		
	懸 案 事 業		大芝公園施設のリニューアル・改修、人口増に伴う公共施設整備費用等		

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
	4,539人		570人 21.2%	866人 32.3%	1,247人 46.5%
名勝等	陣馬形山キャンプ場、坂戸橋（国重要文化財）、飯沼の棚田				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R 6		特徴的取組		
	2,755百万円		「木の駅プロジェクト」の一環で森林整備や里山券（地域通貨）の発行、デマンド交通システムの運営、現地決済型ふるさと納税サービス「ふるまちPay」運用		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債費比率
		0.21	－	82.3%	-0.1%
	今年度の主要事業		村営住宅建設事業、村道改良事業（5 か年分）		
	懸 案 事 業		人口減少下の財政運営、リニア中央新幹線関連事業、統合小中学校改修		

人 口	総人口 ※住民基本台帳(R8.4.1現在)		産業別人口・割合 ※国勢調査人口(R2.10.1現在)		
			第1次産業	第2次産業	第3次産業
	8,687人		330人 6.9%	2,024人 42.5%	2,406人 50.5%
名勝等	中央アルプス駒ヶ岳、宮田高原、宮田宿本陣、宮田村産ヤマソービニオン「紫輝」				
標準財政規模 普通会計決算状況調査	R 6		特徴的取組		
	3,186百万円		就業支援、移住定住施策、空き家対策、子育て支援の充実化 (住みたい田舎ベストランキングで毎年上位にランクイン) 宮田方式による耕作放棄地の解消		
課題等	財政状況	財政力指数	将来負担比率	経常収支比率	実質公債比率
		0.46	—	74.0%	6.2%
	今年度の主要事業		新小中学校給食施設建設に係る工事		
	懸案事業		老朽化が進む公共施設の改修・修繕に係る財源確保、新学校給食施設の建設、産業廃棄物処分場建設予定地の買取りに伴う土地利用		

県計画の方針

（期間 令和6年度～令和10年度）

行政（県）の主体的な関与により、地域公共交通の維持・発展、利便性の向上を図る

計画の目標

- ①日常生活における自家用車から公共交通への利用転換
- ②通院・通学・観光に必要な**移動の保証**
- ③公共交通におけるサービスの品質保証（※1）

※1 移動に必要なダイヤ・便数などの水準、決済環境の充実 等

保証すべき移動

通院：医療機関への通院
通学：高校への通学
観光：観光地へのアクセス

広域的なバス路線の維持・確保
のため新たな支援制度を創設

信州型広域バス路線支援制度

※【支援対象】地域別部会で議論し、計画に位置づけられた路線

地域編（上伊那の検討状況）

バス路線に係る各拠点の整理

圏域拠点 → 伊那市駅
地域拠点 → 駅、市町村役場、病院、高校、
観光名所など

圏域拠点と地域拠点を結ぶ広域的なバス路線の整理

【令和8年度】

広域的なバス路線について、補助対象路線
の該当性を整理した上で、公共交通計画
（上伊那地域編）の更新を行う。

- 近年の管内移住者数は、県内では佐久、長野地域に次いで多く、概ね400人程度で推移 ※県地域振興課信州暮らし推進係調べによる

【管内の移住関連施策】

上伊那広域連合が主体となり、管内市町村が連携して取組を実施（県は元気づくり支援金により支援）

1 移住・定住促進事業

都市圏での移住相談会（関連イベントへの出展、移住セミナー）の開催

2 第2新卒者確保事業（UIターン促進事業）

上伊那地域への転職を考える学生や社会人を対象に転職・就職企業相談会を開催

3 上伊那広域移住パンフレットの作成

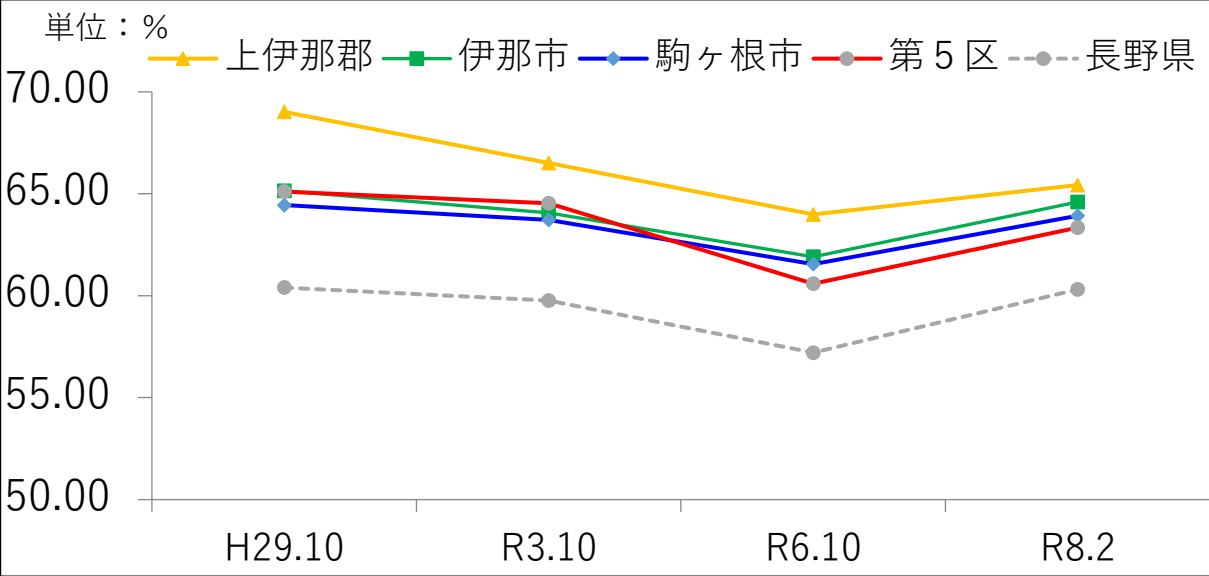
地域おこし協力隊や移住者の声を踏まえ、若い世代も手に取りやすい内容・デザインで作成



<上伊那広域移住パンフレット（一部抜粋）>

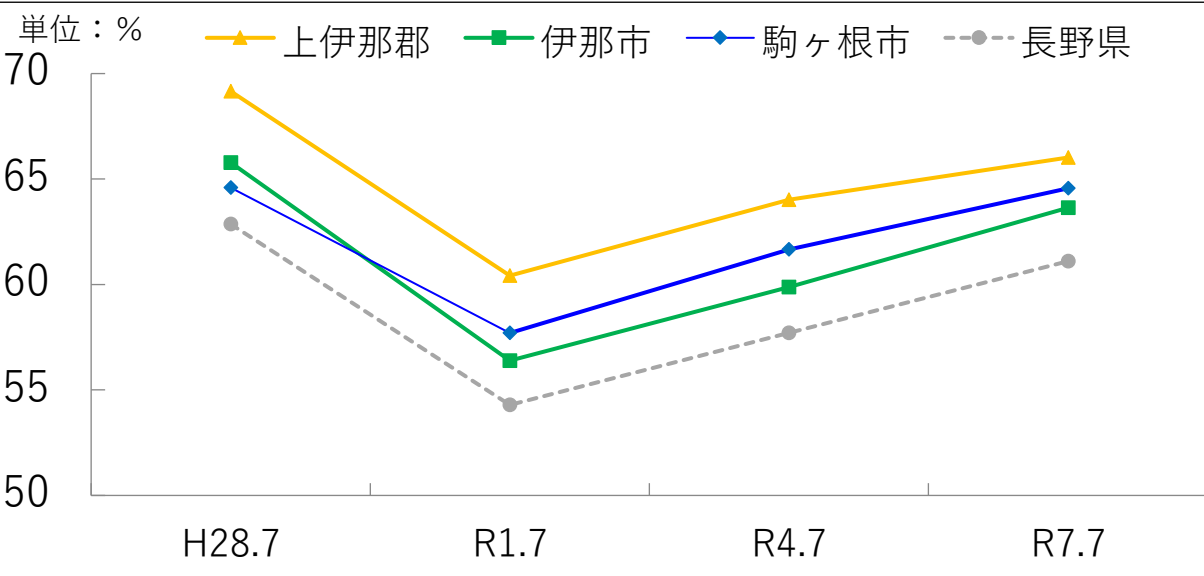
○ 投票率は国政・地方選挙ともに全体として低下傾向にあったが、直近では回復の動きもみられ、管内の投票率は県平均を上回っている。

【衆議院議員小選挙区選挙】



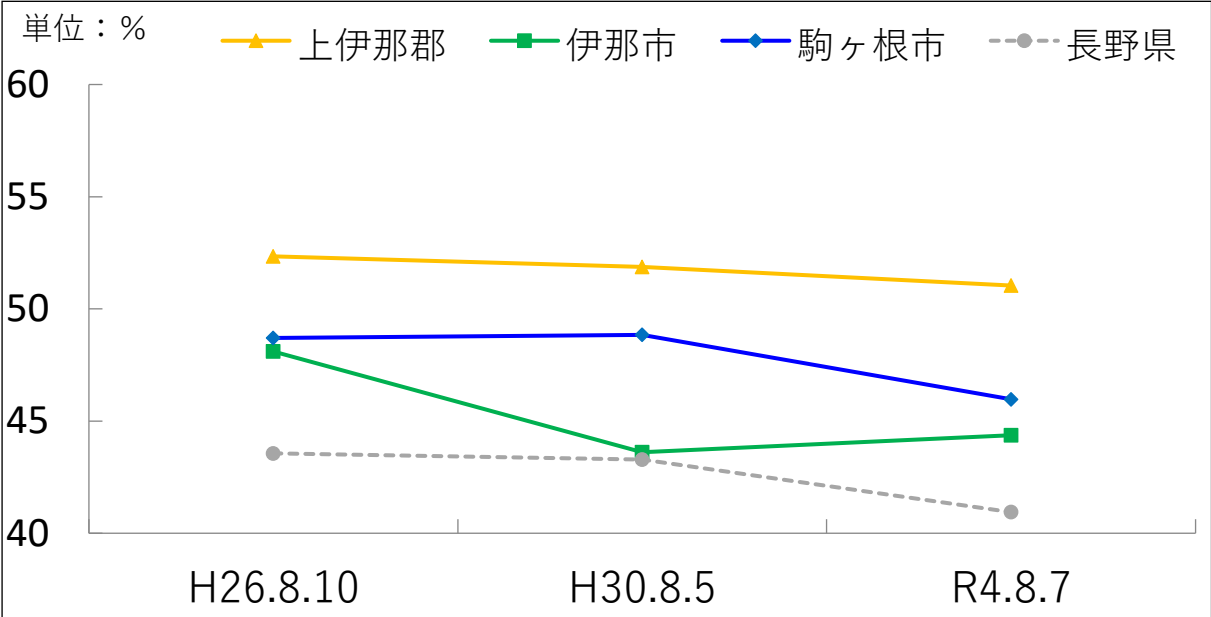
	H29.10	R3.10	R6.10	R8.2
上伊那郡	69.02	66.52	63.99	65.43
伊那市	65.15	64.07	61.91	64.60
駒ヶ根市	64.45	63.72	61.55	63.92
第5区	65.11	64.54	60.59	63.34
長野県	60.40	59.77	57.21	60.32

【参議院議員通常選挙（長野県選挙区）】



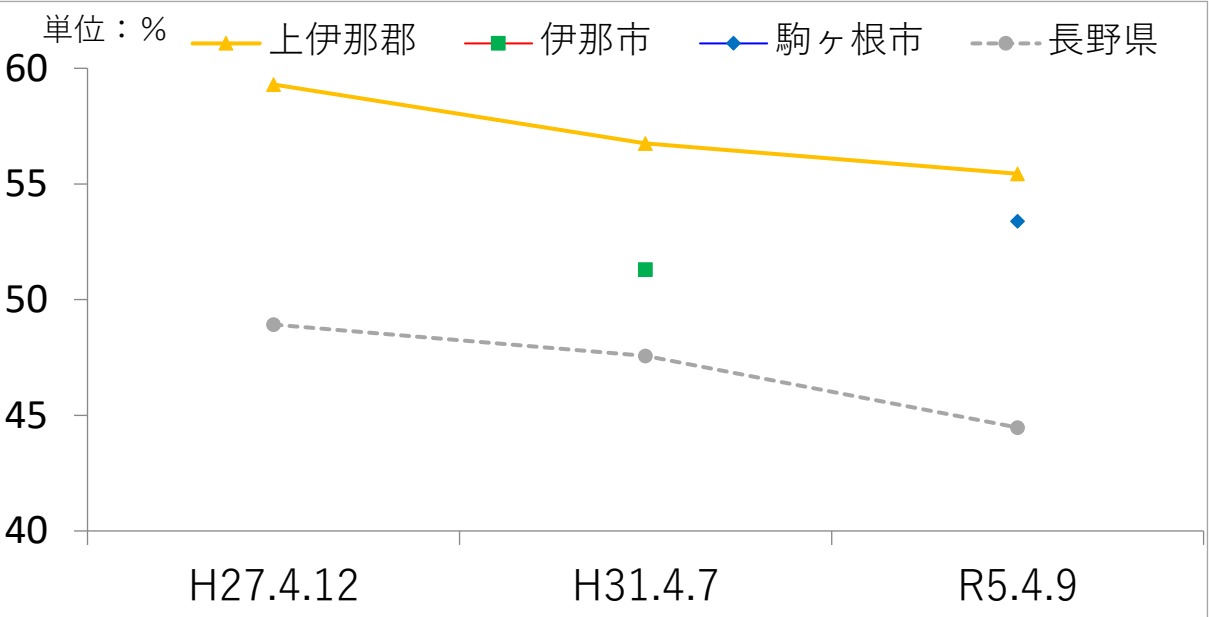
	H28.7	R1.7	R4.7	R7.7
上伊那郡	69.16	60.42	64.02	66.02
伊那市	65.78	56.39	59.88	63.64
駒ヶ根市	64.59	57.70	61.66	64.56
長野県	62.86	54.29	57.70	61.11

【長野県知事選挙】



	H26.8.10	H30.8.5	R4.8.7
上伊那郡	52.34	51.87	51.04
伊那市	48.10	43.61	44.37
駒ヶ根市	48.71	48.84	45.97
長野県	43.56	43.28	40.94

【長野県議会議員一般選挙】



	H27.4.12	H31.4.7	R5.4.9	参考	R4.8.7 県議補選
上伊那郡	59.30	56.75	55.44		49.99
伊那市	-	51.30	-		-
駒ヶ根市	-	-	53.39		-
長野県	48.92	47.57	44.47		-

○「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム(KZCP)」の体制強化

発足日 令和5年10月10日

運営団体（※はR7から参加）

経営者協会上伊那支部、上伊那広域連合、産業振興機構伊那センター・リサイクルシステム研究会、環境保全協会伊那支部、上伊那地域振興局、企業局南信発電管理事務所※

協力団体(R7.8~)伊那商工会議所・駒ヶ根商工会議所・商工会連合会上伊那支部

○産学官民の連携を推進

- ・情報共有、意見交換等を行うイベントを実施

令和7年度イベント実施状況

実施日時	イベント名	参加者
令和7年7月7日	脱炭素セミナー & KOA見学会	約 30名
令和7年7月9日	ゼロカーボンミーティング	約 40名
令和7年10月6日	事業所の省エネ支援セミナー	約 60名
令和8年2月18日	ゼロカーボン・シンポジウム2026	約 40名

- 「クルマとつなぐ屋根ソーラー補助金」（R7実績 105件）
- ・既存住宅へ太陽光パネルや蓄電池等の導入を補助

太陽光パネルに併せて 設置する場合	太陽光パネルが設置済み の場合
蓄電池の導入 20万円 V2H※の導入 25万円	蓄電池の導入 15万円 V2H※の導入 20万円

※V2H・・・電気自動車等に貯めた電気を自宅で使えるようにする機器

- 「信州の屋根ソーラーグループパワーチョイス」（R7実績 5件）
- ・太陽光パネル・蓄電池の共同購入（市場価格より安価に購入）

○国立公園

- ・南アルプス国立公園

○国定公園

- ・中央アルプス国定公園

○県立公園

- ・塩嶺王城県立公園
- ・三峰川水系県立公園
- ・天竜小渋水系県立公園



○市町村による自然公園の整備を補助

○R 8 整備計画

年度	市町村	自然公園名	概 要	総事業費(補助) 単位：千円		備 考
8	駒ヶ根市	中央アルプス（国定）	檜尾線道路(歩道)整備	3,531	(1,260)	R7⇒ 繰越
8	駒ヶ根市	中央アルプス（国定）	中央アルプス縦走線整備	1,518	(540)	R7⇒ 繰越
8	宮田村	中央アルプス（国定）	鉾盾山野営場整備	3,403	(1,531)	R7⇒ 繰越
8	宮田村	中央アルプス（国定）	駒ヶ岳縦走線道路(歩道) 整備	2,987	(1,344)	R7⇒ 繰越
8	宮田村	中央アルプス（国定）	駒ヶ岳縦走線道路(歩道) 整備	2,424	(545)	内示額

○自然公園法令に基づく許認可件数

（令和 7 年度）

区分	規制関係 （許可・届出）				利用関係 （公園事業の認可）		
	総数	工作物 の新築等	動植物 採取	その他	総数	施設 （宿舎・園地等）	道路 （車道・登山道）
南アルプス 国立公園	3	3	0	0			
中央アルプス 国定公園	49	31	10	8	5	1	4
三峰川水系 県立公園	11	3	1	7			
塩嶺王城 県立公園	0	0	0	0			
天竜小渋水系 県立公園	2	1	1	0			
計	65	38	12	15	5	1	4

○上伊那広域水道用水企業団

- ・ 用水供給（網掛けエリア）

（伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、南箕輪村、宮田村）

- ・ 水質検査（管内全域）

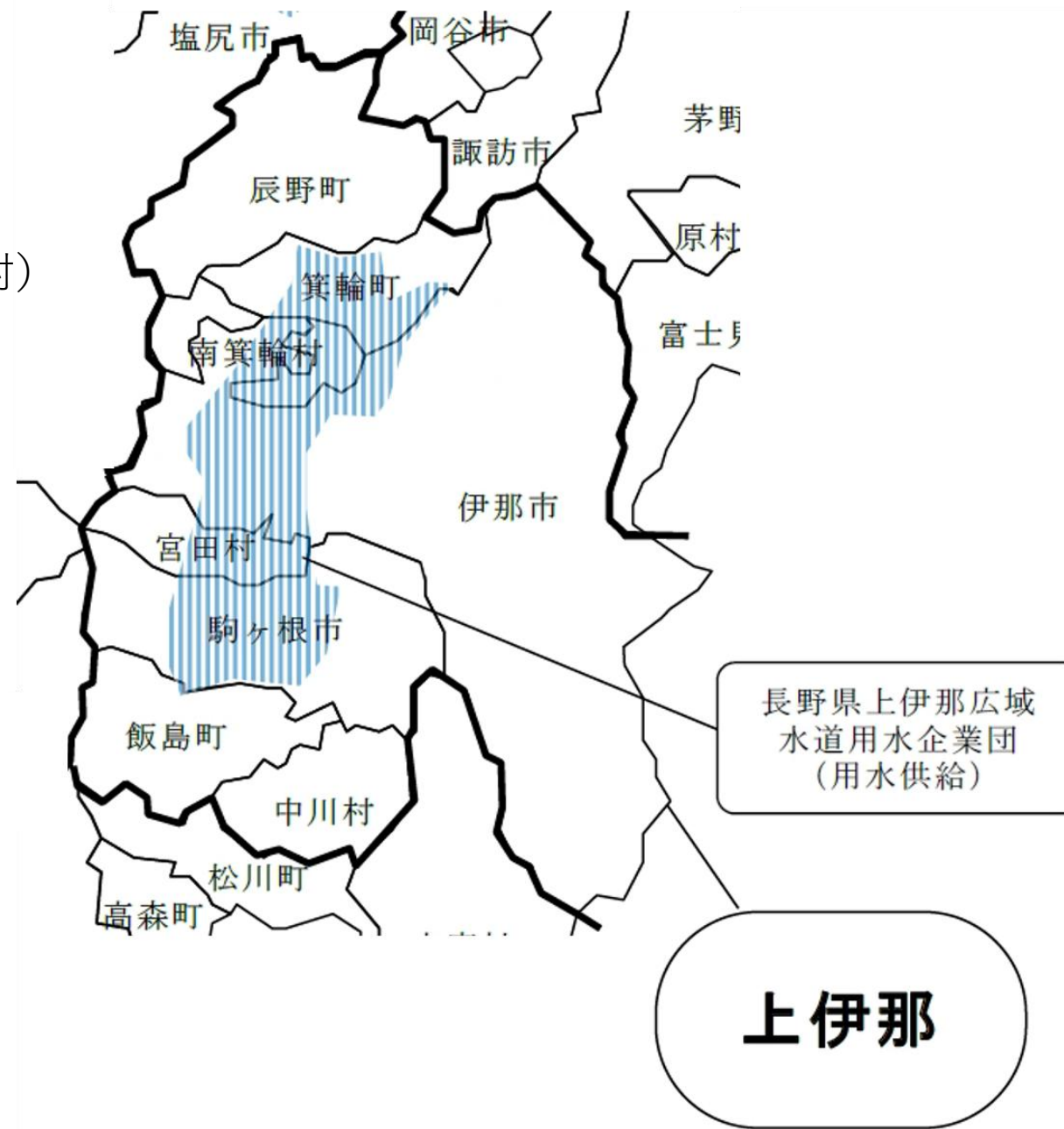
（上伊那圏域水道水質管理協議会として実施）

○市町村

- ・ 各家庭等へ末端給水

○住民組合（簡易水道等）

- ・ 組合員へ末端給水

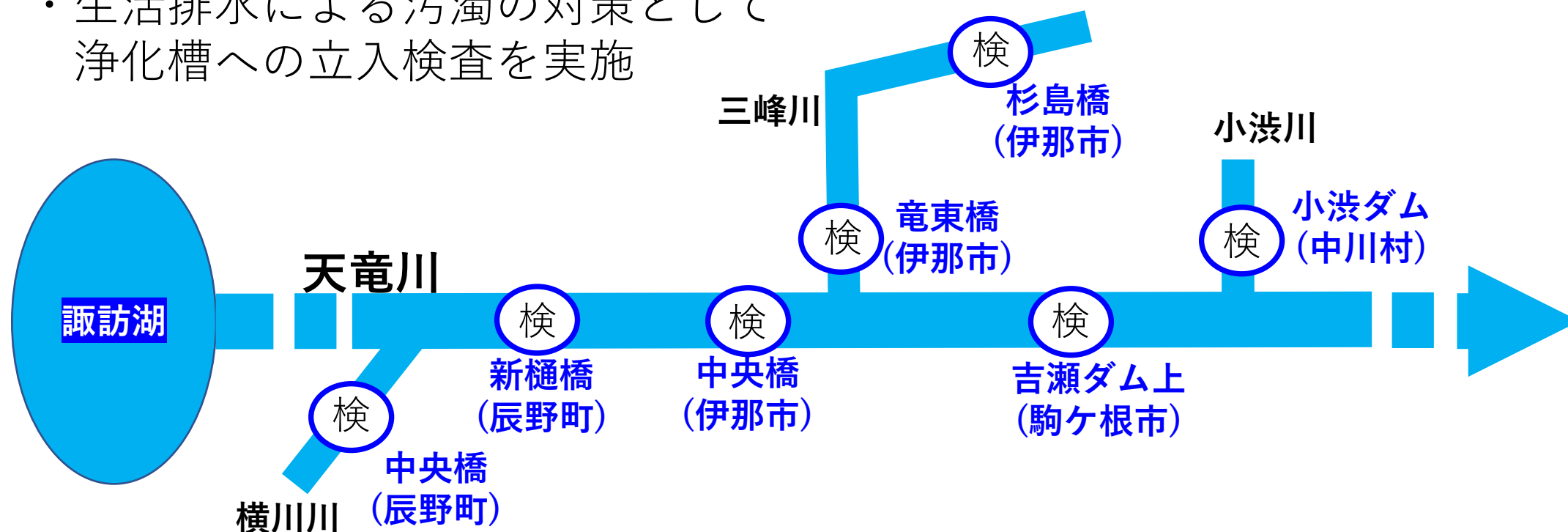


○河川の水質状況の把握

- ・天竜川、横川川、三峰川及び小渋川の水質検査を実施（委託）
- ・全ての河川で健康項目、水生生物保全項目環境基準達成

○河川の水質汚濁対策

- ・事業所排水による河川の汚濁を防止するため、事業所への立入検査を実施（令和7年度：119事業）
- ・生活排水による汚濁の対策として浄化槽への立入検査を実施



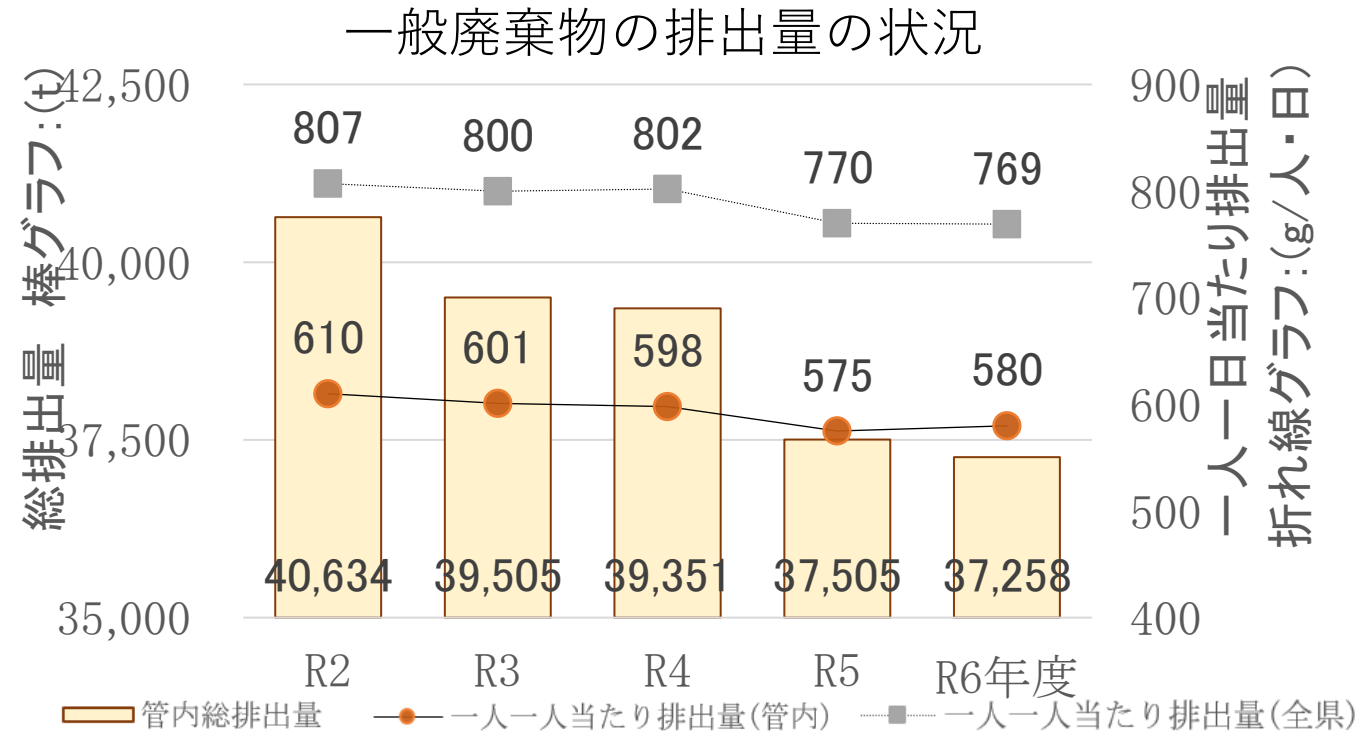
○管内は、ごみの総排出量、一人一日当たり排出量ともに減少傾向

・管内総排出量

令和6年度**37,258t**
全県564,833tの約6.6%

・管内一人一日当たり排出量

令和6年度**580g**(全県769g)
※10広域圏中最少



管内市町村別一人一日当たり排出量
(令和6年度)(g/人・日)

市町村名	排出量	市町村名	排出量
伊那市	6 1 3	飯島町	5 1 3
駒ヶ根市	6 3 9	南箕輪村	5 0 2
辰野町	5 5 9	中川村	4 4 0
箕輪町	5 1 3	宮田村	6 5 2

○産業廃棄物関係業務は、上伊那、南信州、木曽の３地域を管轄

○管内の産業廃棄物処理業者数は1,051（令和７年度末）

区 分	管 内					県全体 暫定値 例年 ６月ころ確定
	上伊那	南信州	木曽	県外	計	
(1)産業廃棄物 収集運搬業	234	237	44	367	882	3,846
(2)産業廃棄物 <u>処分業</u> （※１）	40	27	7	3	77	246
(3) <u>特別管理</u> （※２）産業廃棄物 収集運搬業	11	7	0	72	90	430
(4) <u>特別管理</u> （※２）産業廃棄物 <u>処分業</u> （※１）	0	1	0	1	2	6
合 計	285	272	51	443	1,051	4,528

・許可の有効期間は５年（優良認定を受けた場合は７年）

※１ 処分業：中間処理業…焼却、破砕、污泥脱水、中和、選別、再生
最終処分業…埋立処分

※２ 特別管理：人の健康又は生活環境に被害を生ずるおそれがあるもの
揮発性廃油、pH2.0以下の廃酸・12.5以上の廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃PCB、廃石綿 等

○排出事業者が基準に従い、自ら処理し、又は処理委託するよう指導

委託の場合、許可を受けた処理業者と書面により契約し、処理状況を確認し、
管理票（マニフェスト）を適正に使用することなどを指導

○産業廃棄物処理が適正に行われるよう、排出事業者や処理業者に立入検査を実施し、状況の改善が必要な場合には指示書を交付

- ・担当者名指示書…基準等不適合、又はそのおそれのある事項などの違反等を発見した場合
- ・局長名指示書 …法令違反等が確認された場合、又は担当者名指示書で改善が進まない場合
- ・行政処分（許可取消、命令）…生活環境保全上支障のおそれがある場合、悪質性がある場合

区 分（令和 6 年度）	管 内				県全体 暫定値 例年 6 月ころ確定
	上伊那	南信州	木曽	計	
(1)立入検査 件数 許可区分、処理施設ごとにカウント 例) 収集運搬業、処分業（4 処理施設）で許可を受けていた場合 6 件	831	571	97	1,499	5,378
(2)担当者名指示書 交付件数	25	8	2	35	集計中
(3)局長名指示書 交付件数	0	1	0	1	
(4)行政処分（許可取消、命令）	1	1	0	2	集計中

○事業計画協議

廃棄物処理施設設置等に先立ち、
地元との合意形成を図るための手続き

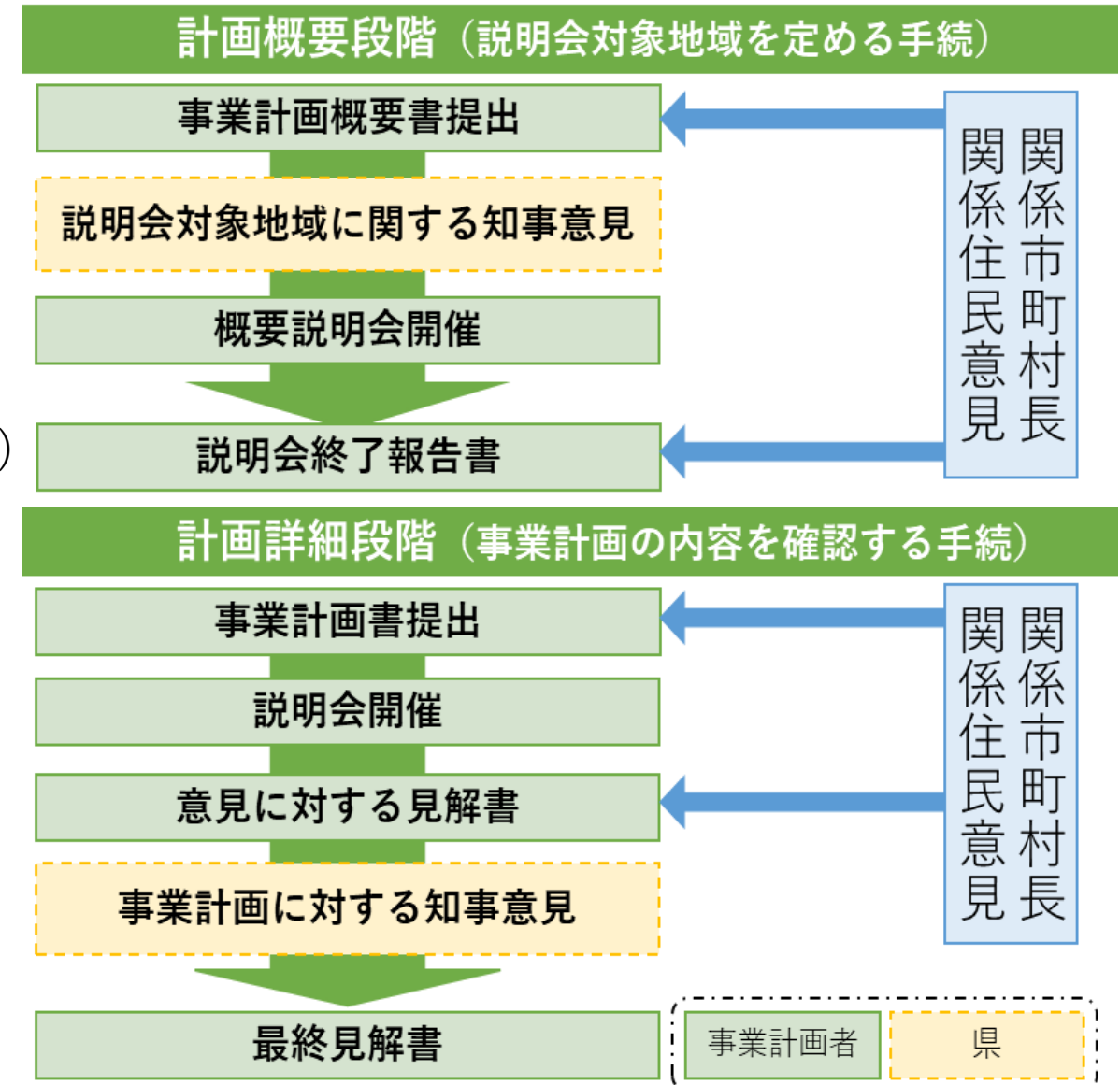
○対象者

以下の許可を受けようとする者(主なもの)

- ・ 廃棄物処理施設設置許可
- ・ 収集運搬業許可(積替保管有)
- ・ 処分業許可
- ・ 自動車リサイクル法解体業等許可

※これらの変更許可も対象

○協議フロー



○特定製品

- ・ 第一種特定製品：冷媒としてフロン類が充填されている
業務用エアコンディショナー
業務用冷蔵機器・業務用冷凍機器
（第二種特定製品を除く）
- ・ 第二種特定製品：自動車リサイクル法が対象とするカーエアコン

○第一種フロン類充填回収業者の登録

- ・ 廃棄される第一種特定製品からフロン類の充填・回収を行う者
- ・ 登録の有効期間は 5 年

区 分	管 内				県全体 暫定値 例年 6 月ころ確定
	上伊那	南信州	木曽	計	
令和 7 年度末 登録事業者数	29	38	4	71	993

令和 7 年度 新規 1 件・更新 7 件、令和 8 年度 更新予定20件

○上伊那地域は**水田地帯**と**畑地帯**に大別

いずれの整備率も、県全体の整備率を大きく上回っている



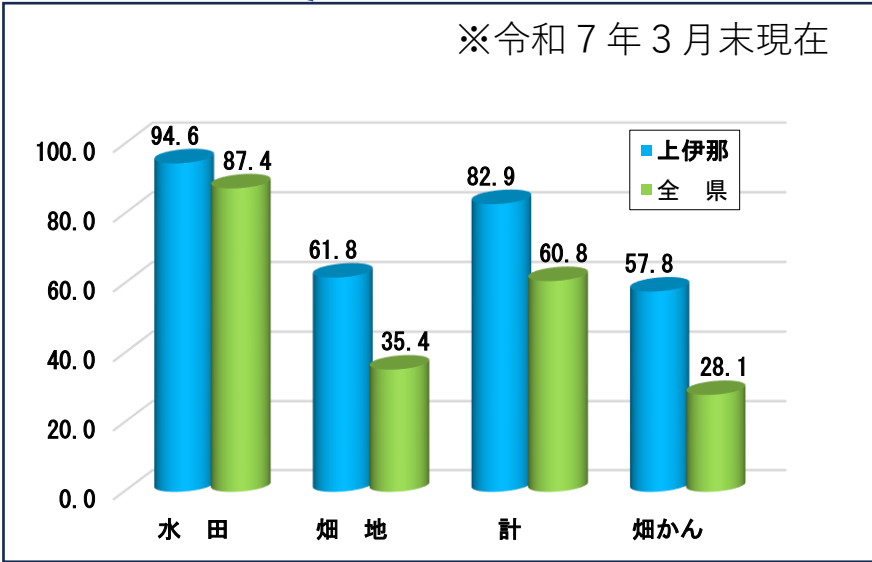
・ **水田地帯（天竜川・三峰川沿岸）**
昭和初期から整備された農業水利施設により、安定した農業用水を確保

※大区画ほ場での無人自動田植機による田植え
下平地区（駒ヶ根市）



・ **畑地帯（伊那西部地域）**
昭和40～50年代にかけて、かんがい施設等が整備され、野菜や果樹を中心とした農業経営が展開

※かんがい施設整備により収量が安定した果樹
伊那西部地区（伊那市）



施設の整備に伴い導入されたりんごの高密植栽培
伊那西部地区（伊那市）

2-1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

農地整備課

※事業費は、前年度繰越を含む

県 営：経営体育成基盤整備事業	東原地区、他 3 地区	567,498千円
団体営：基盤整備促進事業	西天竜 4 期地区、他16地区	371,524千円
計		939,022千円



改修された水路
春富 6 号地区（伊那市）

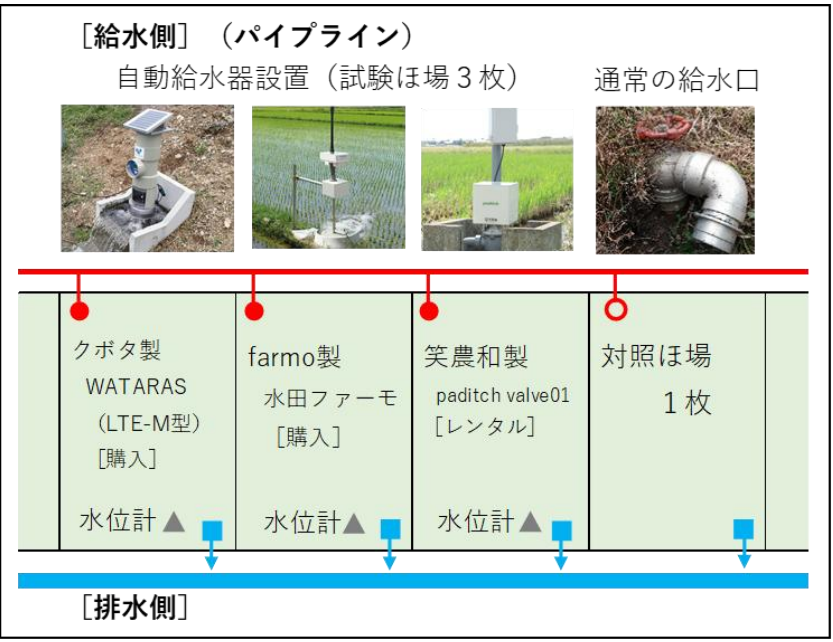
○ 収益性の高い農地の整備・スマート農業の推進

- ・ 農地の区画拡大や農業用水の省力化の推進
- ・ 作物の品質と収益性の向上を目指した農地の整備

パイプライン用の自動給水器を導入し、水管理の省力化の効果や機能性等を検証予定
(駒ヶ根市下平地区)

○ 農業水利施設の長寿命化

- ・ 農業水利施設の適切な保全管理
- ・ 重要構造物の耐震・長寿命化の推進



県 営：農村地域防災減災事業	花の里地区、他17地区	709,291千円
団体営：基幹水利施設管理事業	伊那西部地区、他16地区	298,674千円
計		1,007,965千円

○ 農村の暮らしを守る防災減災対策

- ・ 水路橋の耐震対策
- ・ ため池の安全対策の推進
- ・ 地すべり防止施設の長寿命化の推進

○ 定住条件の確保に向けた農道等の整備

- ・ 農道舗装の改良
- ・ 歩道の設置

○ 農業水利施設の自動化・遠隔化

○ 小水力発電施設の導入促進



多面的機能支払事業 伊那市、他7市町村 441,215千円

- 多様な主体の参画による多面的機能の維持
- 農業資産の魅力を学び・観光に活用する取組の推進
 - ・ 「農業用水探検隊」 (H19～)
地元小学生を対象に、管内の農業水利施設の歴史や役割を学ぶ学習会を開催
 - ・ 農業資産の魅力発信
農村地域の活性化を図るため、パンフレットやカード・SNSの活用により、「ため池」や「棚田」等の魅力を広く発信



地元組織による水路改修（伊那市）



近隣の小学生に三峰川沿岸の農業水利施設について説明



配布教材



飯沼の棚田（中川村） ※つなぐ棚田遺産選定

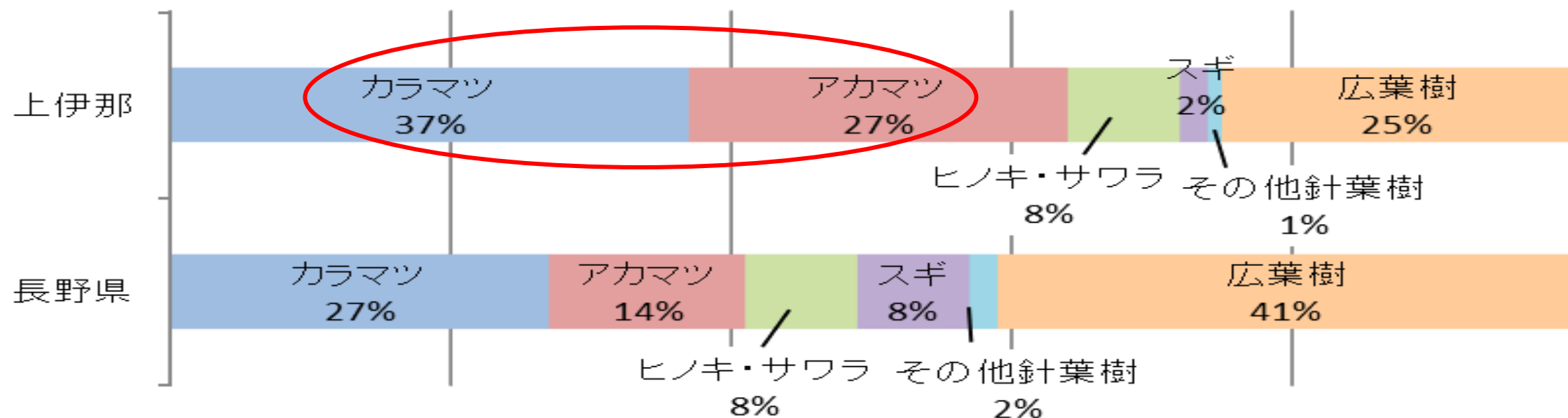


千人塚城ヶ池（飯島町） ※ため池百選選定

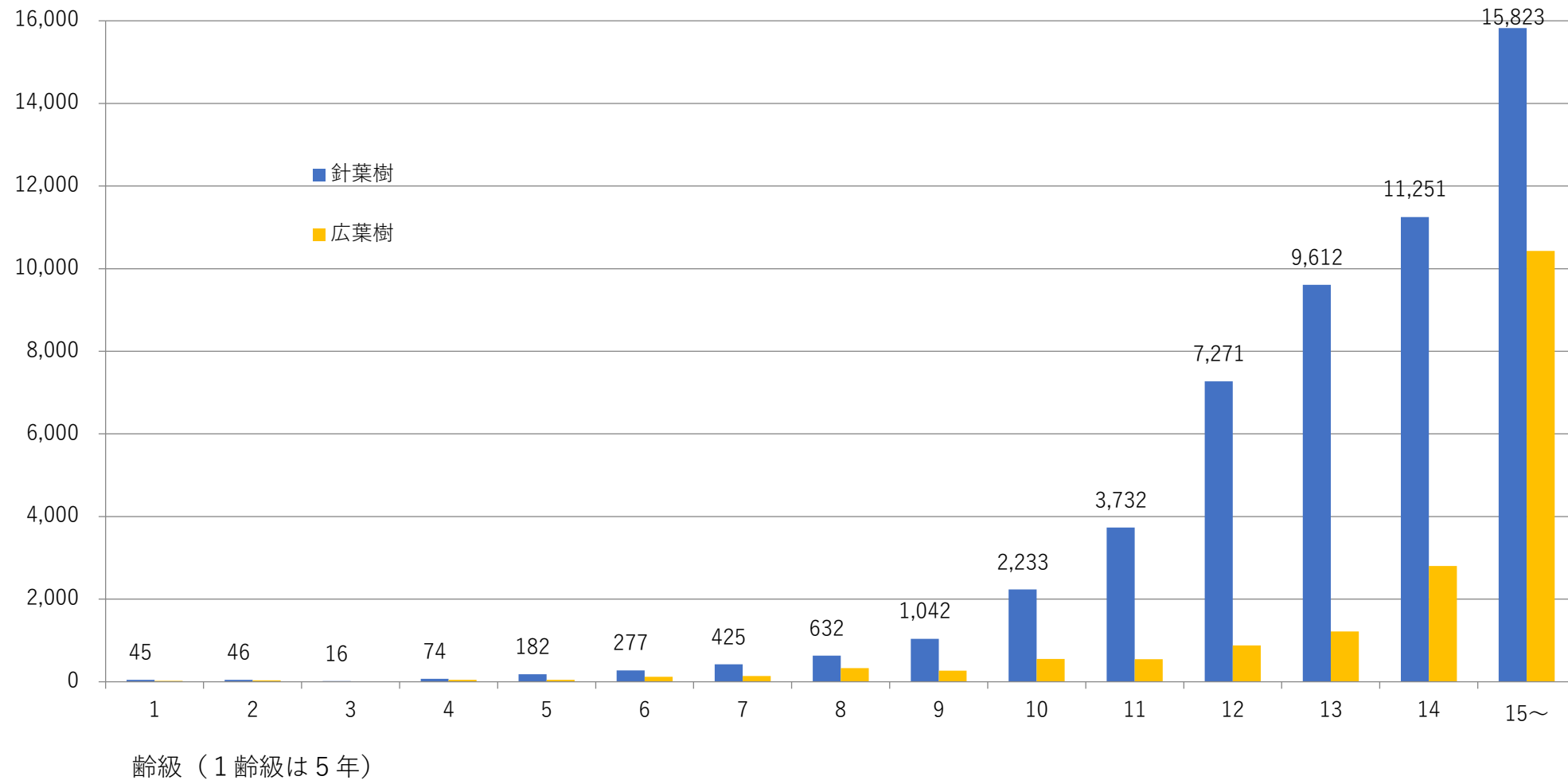
○管内の森林面積は106,044ha、長野県の森林面積の1割

○樹種はカラマツとアカマツが主体

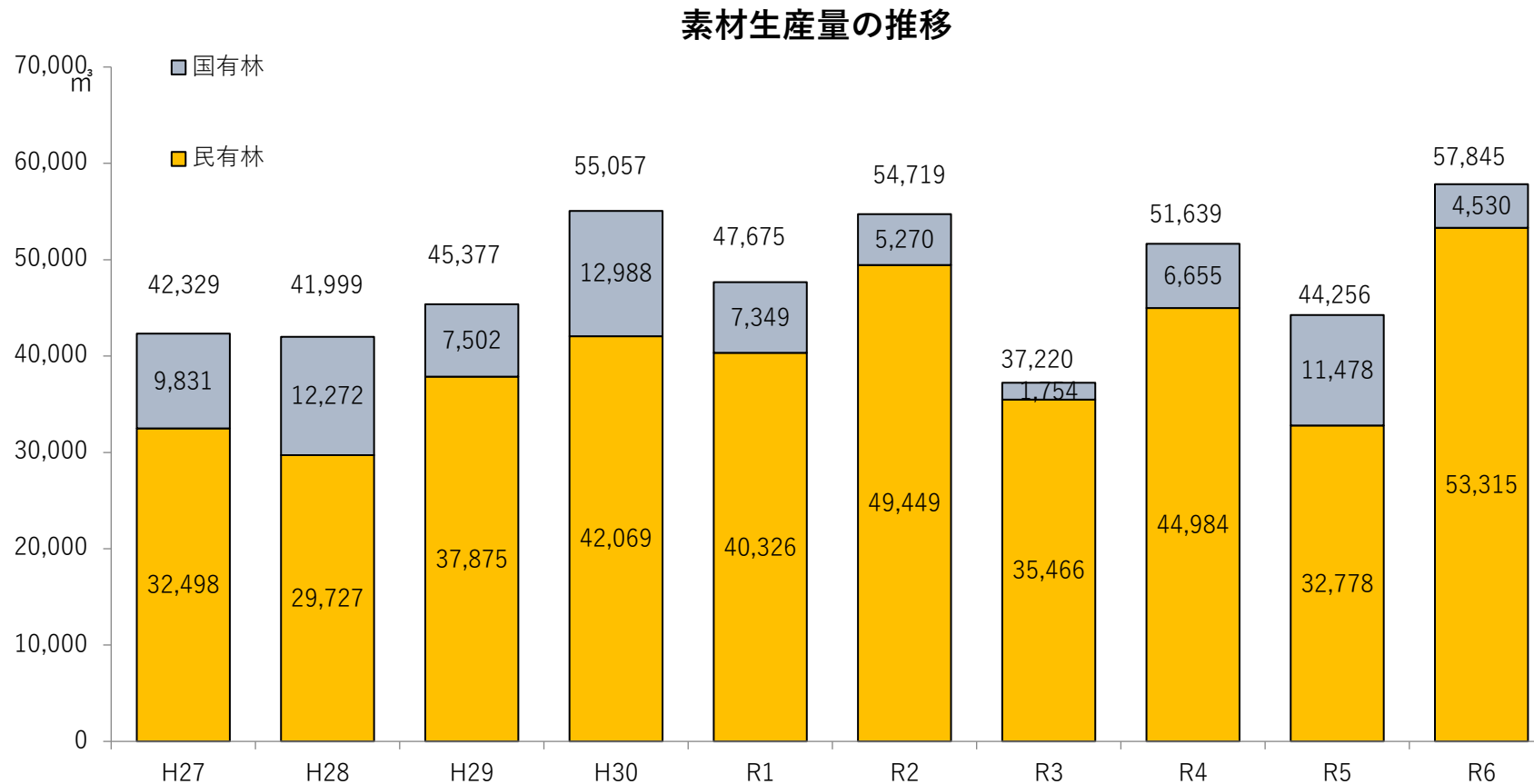
【民有林の樹種別内訳】



○森林資源は高齢級化し、育てる段階から収穫・活用の時期へ

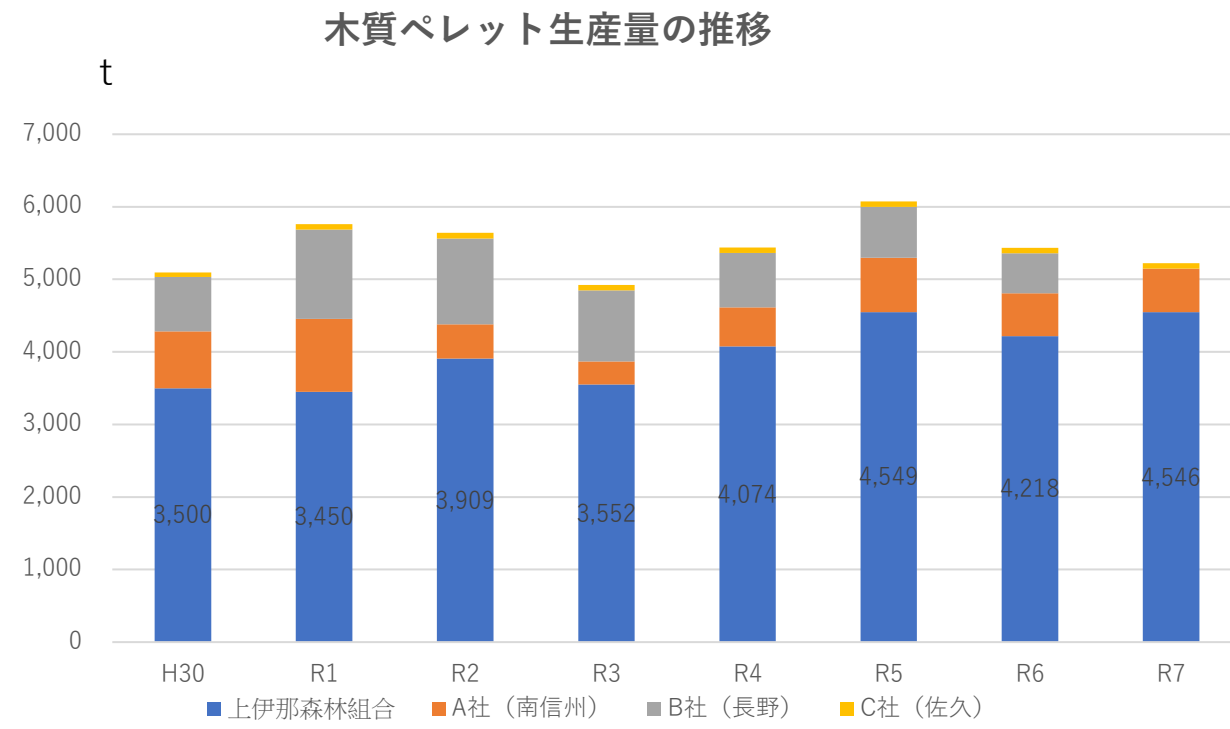


○基盤整備や木材の需要拡大により、素材生産量は漸増



○上伊那森林組合による高品質の木質ペレット生産

- ・ 全県生産量の 8 割
- ・ R 6 年度に製造ラインを追加（4,000t/年→6,000t/年）



上伊那森林組合
木質バイオマスエネルギー工場内



生産された木質ペレット

○森林整備の促進

- ・ 里山の間伐や間伐材の搬出、主伐・再造林等を促進 161,337千円

○松くい虫被害対策

- ・ 伐倒駆除や樹種転換など効果的な対策を支援 180,668千円

○市町村森林整備支援事業（森林税）

- ・ 道路・電線等支障木の伐採等 23,445千円



間伐・作業路開設



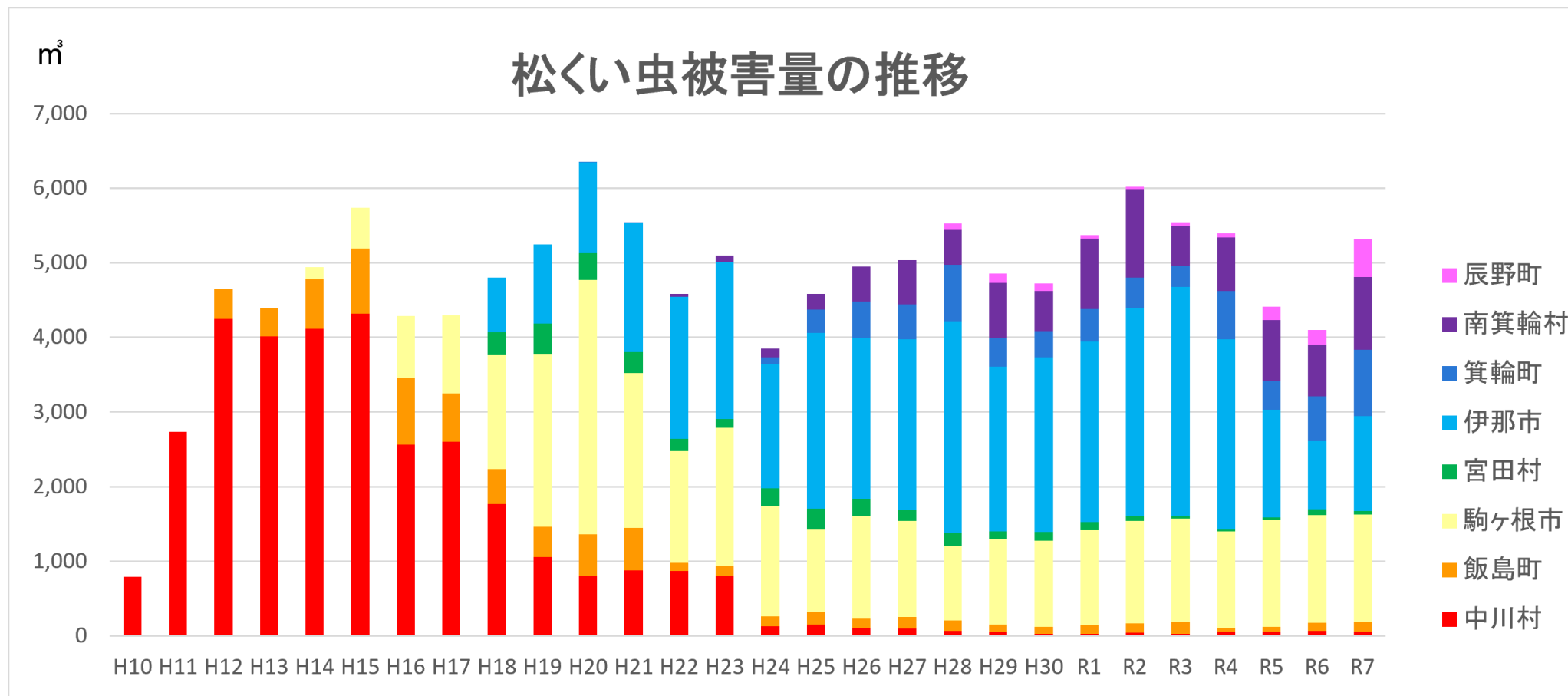
下刈・獣害防護柵（再造林地）



道路沿いの支障木の伐採（左：施工前、右：施工後）

○令和7年度松くい虫被害量 5,318m³（前年比130%）

○伐倒駆除、樹種転換、薬剤散布等の防除対策を実施



○ R8 事業費	577,457千円（22箇所）
・ 山地治山	422,695千円（ 9箇所）
・ 地すべり	90,802千円（ 1箇所）
・ 機能強化・老朽化	26,400千円（ 1箇所）
・ 県単治山	37,561千円（11箇所）

※繰越をした箇所は翌年度に集計

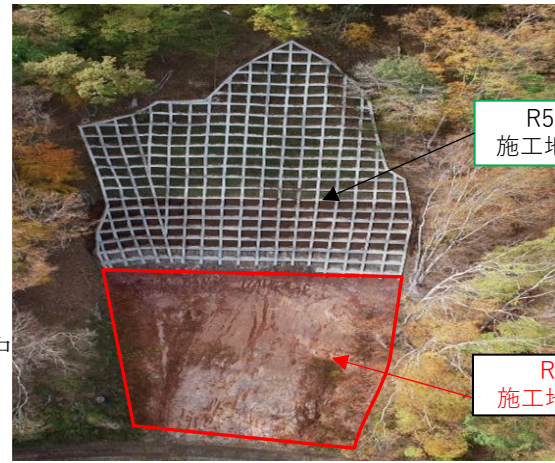
施工例（伊那市高遠 月蔵裏）



全景写真(R5.6月災害発生時)



R5～R8
山腹工を実施中

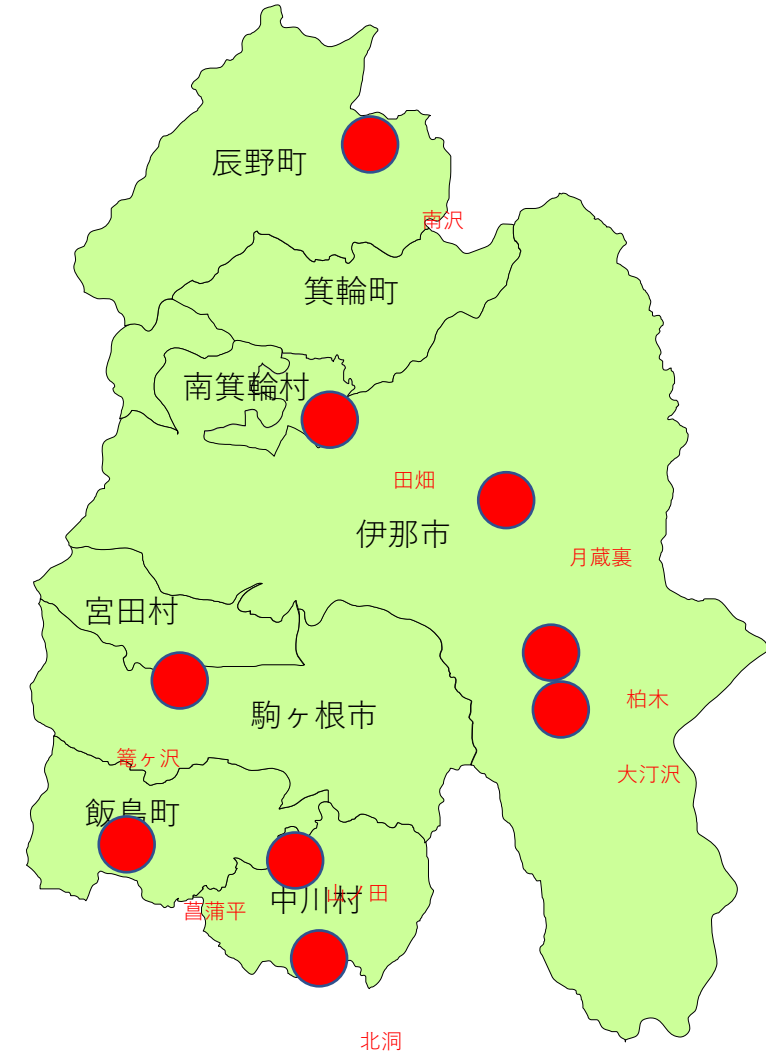


全景写真(R7末)

R5・7既設
施工地(法枠工)

R8計画
施工地(法枠工)

R8 年度公共治山計画箇所



3 林業を支える基盤整備（林内路網整備）

林務課

- R8事業費 232,685千円（9路線 13箇所）
 - ・公共林道 203,006千円（7路線 9箇所）
 - ・県単林道 4,617千円（1路線 1箇所）
 - ・作業道整備 25,062千円（2路線 3箇所）



県営林道 長谷高遠線



林業専用道 権現山線

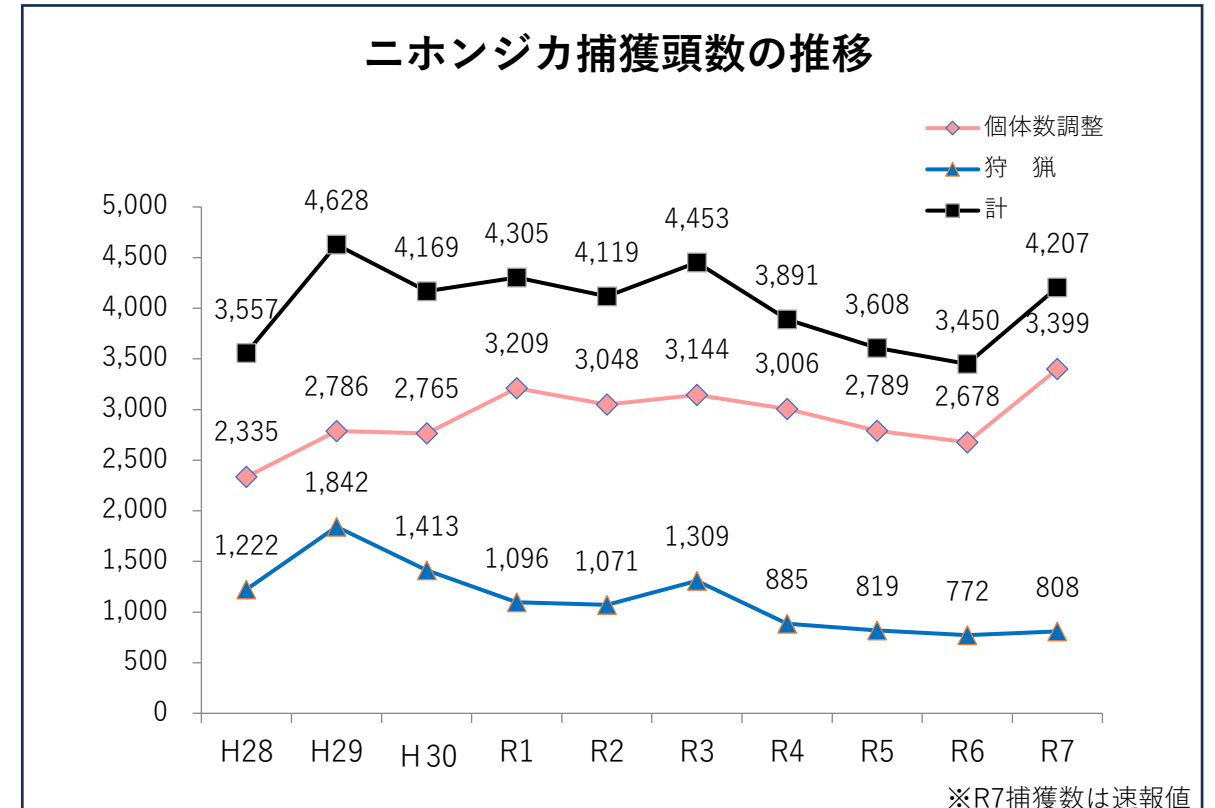
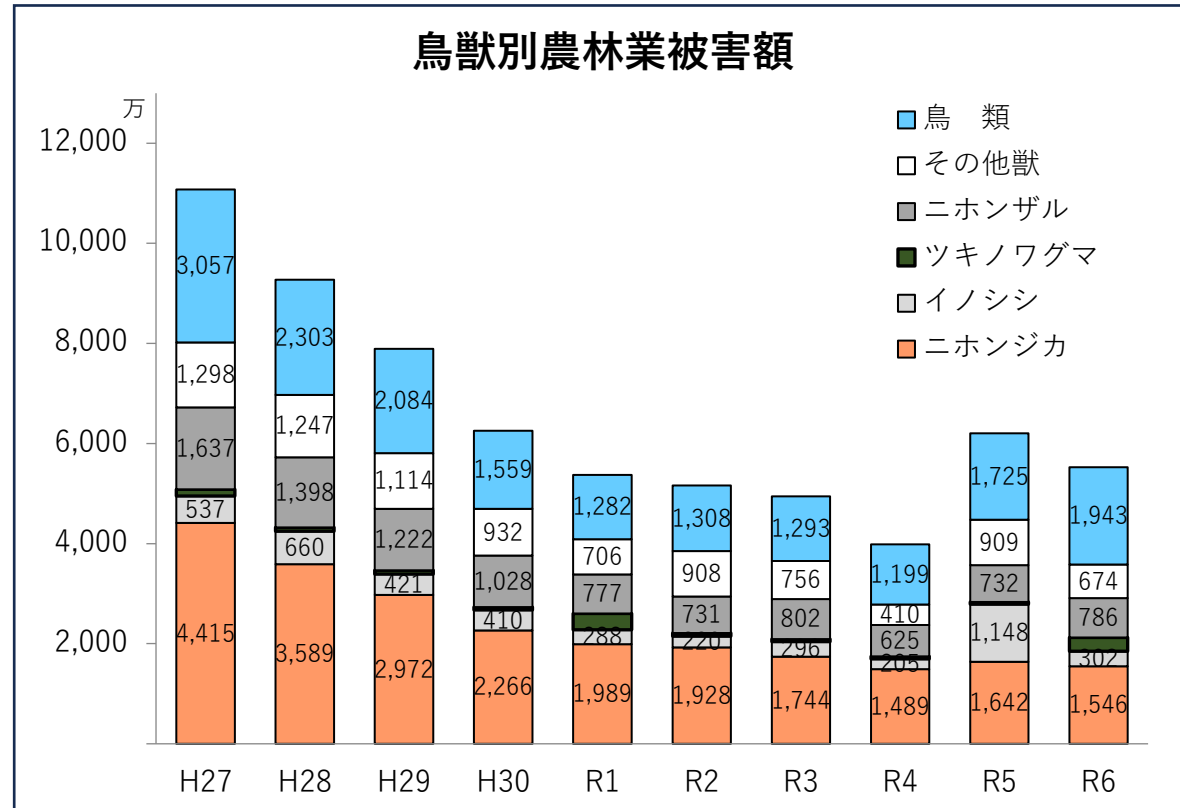
県営林道長谷高遠線（開設中）
・事業期間 S55～R9
・延長 24.7km



○野生鳥獣による農林業被害は減少傾向（R6：55,274千円）

○ニホンジカの捕獲頭数は捕獲従事者の減少により減少傾向

※R7はジビエ加工施設新設により757頭の増



○捕獲従事者数は減少傾向

○県の支援策

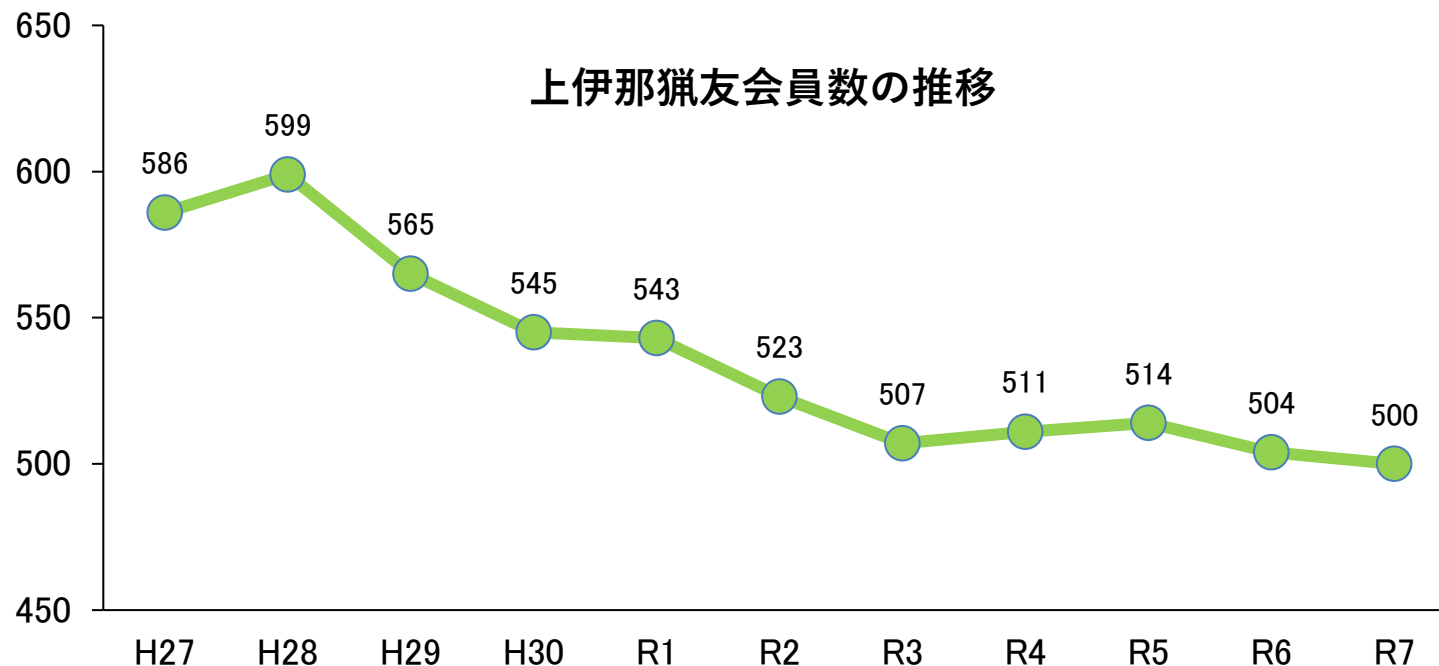
- ・「長野県ハンターデビュー講座」

実地経験が少ないペーパーハンター等に向けた講座を実施（「わな猟コース」「銃猟コース」）

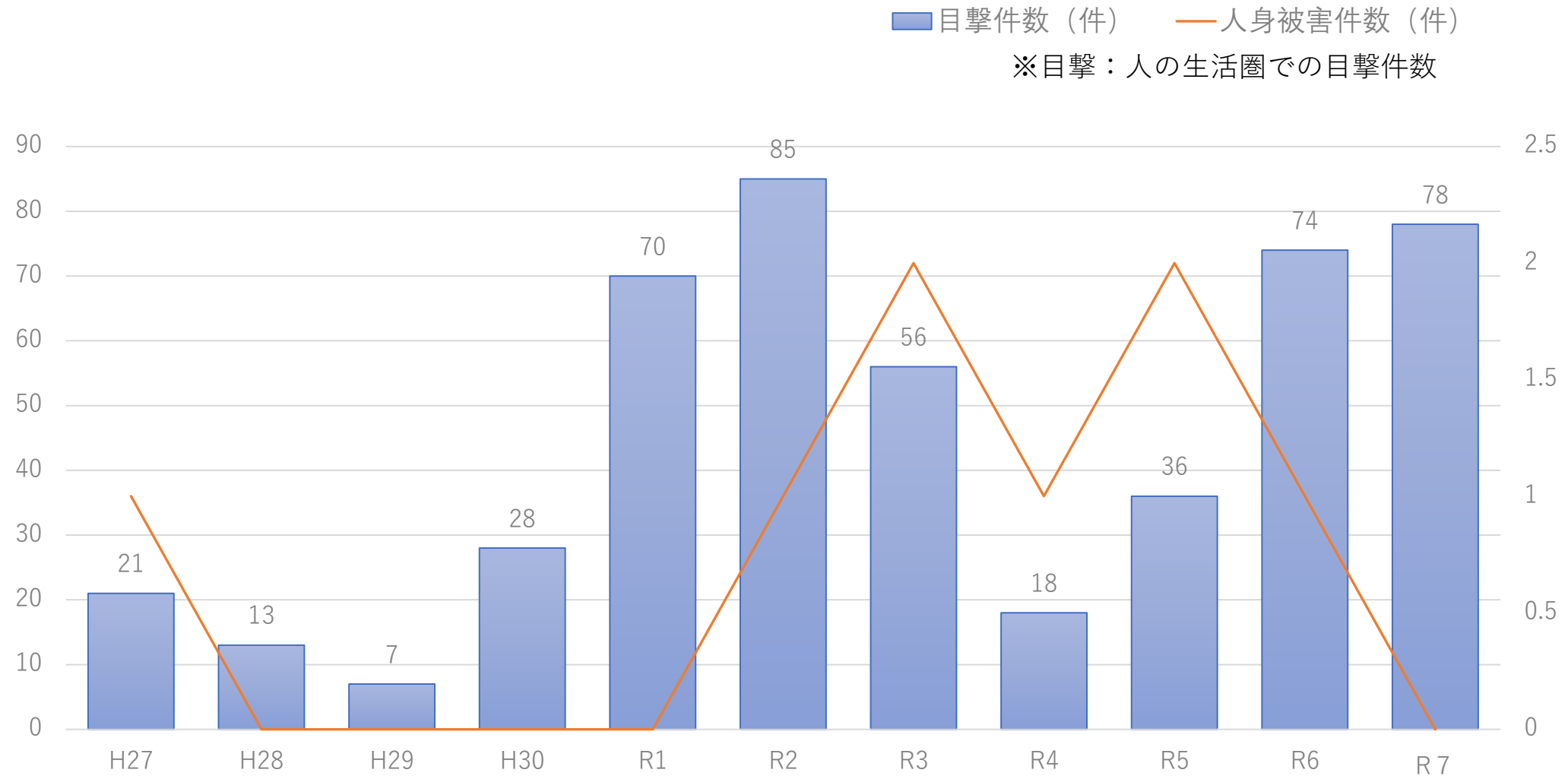
- ・「ツキノワグマ麻酔捕獲技術研修」

麻酔銃・吹き矢による捕獲技術の習得など、専門人材の育成

- ・市町村等が行う新規銃猟者の銃所持許可取得等への補助



○ツキノワグマ目撃件数の増加、人身事故の発生



○ツキノワグマ出没情報マップの運用（全県導入、R7.9）

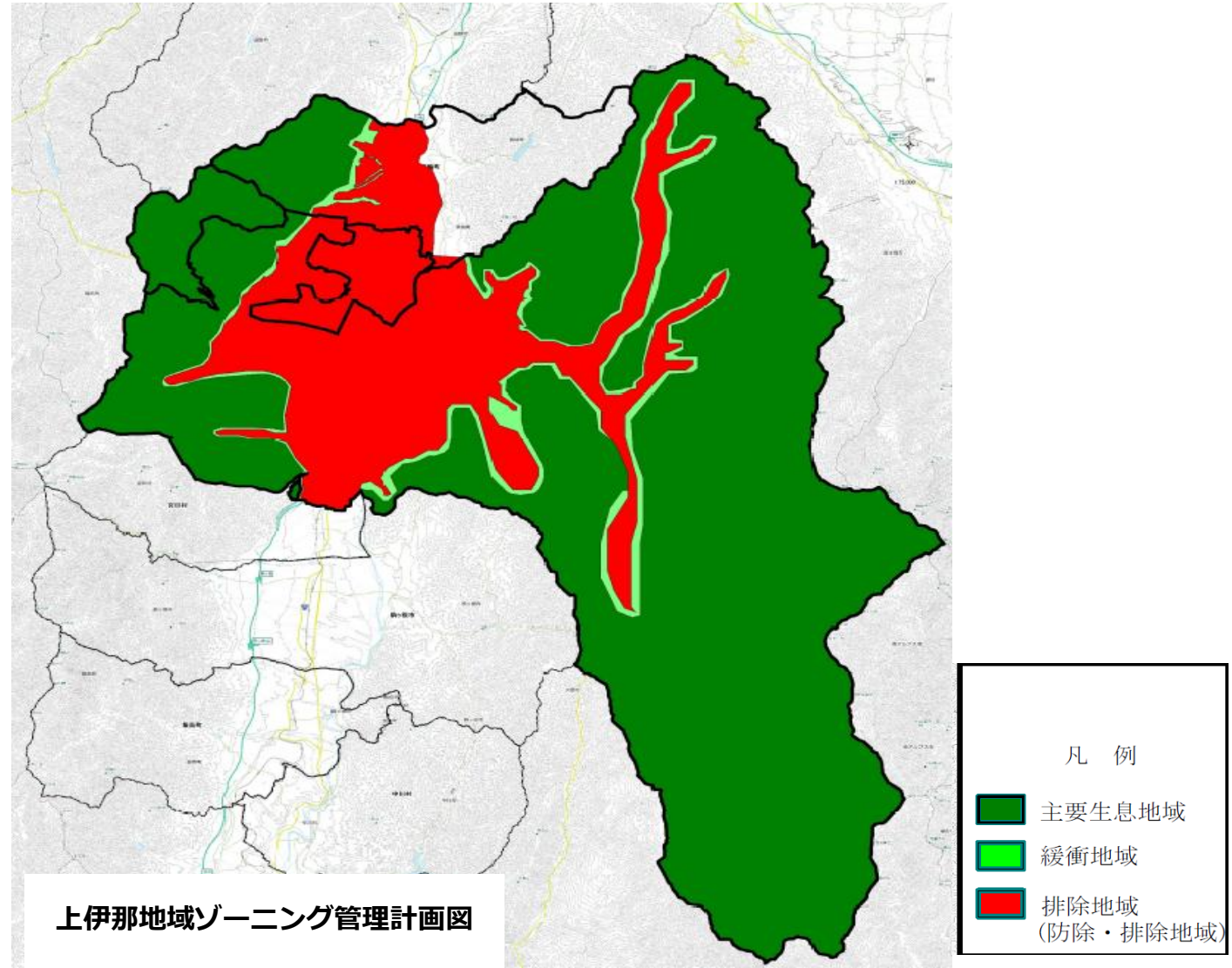
・県・市町村間の出没情報共有プラットフォームの導入



ツキノワグマ出没情報マップ「けものおと2」

○ツキノワグマゾーニング管理の導入推進

- ・伊那市（R6）、箕輪町（R7）、南箕輪村（R7）で導入済
- ・上伊那全域でR8導入予定



○ツキノワグマ緊急出沒訓練の実施

- ・緊急銃猟制度（R7.9）に対応した「ツキノワグマ緊急出沒訓練」を伊那市で開催（R8.2.24ほか県内4会場）

○人身被害を防ぐための注意喚起

- ・クマによる人身被害を防ぐための動画・パンフレット等を作成して公開



ツキノワグマ緊急出沒訓練（机上訓練）



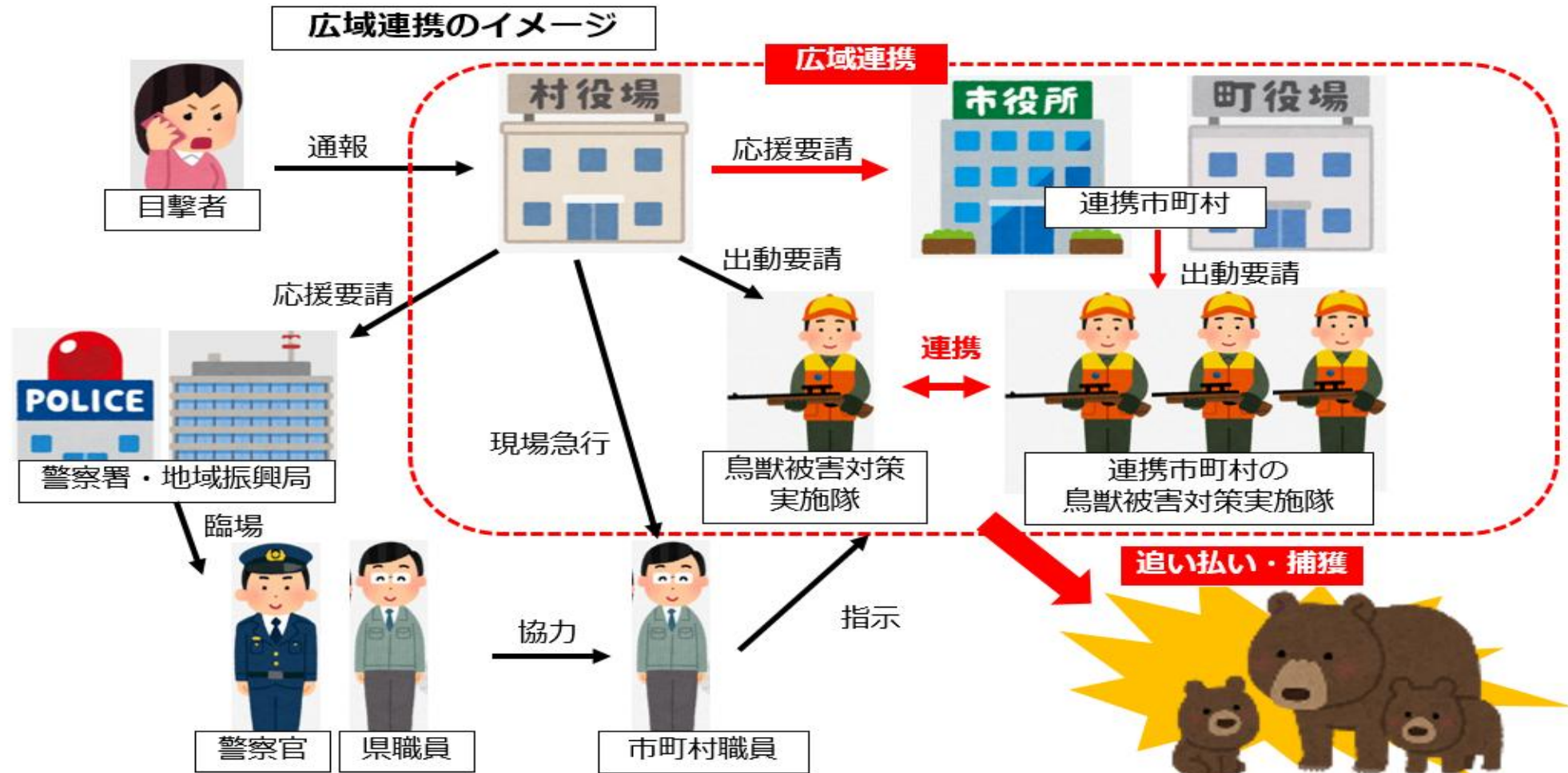
ツキノワグマ緊急出沒訓練（実地訓練）



被害防止のための動画（県HP）

○全県に先駆け「広域連携モデル事業」を実施

・上伊那地域野生鳥獣被害対策広域連携推進協議会の設置（R8.6）



○信大、林大、地元企業等と連携した人材育成、企業支援の実施

○全国イベント「FOSS 4G」※1の開催支援（R7.11.29～30、伊那谷SEES）

- ・オープンソースのGISソフトを農林業分野へ活用するための普及イベント

○信州発「山・森・里の課題発見サマースクール」※2の実施（R7.8）

- ・林務部職員がR7年度市新設の信大「地域協創特別コース」の学生に林業の魅力を発信

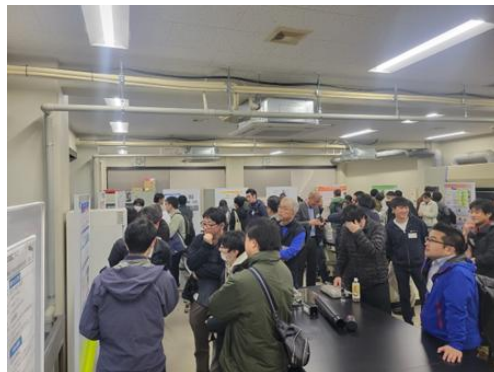
○「提案型関連プロジェクト」※3の実施支援

- ・「フォレストカレッジin伊那谷・木曽谷」 ((株)やまとわ)
- ・「『里山暮らし』ブランディングプロジェクト」 ((株)あっとホーム)

※1 Free and Open Source Software for Geospatial (フリーの地図情報システム)

※2 信州大学の学生が木曽谷、伊那谷の森林、林業に学び、地域の課題解決に向けて学ぶ取組

※3 民間企業等が関係機関と連携し、民間の視点により地域や産業の課題解決に取り込むプロジェクト



全国イベント「FOSS 4G」

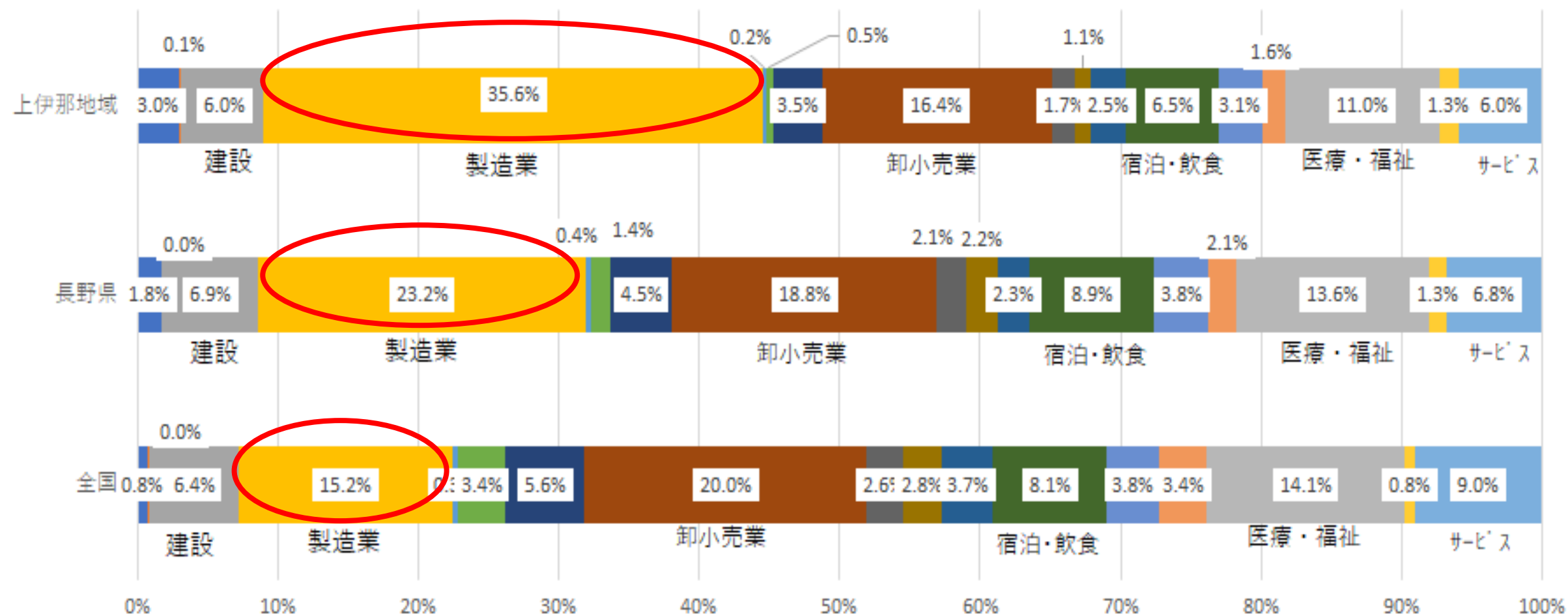


課題発見サマースクール

○ 製造業が集積した地域

- ・ 製造業の従業者数の全産業に占める割合が、県全体・全国と比較して高い

従業者数の全産業に占める割合の比較(R 3 経済センサス)

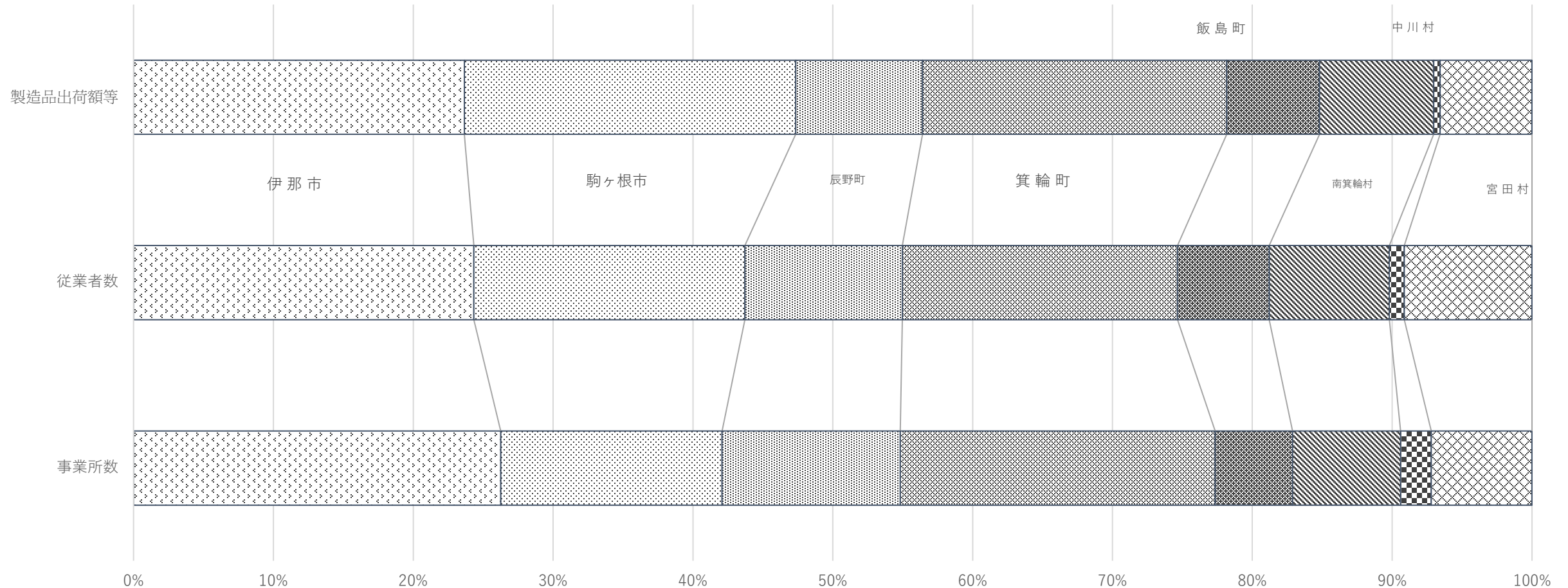


2-1 製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等

商工観光課

○事業所数・従業者数・製造品出荷額等の約8割を4市町（伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町）で占める。

市町村別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等

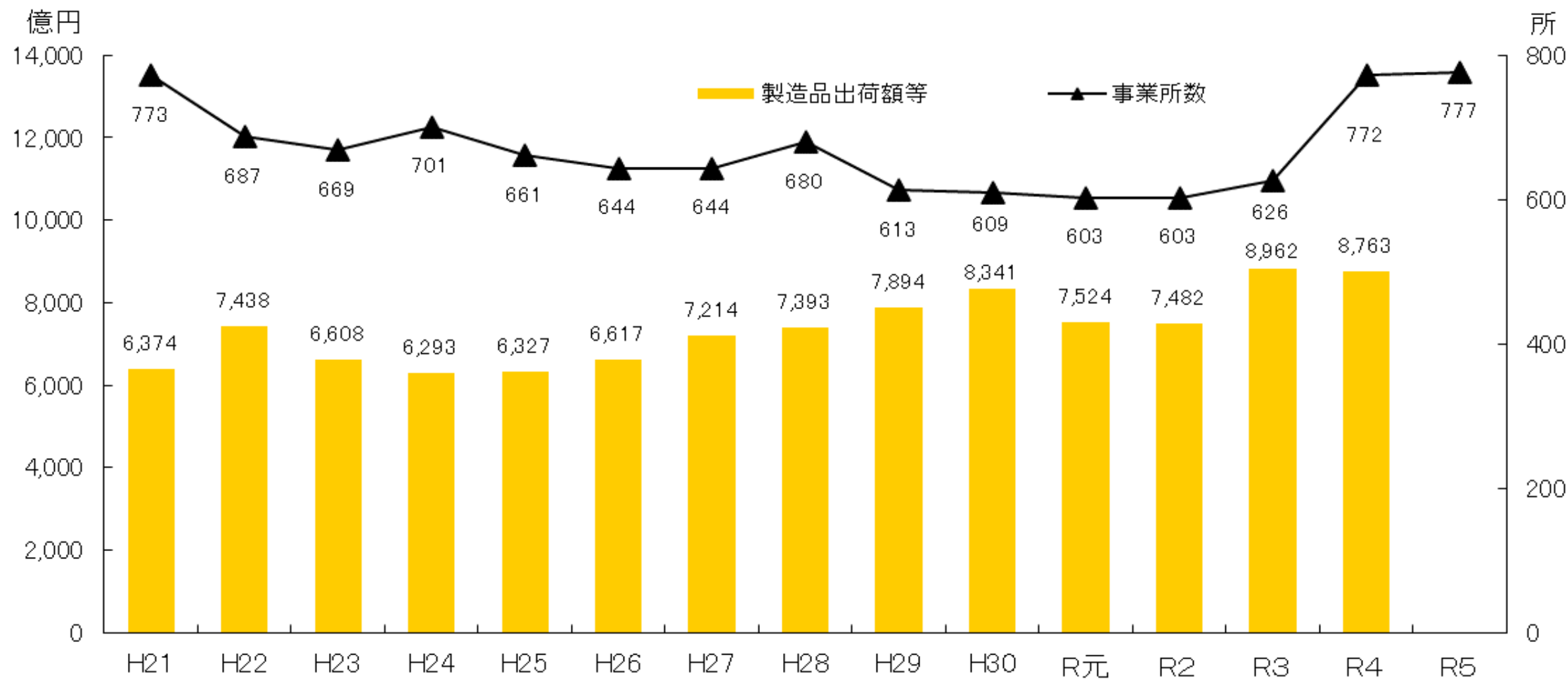


※事業所数・従業者数はR5年6月1日時点、製造品出荷額等はR4年1月～12月の合計（出典：経済産業省「経済構造実態調査」）

2-2 製造業の事業所数・製造品出荷額等の推移

商工観光課

○事業所数・製造品出荷額等ともに、令和3年以降増加傾向

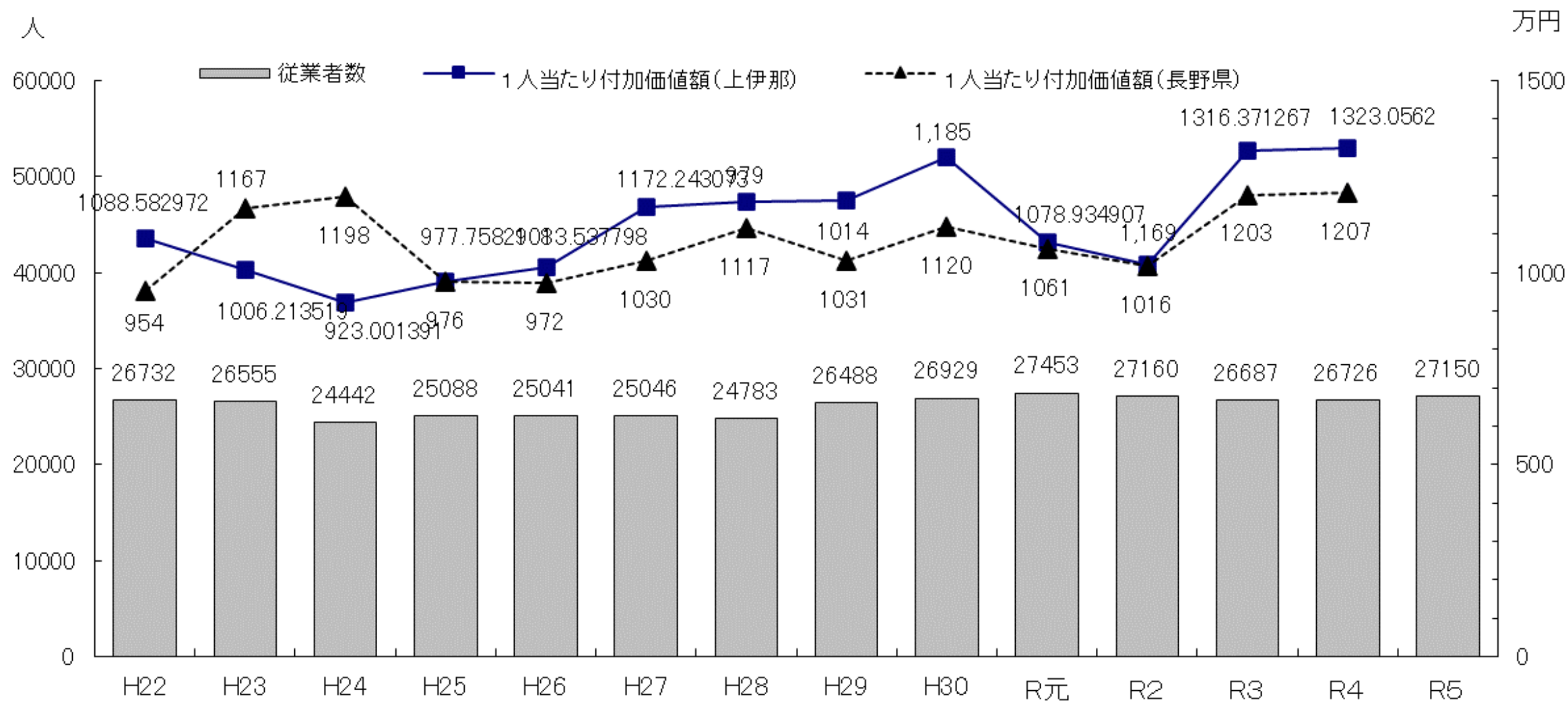


※事業所数は毎年6月1日時点、製造品出荷額等は毎年1月～12月の合計
(出典：経済産業省「工業統計調査／経済センサス／経済構造実態調査」)

2-3 製造業の従業者 1 人当たりの付加価値額の推移

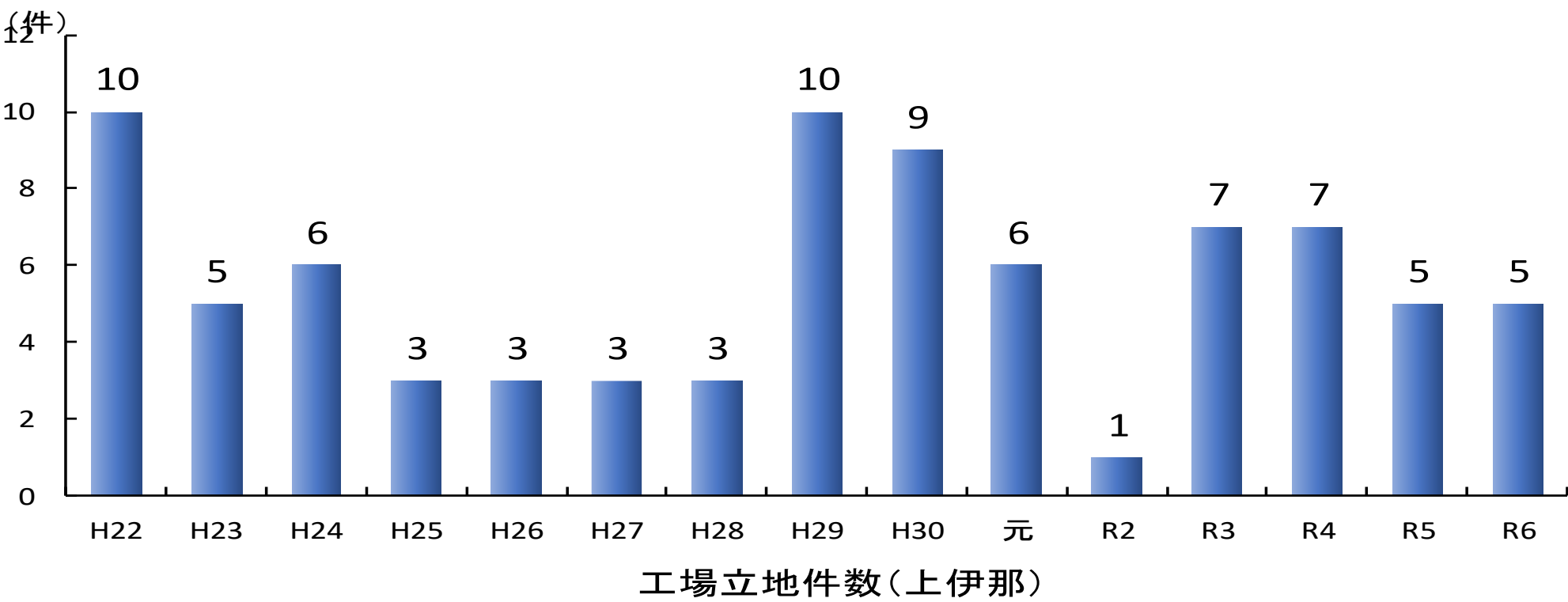
商工観光課

○上伊那地域の従業者 1 人当たりの付加価値額は、県平均を上回っている。



※事業所数は毎年6月1日時点、製造品出荷額等は毎年1月～12月の合計
 (出典：経済産業省「工業統計調査／経済センサス／経済構造実態調査」)

○工場立地面積の県全体に占める割合は、全地域で最も高い。



地域別工場立地件数及び面積 (R2～R6)

地域	佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曽	松本	北ア	長野	北信	計
件数	12	17	32	25	12	0	16	2	10	0	126
割合 (%)	9.5	13.5	25.4	19.8	9.5	0.0	12.7	1.6	7.9	0.0	100.0
面積 (ha)	14.8	15.6	11.9	36.8	9.6	0	13.7	6.4	19.9	0	128.7
割合 (%)	11.5	12.1	9.2	28.6	7.5	0.0	10.6	5.0	15.5	0.0	100.0

(出典) 経済産業省「工場立地動向調査結果」をもとに作成 (1,000㎡以上の工場用地取得)

- 地域の主力産業である製造業は、世界情勢や景気変動の影響を受けやすい。
 - 中東情勢による原材料調達等での影響
 - 原材料費・エネルギー価格の高騰、労務費の上昇
 - 人材確保

○ 中東関連

- ・ 地域振興局等での特別相談窓口の開設（令和8年3月～）
- ・ 国際経済情勢に係る長野県連絡協議会の設置（令和8年3月～）

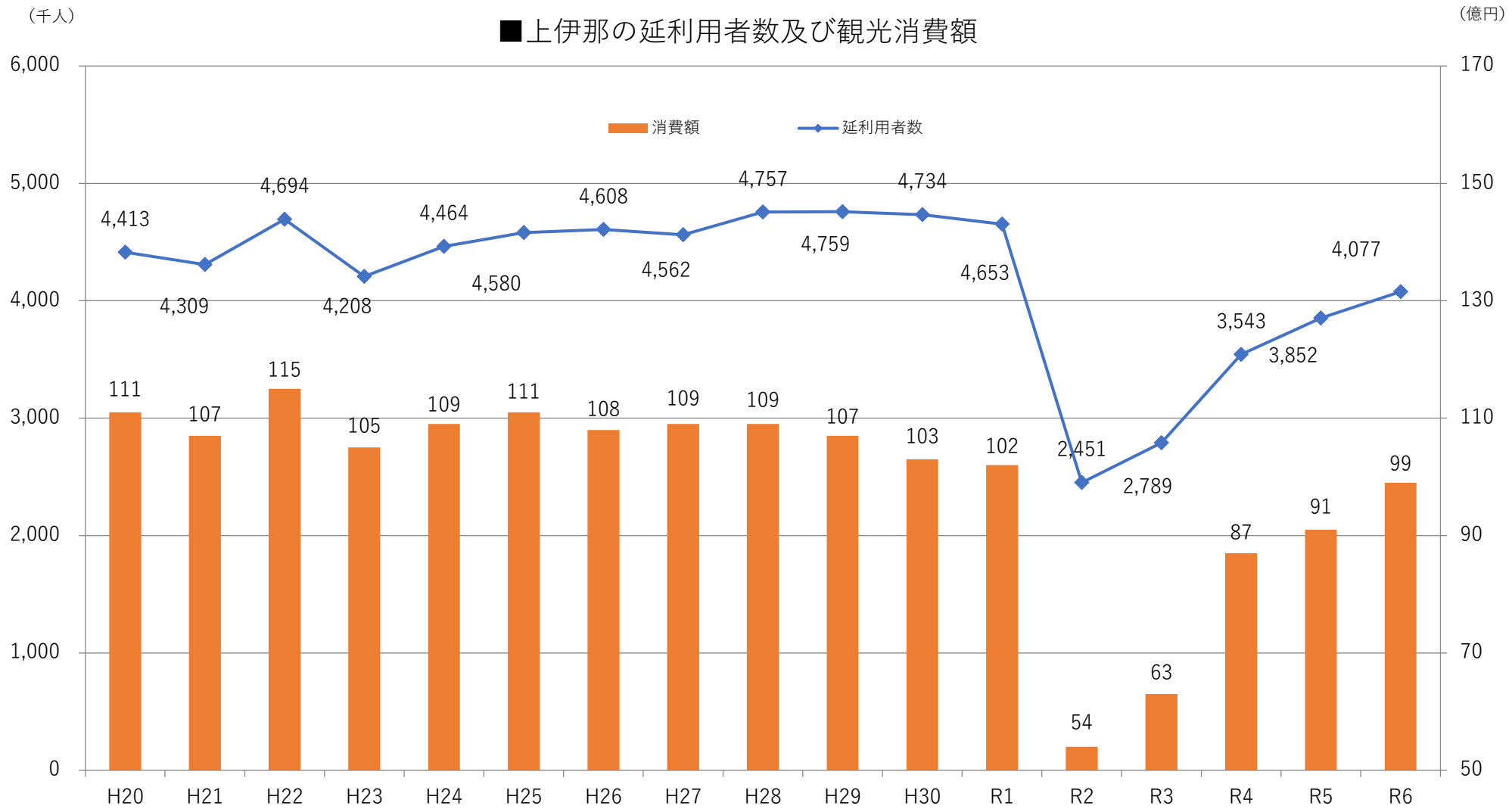
○ 物価高騰等

- ・ 中小企業融資制度（物価高対策）の拡充（令和7年4月～）
- ・ 専門家派遣等による経営課題の解決支援（令和7年6月～）
- ・ 適切な価格転嫁による取引環境の整備に向けた取組「価格転嫁促進アクション」の実施（重点期間：令和8年3月～6月）
支援策チラシ等による広報、価格転嫁関連セミナーの開催、価格転嫁検討ツールの活用促進
- ・ エネルギーコスト削減のための設備導入支援（令和8年3月～）
- ・ 賃上げ促進税制・業務改善助成金等の国施策の活用促進、業務改善助成金への県上乗せ補助支援（令和7年3月～）

○ 人材確保

- ・ 人財確保・生産性向上連携会議 上伊那地域会議の設置（令和8年2月～）
- ・ 上伊那広域連合と連携した若者人材確保事業の実施 等

〇コロナ禍以降、観光客数、観光地消費額ともに順調な回復傾向



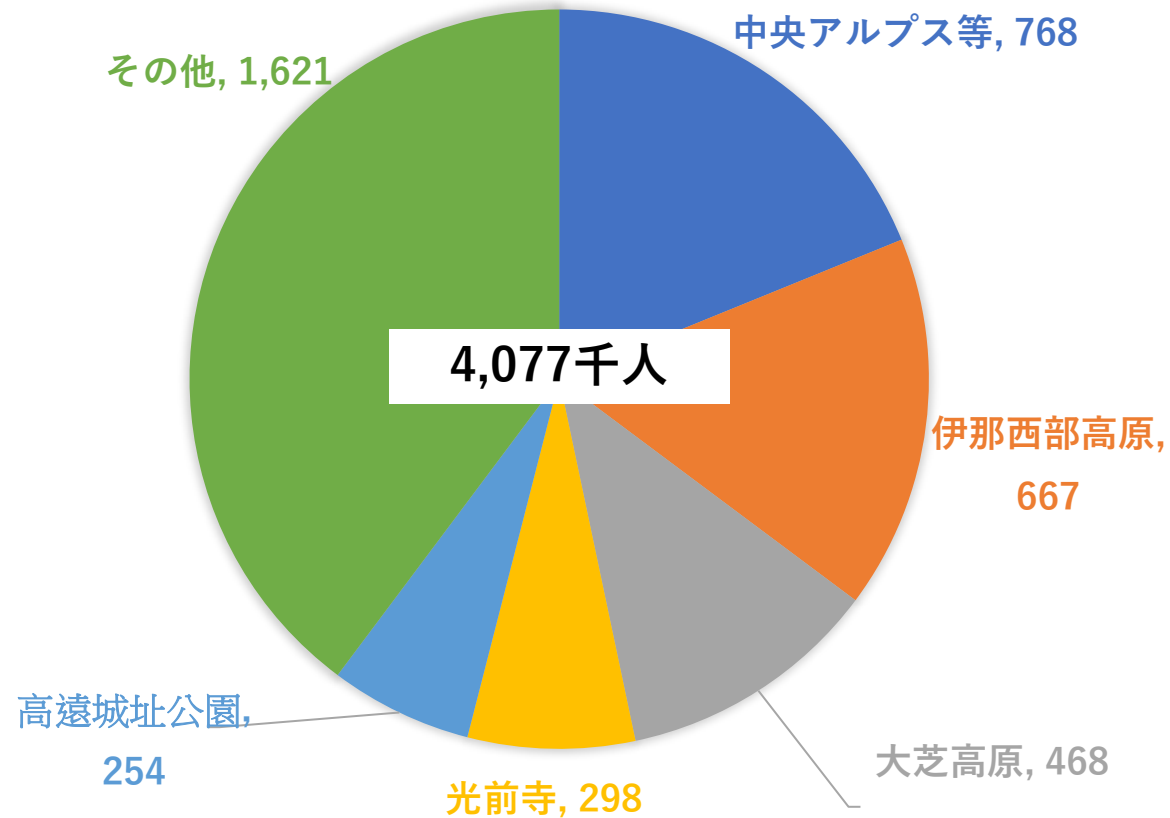
出典：令和6年度長野県観光地利用者統計調査

3-2 上伊那地域の観光の現状（観光地別利用者数・観光地消費額）

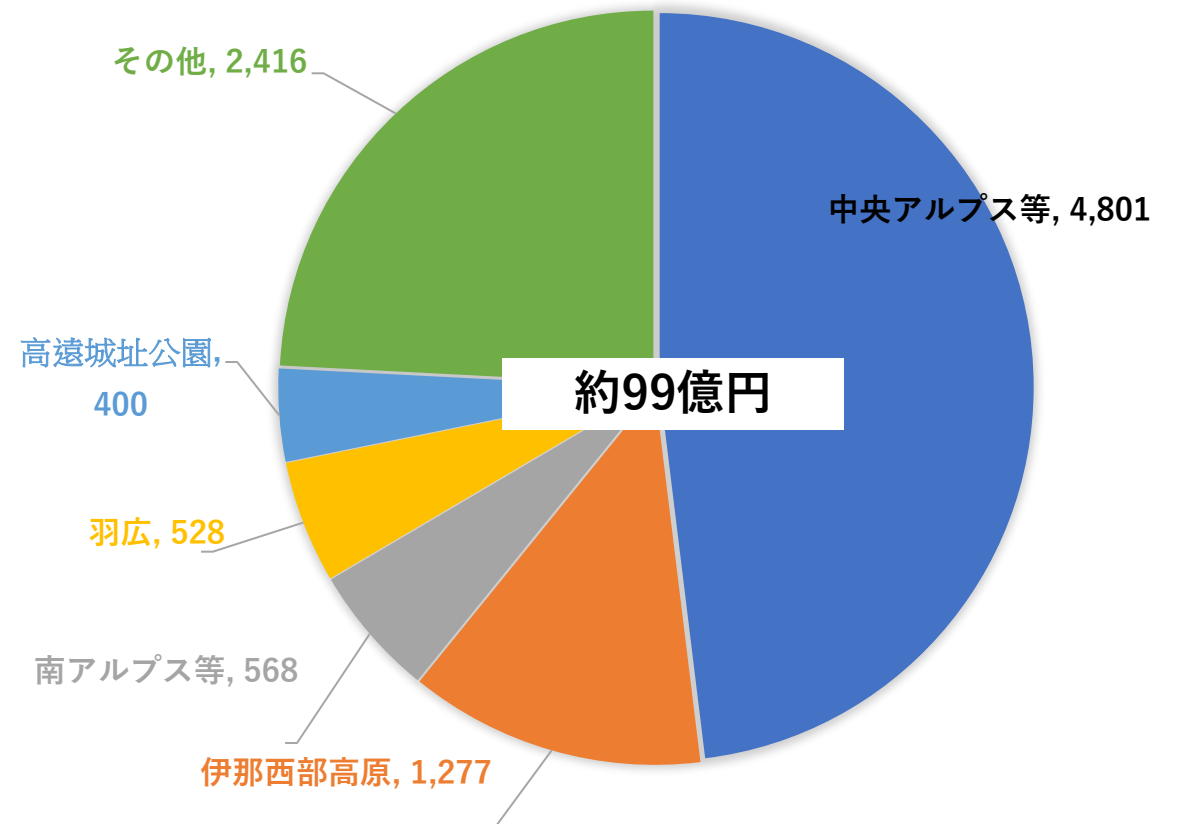
商工観光課

○観光客は偏らず観光地を訪れている一方で、観光地消費額は中央アルプスが約半数を占めている

令和6年度 観光地利用者数(千人)



令和6年度 観光地消費額(百万円)



○利用者数、観光地消費額、外国人観光客来訪者数全てにおいて、他地域と比較して低い水準

1 地域振興局別 延利用者数

（単位：千人、％）

地 局	佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曽	松本	北アルプス	長野	北信	合計
延利用者数	15,016	6,564	13,796	4,077	3,889	2,383	11,206	7,368	13,282	7,570	85,149
割 合	17.6	7.7	16.2	4.8	4.6	2.8	13.2	8.7	15.6	8.9	100

2 地域振興局別 観光地消費額

（単位：百万円、％）

地 局	佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曽	松本	北アルプス	長野	北信	合計
消費額	63,571	14,539	41,007	9,990	9,875	9,726	38,911	45,073	63,436	36,609	332,736
割 合	19.1	4.4	12.3	3.0	3.0	2.9	11.7	13.5	19.1	11.0	100

3 地域振興局別 外国人観光客延来訪者数

出典：令和6年度長野県観光地利用者統計調査

（単位：万人、％）

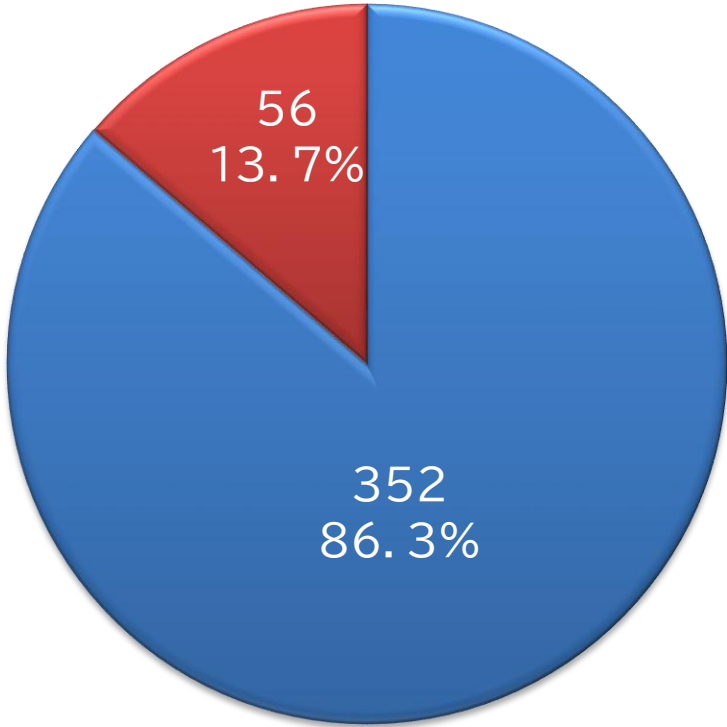
地 局	佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曽	松本	北アルプス	長野	北信	合計
来訪者数	144	14	20	3	3	28	188	74	90	71	634
割 合	22.6	2.1	3.2	0.5	0.5	4.4	29.6	11.6	14.2	11.1	100

出典：令和6年 県内における訪日外国人観光客の動向について

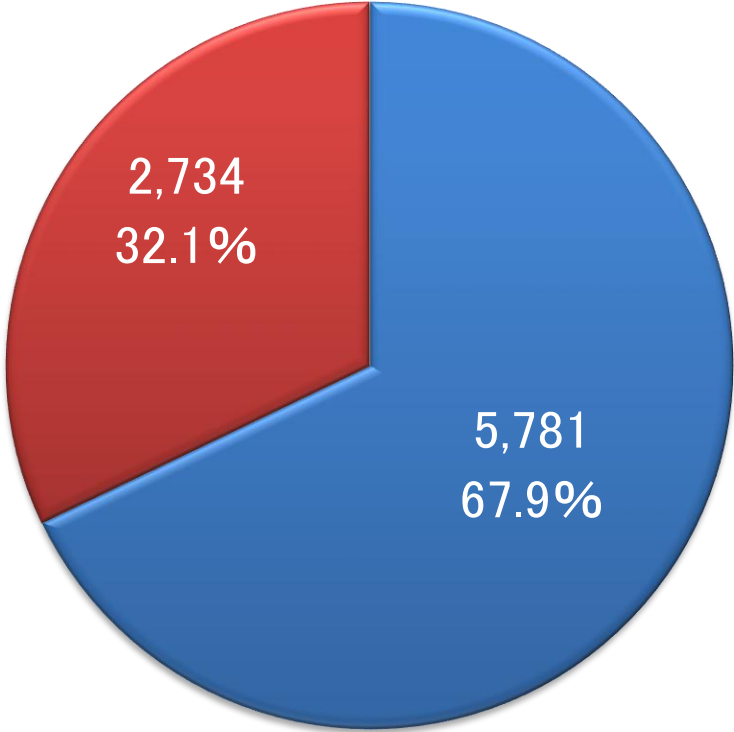
○全県と比較して、宿泊客の割合が低い

単位：万人

上伊那



長野県



■ 日帰り客数 ■ 宿泊者数

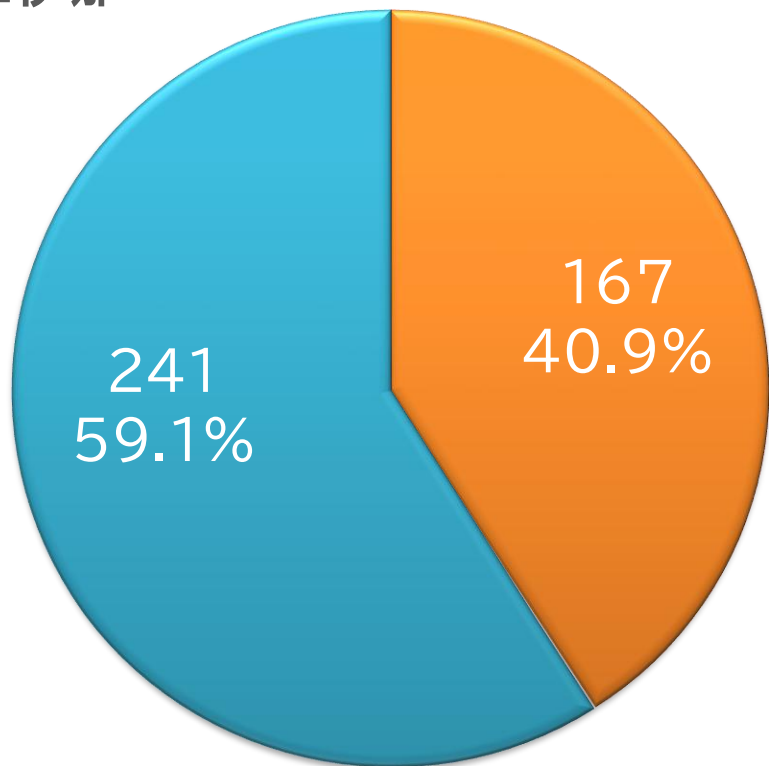
3-5 上伊那地域の観光の現状（県外客数と県内客数の割合）

商工観光課

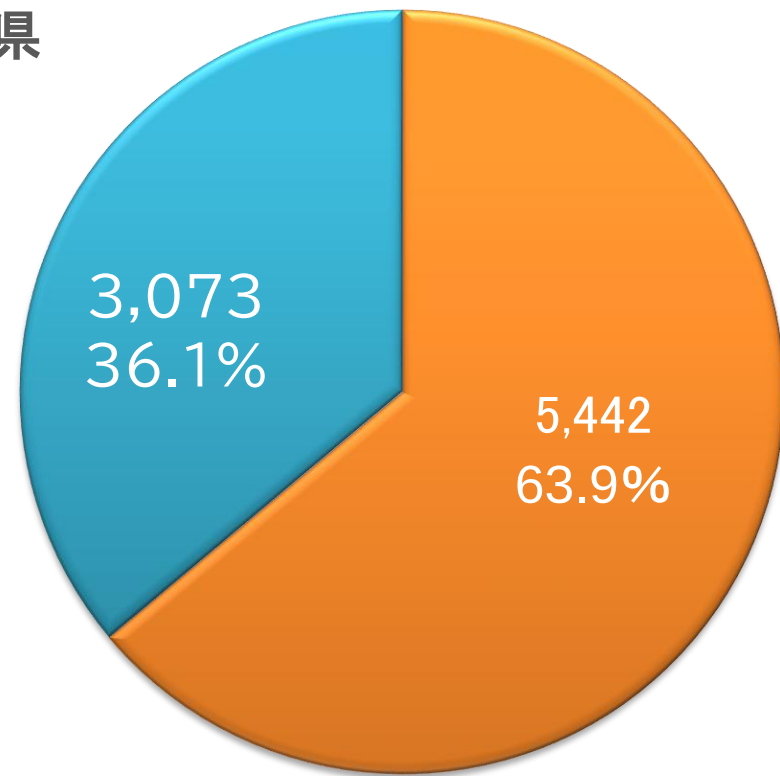
○県全体と比較して、県外客数の割合が低い

単位：万人

上伊那



長野県



■ 県外客数 ■ 県内客数

①県外からの観光客が少ない

➡〇県内外での上伊那地域PRイベントの開催

- ・名古屋サカエチカでの観光PRイベント(9月)
- ・軽井沢ショッピングプラザでのPRイベント (1月)
- ・市町村と連携し、各種イベントへ参加

➡〇プレDCを契機とした他地域との広域連携

- ・JR平岡駅(天龍村)での「飯田線秘境駅号」のお見送りイベントへの参加(南信州地域振興局と連携)
- ・JR東海イベント列車運行時の連携



名古屋市サカエチカでのイベント



JR飯田線伊那市駅での特別列車お見送り

②宿泊者数が少なく、日帰り客の割合が県全体と比較して高い

→ ○ファムトリップ※の実施

※ 観光地の誘致促進のため、旅行事業者により現地を視察してもらうツアー

・上伊那地域の「雪」と「桜」+ α (国内、インバウンド向け)

- | | |
|------------|-----------|
| ・みはらしファーム | ・中曽根の権現桜 |
| ・マルス駒ヶ岳蒸留所 | ・信州大芝高原 |
| ・米澤酒造 | ・小野酒造 |
| ・大草城址公園 | ・かやぶきの館 等 |



みはらしファームでのいちご狩り体験

→ ○「産業観光」※の実施

※ 工場見学や製作体験を通じて、地域の産業の技術、歴史、文化に触れてもらう観光

- ・上伊那地域の特色ある企業等の工場見学・製作体験の情報を紹介するサイトを新たに開設
- ・上伊那地域の製造業をはじめとする産業の強みを活かし、工場見学・製作体験を内容とする「産業観光」を推進



千畳敷でのスノーシュー体験

○上伊那地域企業でつくられている特徴な製品(一例)



櫛「ラブクロム」

塚田理研工業株式会社
(駒ヶ根市)

プラスチックに銅めっきを施された櫛「ラブクロム」は、駒ヶ根市のふるさと納税の返礼品で一番の人気商品です。



フルート

宮沢フルート製造株式会社
(駒ヶ根市)

国内では数少ないフルートを製造する工場で、フルートの試奏を体験することができます。



伊那紬ネクタイ

久保田織染工業株式会社
(駒ヶ根市)

多彩な縞・格子・ボカシ模様が特徴の伊那紬(国指定の伝統的工芸品)の製造工程や製品を見学することができます。

○工場見学・製作体験可能な上伊那地域企業一覧(工芸品、施設)

区分	企業名・施設名	特徴、セールスポイント
工芸品	高遠焼白山登窯	・約200年の歴史があり、高遠の赤土を使用し、釉薬の青緑色やピンク色の光沢が特徴の陶器である「高遠焼」を、手びねりや電動ロクロを使って成形する陶芸体験ができます。
	久保田織染工業株式会社	・伝統的工芸品であり、多彩の縞・格子・ボカシ模様が特徴の伊那紬の製造工程を見学できます。 ・伊那紬の手織りや花瓶敷きの制作を体験できます。
施設	駒ヶ根シルクミュージアム	・上伊那地域の養蚕業を発展させた組合製糸「龍水社」の歴史遺産（当時使用の設備・道具）を見学できます。また、日本一の大きさを誇る蚕の精密模型を見学できます。 ・飼育している蚕から採取した繭を使って、クラフト制作を体験できます。



製作体験の作品

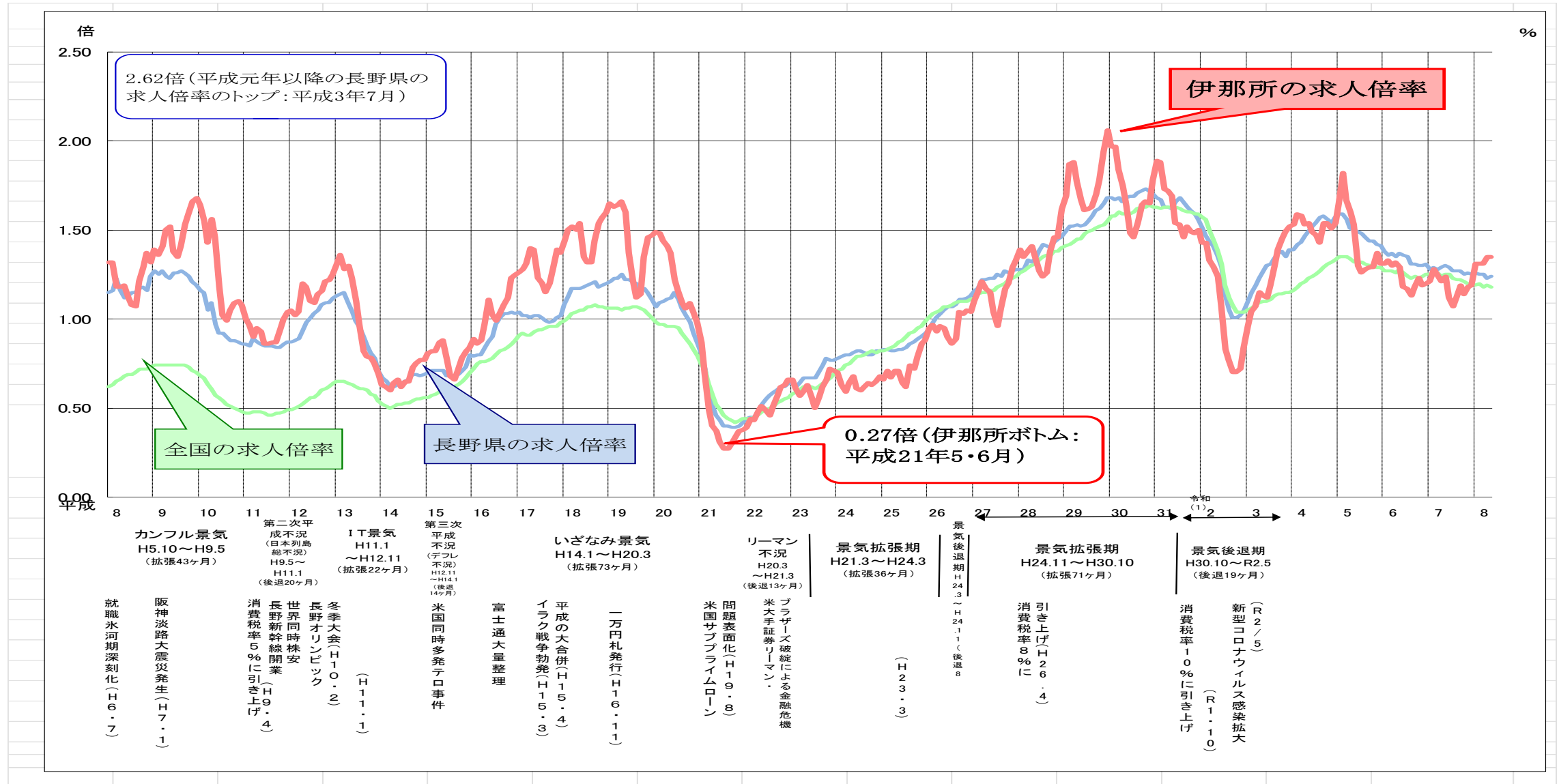


ヨーグルト製造工程見学

○工場見学・製作体験可能な上伊那地域企業一覧(食品・飲料、工業製品)

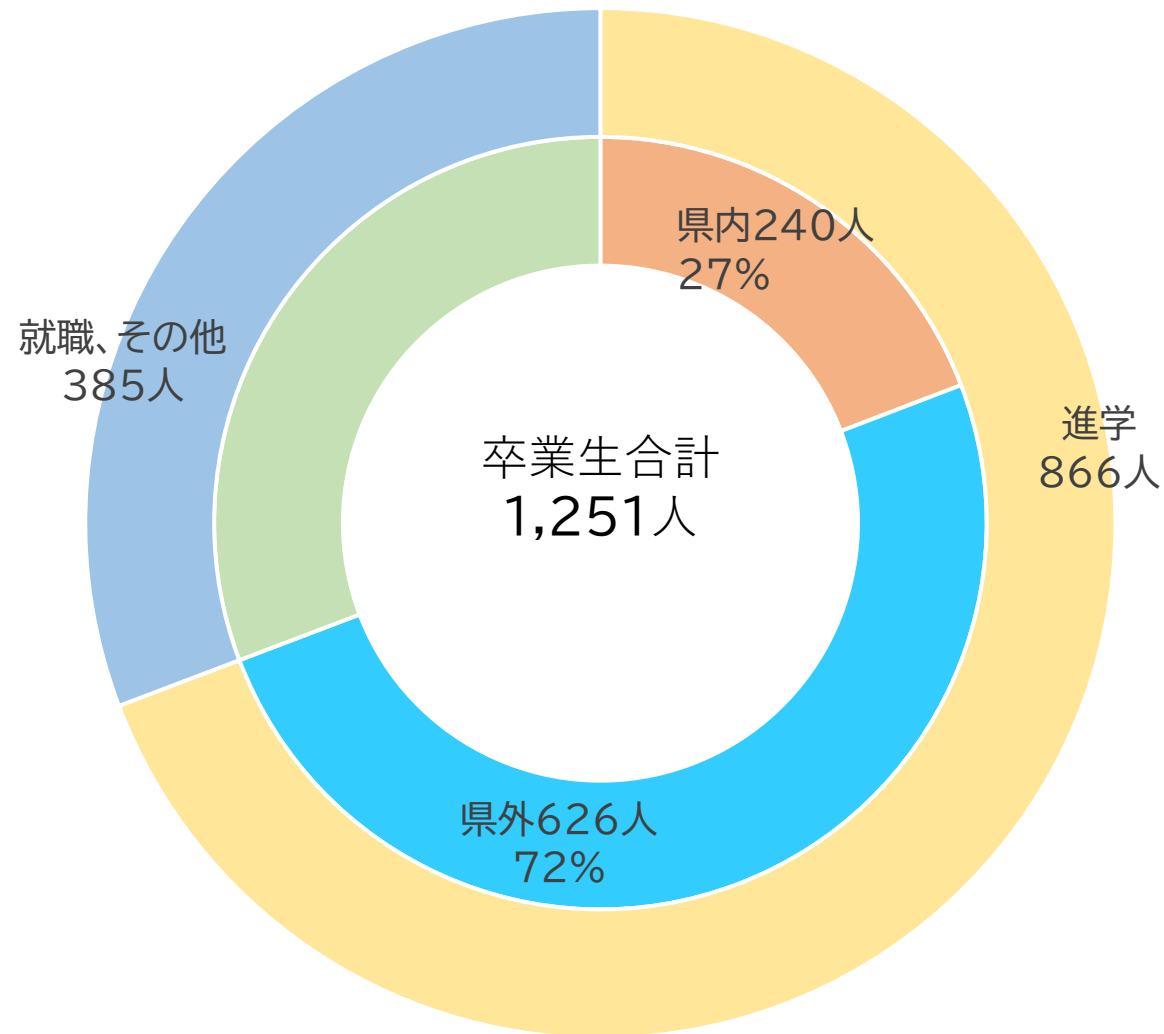
区分	企業名・施設名	特徴、セールスポイント
食品・飲料	伊那食品工業株式会社	・寒天の製造で国内シェアNo. 1を誇る会社で、寒天について学びながら、長野県のお土産としても親しまれている「かんでんぱぱ」製品の包装工程を見学できます。
	ハナマルキ株式会社	・みその製造で県内2番目の生産量を誇る会社で、みそ作りの見学と体験ができます。みそ作りでは、実際にみその仕込み作業を体験できます。
	本坊酒造株式会社	・海外で人気のジャパニーズウイスキーである「駒ヶ岳」をはじめ、ウイスキーや赤ワイン「紫輝」を製造しています。
		・ウイスキーの蒸溜施設やウイスキー樽の貯蔵庫を見学でき、テイスティングバーでウイスキーの試飲ができます。
	すずらん株式会社	・酪農が盛んな伊那谷で採れた生乳を100%使用したヨーグルト・チーズの製造の様子を間近で見学できます。
	日進乳業株式会社	・大手食品メーカー（森永乳業、明治、クラシエ）のアイスクリームの製造工程を見学できます。
	養命酒製造株式会社	・薬用養命酒を製造する唯一の工場で、養命酒のことを学びながら、瓶詰め等の製造工程を見学できます。
工業製品	内堀醸造株式会社	・県内で唯一食酢を醸造する工場、酢ができるまでの醸造工程を見学できます。
	信英蓄電器箔株式会社	・国内では数少ないアルミ電解コンデンサ用電極箔を製造する会社の一つで、製造工程や薬品再生処理の工程を見学できます。
		・コンデンサの原理を学びながら、手作りのコンデンサの製作体験ができます。
	タカノ株式会社	・全国のカフェやレストラン、リゾートホテル、公共施設などで使用されるオーニング（可動式テント）やパラソルを屋外展示場で実際に見学できます。
	塚田理研工業株式会社	・電気の流れないプラスチック表面に伝導性を付与する技術で、プラスチックをめっきする工程を見学できます。 ・プラスチックに銅めっきを施された櫛「ラブクロム」は、駒ヶ根市のふるさと納税の返礼品で一番の人気商品です。
	宮沢フルーツ製造株式会社	・国内では数少ないフルーツを製造する会社の一つで、フルーツの製造工程の見学の他、フルーツの試奏も体験できます。

○全国、県が下降傾向にある中、ハローワーク伊那管内では上昇傾向



(出典：伊那ハローワーク作成「有効求人倍率の推移」)

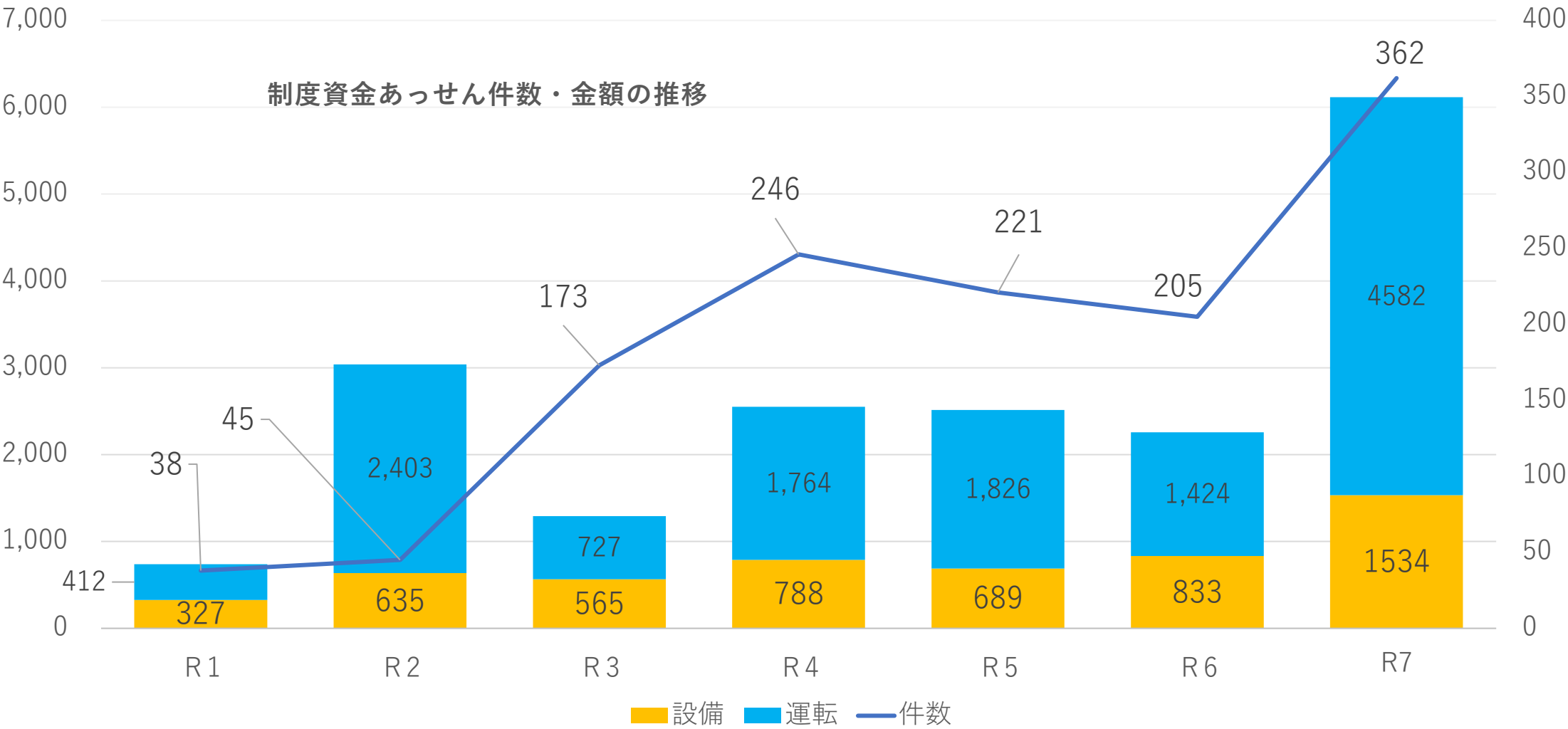
○進学した卒業生の約7割は県外に進学



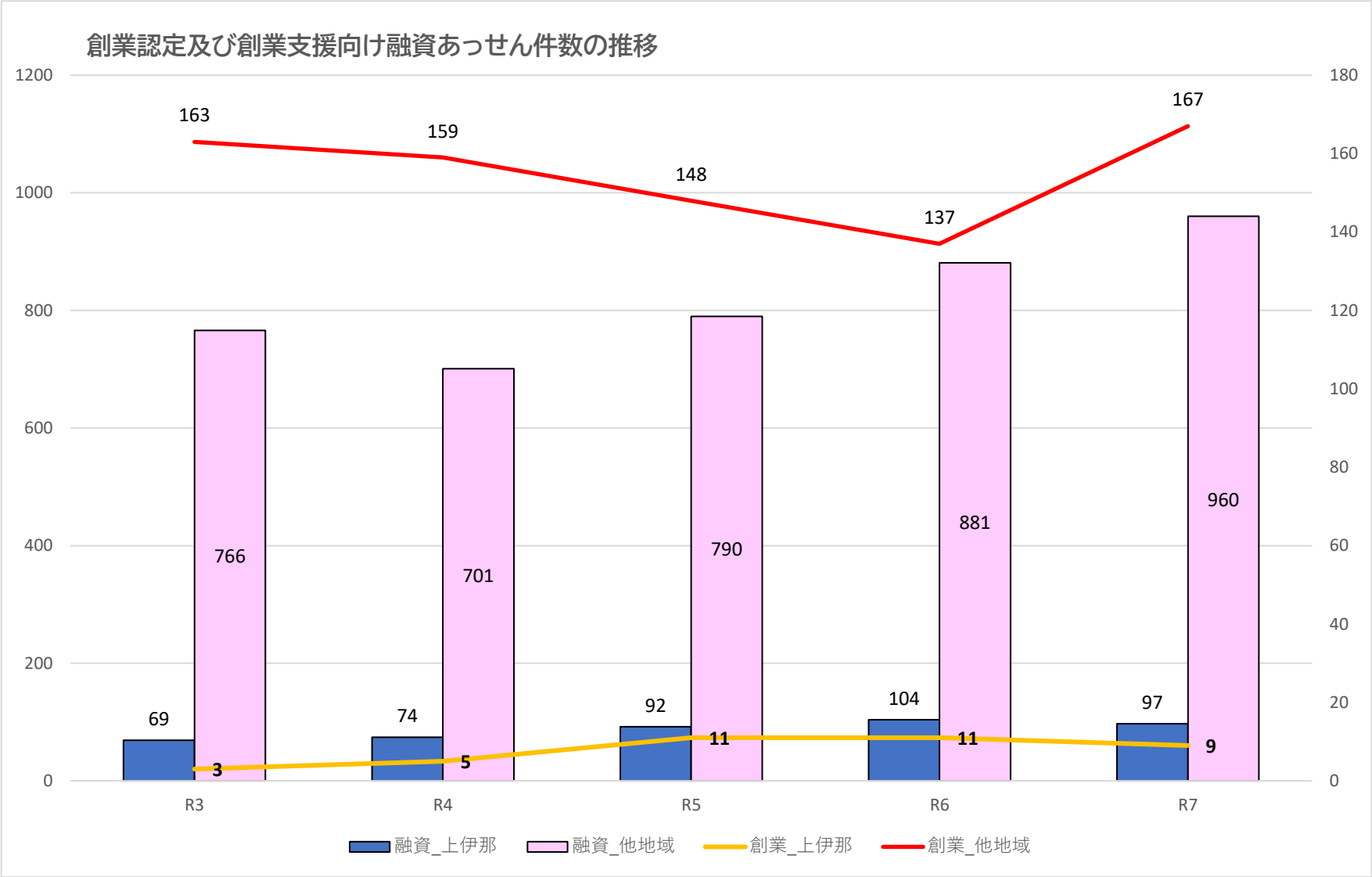
- 件数、金額ともに増加傾向であり、特に運転資金の増加が顕著
- 物価高対策向けが件数ベース、金額ベース共に半数以上

令和7年度 制度資金あっせん状況										
区 分			上伊那				全県			
			件数		金額(千円)		件数		金額(千円)	
				前年度 比%		前年度 比%		上伊那 構成比%		上伊那構成 比%
経営健全化 支援資金	物価高対策		202	315.6	4,100,700	342.8	2,308	8.8	49,125,150	8.3
	その他		12	200.0	419,000	368.9	544	2.2	15,005,700	2.8
信州創生推 進資金	創業支援向け		97	102.105	529,510	120.5	1,057	9.2	6,363,270	8.3
	その他		28	147.4	804,120	173.3	380	7.4	10,211,680	7.9
その他			23	191.7	262,710	597.3	244	9.4	5,756,540	4.6
	合計		362	184.7	6,116,040	271.0	4,533	8.0	86,462,340	7.1
設備			98	115.3	1,534,170	180.6	1,015	9.7	17,187,415	8.9
運転			264	237.8	4,581,870	325.5	3,518	7.5	69,274,925	6.6
合計			362	184.7	6,116,040	271.0	4,533	8.0	86,462,340	7.1

単位：百万円、件

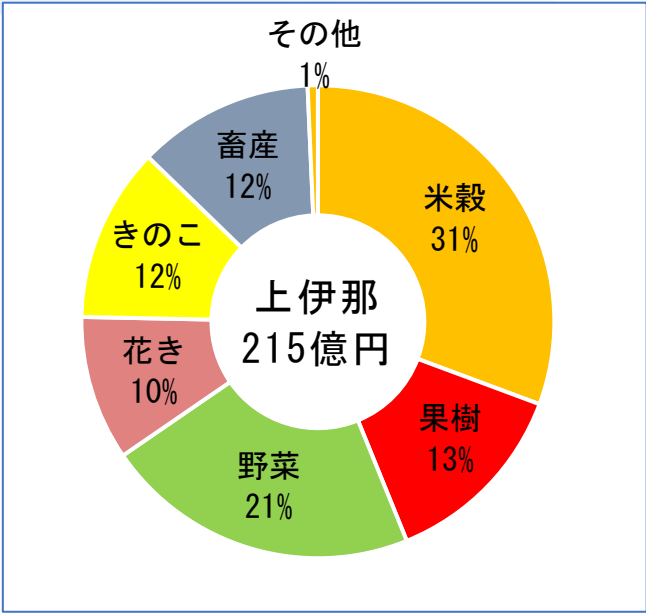


○創業認定件数はここ3年横ばいで推移しているものの、構成比は減少
・長野地域、松本地域の認定件数が多い。



○水稻を中心とした総合供給産地

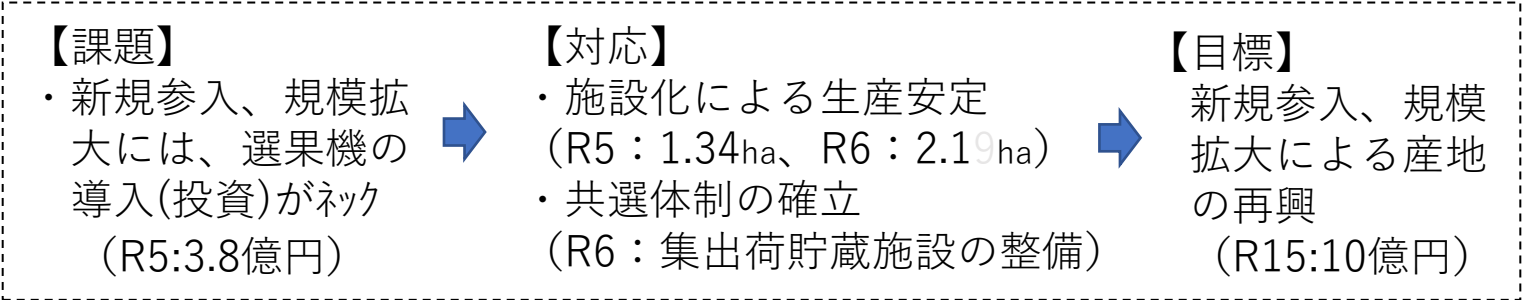
- 米を中心に麦・大豆、野菜、花きの複合経営を展開（平坦部水田地帯）
 - ・ 米の県産出額 426億円のうち、63億円(14.8%)を占める主力産地
- 広大な牧草地を有する畜産や、野菜や果樹を中心とした経営を展開（西部畑作地帯及び中山間地域）
 - ・ 果樹は、リンゴの高密植新わい化栽培、ぶどう新品種の導入進む



農産物産出額（令和 5 年）

○アスパラガス産地の再興

- 生産量が、本県の約 3 割を占める主力産地
- 施設化の推進（R5～6）及び集出荷貯蔵施設の整備（R6）により生産安定及び共選体制を確立



アスパラガスの雨よけ施設

○水稻

➤ 県内有数の米穀生産地域

- 充実した乾燥調製貯蔵施設により、高品質な伊那米を年間を通じて安定供給

【「今ずり米」として実需者から高い評価】

施設で粳のまま貯蔵し、注文に応じて粳摺りをして出荷しているため、1年を通じて品質と味が安定し実需者から高い評価を得ている

- ドローンによる農薬散布、リモコン畦畔草刈り機などスマート農業を推進

【H31～R2スマート農業技術の開発・実証プロジェクトが普及を後押し】

県内のモデル産地として伊那市内で技術実証し、普及を推進

(導入台数(～R7)：農業用ドローン17台、リモコン畦畔草刈り機63台)

➤ 集落営農組織が地域農業を担う体制

- 農作業や経営を受託する集落営農を全国に先駆けて組織化し法人化を推進。各市町村に71組織が設置

集落営農組織への農地集積率28.8%と県内トップ（県平均は10.1%）



○畜産

➤ 県内有数の畜産地帯

- 酪農は本県生乳生産量の約2割を占める主産地

【主産地となっている背景】

乳用牛飼養頭数 2,150頭（県内3位、1位は佐久地域（4,203頭））
自給飼料生産基盤（牧草地、請負生産体制）が整っており、粗飼料自給率が高い

【畜産クラスター事業による個別経営体の支援】

国際競争力を高めるため、生産コストの削減や規模拡大、収益性向上に関する機械・施設を導入する経営体に対して補助

➤ 価格高騰に対応した自給飼料生産の取組

- 飼料生産請負集団の組織化と、耕畜連携による稲WCSを生産

生産請負集団（コントラクター組織）4組織により、青刈りトウモロコシ（2組織）、飼料用米（1組織）、青刈りトウモロコシと飼料用米の両方（1組織）を受託生産し、自給飼料の安定的な確保に貢献



○野菜

- アスパラガスや白ネギなど露地野菜の生産が盛ん
 - ・ 白ネギ、アスパラガス、ブロッコリーを中心に、きゅうり、いちご等のほか、ジュース用トマト等の業務用野菜を生産

【畑地かんがい施設等の水供給の安定化による産地化(R6年度値)】

畑地かんがい整備率 57.8% (県下1位、県平均28.1%)

畑区画整備率 61.8% (県下2位(1位は松本の65.8%)、県平均35.4%)

- ・ JAでは「アスパラガス生産拡大で10億円※を達成」をスローガンに生産力強化中 ※R15年目標、R6実績は4.2億円 R7は3.9億円

【生産力強化策】

①生産安定

施設化(雨よけハウス導入)による初期収量の向上、技術の平準化
(R5,6国補事業活用：新規導入面積 3.53ha (308棟))

②生産基盤の強化

選別・結束作業の一部を共同化して共選体制を確立し、余剰労力を活用した規模拡大や、新規就農者の参入を推進
(R6国補事業活用：集出荷貯蔵施設を整備)



畑地かんがいによる散水



ブロッコリー栽培ほ場 (伊那市)

○花き

➤ 切り花生産は県内主力産地

- **アルストロメリア**は県内生産量の約8割を占める**日本最大の産地**

【日本最大の産地として、全国の産地をリード】

夏場の生産技術の確立（地中冷却技術等）や、バリエーション豊かな品種構成（需要拡大、日持ち向上）等により、全国の産地をリード

- カーネーション、トルコギキョウ等も主力品目

【トルコギキョウ産地化の背景】

JAオリジナル品種（約50品種）の共同育苗体制を確立
共同育苗苗を利用し、**水稻育苗ハウスの後利用により稲作農家へも拡大**

- リンドウ、シンテッポウユリ、鉢花も県内主力産地

➤ 消費拡大の取組

- 「花の大産地」認知度向上プロジェクト(通称：花プロ)の展開

「花の大産地 上伊那」の認知度を高め、需要喚起と生産振興を通じ、**女性や若者に選ばれる魅力ある地域づくり**を目指す

農業高校への花育授業（座学と生産、流通、試験研究機関の視察等）
花カードの作製・配布や有線放送によるPR



○果樹

➤ 多品目果樹の生産

りんごを中心に、なし、ぶどう、もも、かき、ブルーベリー、くり等の多品目を生産

➤ りんご高密植栽培の推進

りんご高密植栽培の状況

【導入状況】

りんごわい化栽培面積 217ha（わい化率96%）、うち高密植栽培面積は81ha（導入率37%）で、県内で諏訪地域と並んで導入面積が多い

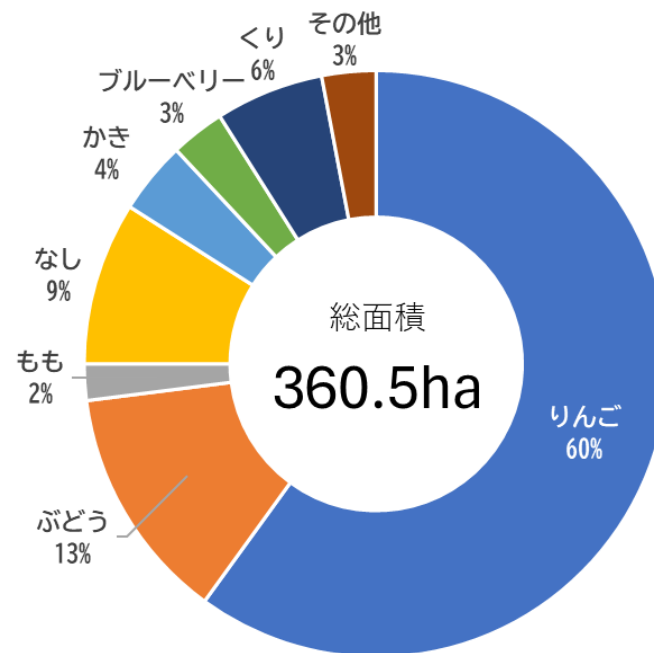
【面積拡大した要因】

早期多収や品質の安定化、作業性の向上が可能な栽培方法として、旧わい化栽培からの切り替えが積極的に行われた（R3：69ha → R7：81ha）

➤ ぶどう無核大粒種の推進

【新植・改植が進んでいる背景】

なし棚を利用したなし栽培からの転換や、新規参入者の品目選択によりぶどうの面積も拡大（R3：28.4ha → R7：46.3ha）



○新規就農の状況

➤ 5年間で98名が新規就農！

【上伊那地域の特徴】

- ・ 毎年、県内外から20人前後が就農（新規参入者が8割）
- ・ 県内7位の新規就農者数（R7：①松本、長野 ③北信 ④南信州）
- ・ 就農人気No1は野菜（アスパラガス、白ネギ、ブロッコリー＜JA重点品目＞）
- ・ JA上伊那、市町村における就農支援策が充実

○市町村・JAと連携した幅広い就農支援

➤ 充実した就農支援策

【市町村】

- ・ 移住に係る家屋の取得費、修繕費、家賃等への支援
（駒ヶ根市、箕輪町、飯島町、南箕輪町、宮田村 ほか）
- ・ 若者子育て世代、定年帰農者（兼業含む）への支援（箕輪町、宮田村）

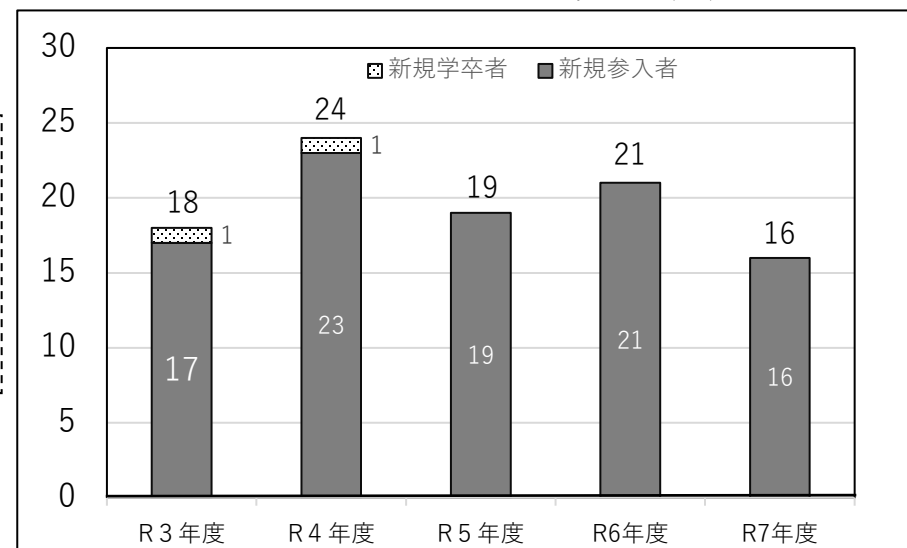
【JA上伊那】

- ・ インターン研修制度（就農に向けた研修期間中の支援210万円/年）

➤ 県の支援策及び関係機関との連携

- ・ 里親制度、給付金制度（150万円/年）による技術習得期間の支援
- ・ 市町村・JAと連携した新規就農促進連絡会議を主催
- ・ 新規就農実践塾（基礎、野菜、りんごコース）の開催

新規就農者の推移（人）



（R4年度以前は45歳未満、R5年度以降は49歳以下）



事業名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)	補助金 (千円)
経営発展支援事業 世代交代・初期投資 促進事業	伊那市	新規就農者の機械導入支援 (3経営体) トラクター、管理機他	24,041	15,000
	駒ヶ根市	新規就農者の機械導入支援 (2経営体) 野菜選別機、畔塗機他	4,200	3,150
	辰野町	新規就農者の機械導入支援 (1経営体) 冷蔵庫他	2,125	1,591
	箕輪町	新規就農者の機械導入支援 (1経営体) 農業用建屋、冷蔵庫	11,737	7,500
	南箕輪村	新規就農者の機械導入支援 (1経営体) 収穫機、根葉切り機	4,851	3,637
担い手確保・経営強 化支援事業	伊那市	担い手の施設・機械導入支援 (1経営体) トラクター、パイプハウス他	13,033	6,508
	中川村	担い手の機械導入支援 (1経営体) コンバイン、トラクター他	58,255	26,479